



第1次滝沢市生涯学習推進計画前期基本計画

学びプランたきざわ

岩手県滝沢市



△たきざわ学びフェスタで柳沢保育園児が創作太鼓を発表



△滝沢市ジュニアリーダーズセミナーで次代を担う中学生や高校生、大学生たちが交流

あいさつ

このたび、第1次滝沢市総合計画や滝沢市自治基本条例、滝沢市における教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱に基づくとともにアンケート調査結果を踏まえ第1次滝沢市生涯学習推進計画前期基本計画「学びプランたきざわ」を策定いたしました。

私たちを取り巻く現代社会は、社会状況やライフスタイルの変化に伴い地域課題や教育課題が多様化しており、市民の皆さんが、現代社会の変化に対応できる「生きる力」を培い、「学びによる感動とよろこび、幸福感が実感できる地域づくり」が期待されています。

そこで、市長部局と教育委員会が連携強化による教育行政の推進や市民ニーズに適応した新たな生涯学習推進体制の構築で市行政全般（市民環境や健康福祉、経済産業、都市整備・上下水道、教育振興、企画総務）に関する生涯学習関連施策を展開し、「市民が主役の生涯学習社会」や「生涯現役・全員活躍社会」、「住民自治日本一」の実現を目指します。

また、次代を担う子どもの成長や若者の活躍は私たちの希望です。子ども子育て支援や社会参画交流・経済産業・ICT（情報通信技術）による若者活躍支援で受け継がれてきた伝統の力と若い新しい力の融合による地域づくりで、滝沢市で生まれ育った子どもたちや学んだ大学生たちが、地域づくりリーダーとして活躍することを願ってやみません。

結びに、本計画策定にあたりご尽力を賜りました滝沢市生涯学習推進協議会委員や関係各位、市民の皆さんに厚く御礼を申し上げます。

滝沢市長 柳村 典秀

滝沢市では、第1次滝沢市総合計画前期基本計画市域全体計画生涯学習部門計画が掲げる「一人一人が学ぶよろこびを実感できるまち」の実現に向けて第1次滝沢市生涯学習推進計画前期基本計画「学びプランたきざわ」を策定いたしました。

現代社会は大きな転換期にあり、新しい時代の教育や持続可能な地域づくりが求められています。市長部局と教育委員会が連携強化による教育行政の推進と市行政全般に関する生涯学習関連施策の展開で、市民の皆さんと地域、教育・公共機関、生涯学習関連施設、市行政の5つが参画する学びのネットワークづくりで、双方向コミュニケーションによる情報共有や市民参画交流の促進で地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

社会教育や青少年健全育成、復興教育・防災教育、国際交流・多文化共生社会、環境教育・環境学習、情報メディア対応、地域課題解決などに関する生涯学習活動を支援します。

さらに、生涯学習の出発点である家庭教育の支援や「正義」と「信頼」の学校づくり、子ども・家庭・学校・地域・市行政の5者が相互連携して「明るく かしこく たくましい子ども」の育成に取り組む教育振興運動、文化芸術振興、みんなが主役のスポーツまちづくりなどで多様化する地域課題や教育課題を解決できる地域力基盤醸成を支援します。

そして、計画策定にあたりお力添えをいただきました社会教育や学校教育、文化芸術、スポーツ関係各位、市民の皆さんに心から感謝申し上げます。

滝沢市教育委員会 教育長 熊谷 雅英

◇◆◇ 基本構想 目次 ◇◆◇

| | |
|------------------------------------|---|
| 第1章 構想策定に当たって | 2 |
| 第1節 構想策定の目的 | 2 |
| 第2節 構想の概要と目指す姿 | 2 |
| 第2章 生涯学習の概念 | 3 |
| 第1節 生涯学習とは | 3 |
| 第2節 学習の機会 | 3 |
| 第3章 基本理念 | 4 |
| 第1節 3つの基本理念 | 4 |
| 第2節 基本理念のイメージ | 5 |
| 第4章 生涯学習をめぐる外部環境の変化（国と県の動向） | 6 |
| 第1節 国が目指す新しい時代の教育と生涯学習社会の構築 | 6 |
| 第2節 岩手県が目指す教育振興・生涯学習 | 7 |
| 第3節 岩手県教育振興運動「みんなで教振！5か年プラン」 | 7 |
| 第5章 生涯学習をめぐる内部環境の変化（滝沢市のこれまでの取り組み） | 8 |
| 第1節 第1～2次生涯学習推進計画の主な成果と今後の課題 | 8 |
| 第2節 滝沢市が目指す生涯学習推進に関する今後の方向性 | 9 |

◇◆◇ 前期基本計画 目次 ◇◆◇

| | |
|-----------------------------|----|
| 第1章 計画策定に当たって | 12 |
| 第1節 計画策定の目的 | 12 |
| 第2節 計画の位置付けと性格 | 12 |
| 第3節 計画の期間 | 12 |
| 第2章 生涯学習推進の基本的な考え方 | 13 |
| 第1節 基本目標 | 13 |
| 第2節 基本方針 | 13 |
| 第3節 4つの生涯学習活動支援 | 15 |
| 第3章 基本施策 | 19 |
| 第1節 滝沢市生涯学習推進体系 | 19 |
| 第2節 施策の展開 | 20 |
| 第4章 前期基本計画目標 | 68 |
| 第1節 目標値の考え方 | 68 |
| 第2節 前期基本計画「学びプランたきざわ」目標値一覧表 | 69 |
| 第5章 アンケート調査結果 | 71 |
| 第1節 第1次滝沢市総合計画アンケート調査結果 | 71 |
| 第2節 第1次滝沢市生涯学習推進計画アンケート調査結果 | 75 |
| 第6章 計画の確実な展開 | 82 |
| 第1節 学びのネットワークづくりによる計画の確実な展開 | 82 |
| 第2節 成果と課題の検証 | 82 |
| 第7章 資料 | 83 |

基本構想



△友遊親子キャンプで鞍掛山ハイキング

第1章 構想策定に当たって

第1節 構想策定の目的

私たちを取り巻く現代社会は、社会状況やライフスタイルの変化に伴う少子高齢の顕在化や心身の健康づくり、ICT（情報通信技術）社会の進展、環境保全、持続可能な地域づくり、防災意識の向上、新しい時代の教育など地域課題や教育課題が多様化しています。

平成26年1月1日、「住民自治日本一」を目指して滝沢市が誕生。滝沢市自治基本条例が掲げる「住民自治日本一」とは、「市民自らが住みよい地域を考え、思いやりと協力の気持ちを持ち、地域や仲間と関わることに満足と幸福感を日本一実感できる地域」です。

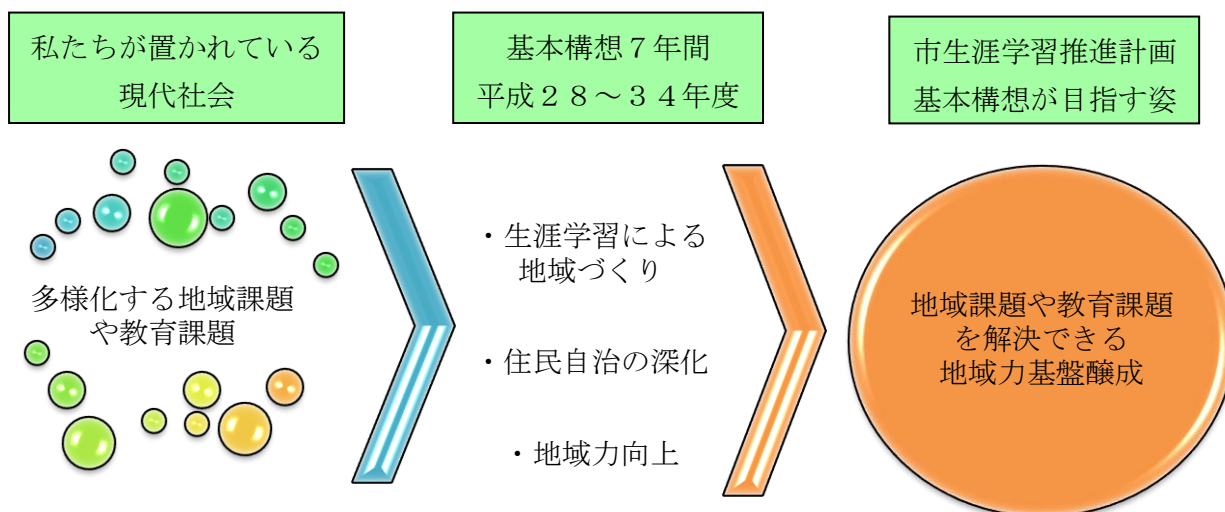
市民の皆さんが、現代社会の変化に対応できる「生きる力」を培い、「学びによる感動とよろこび、幸福感が実感できる地域」をつくり、充実した人生を送るためには、「生涯学習による地域づくり」や「住民自治の深化」、「地域力向上」による「地域課題や教育課題が解決できる地域力基盤醸成」が求められています。

平成27年4月には、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号）」が施行。教育委員会制度改革に伴う滝沢市総合教育会議にて「滝沢市における教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下「大綱」という。）」を「第1次滝沢市総合計画前期基本計画市域全体計画生涯学習部門計画（以下「市総合計画生涯学習部門計画」という。）」とすることを同年5月に協議。合意形成に基づき、7月に市長が大綱を策定いたしました。

滝沢市では、第1次滝沢市総合計画や滝沢市自治基本条例、大綱に基づき、アンケート調査結果の検証を踏まえ、第1次滝沢市生涯学習推進計画基本構想を策定します。

第2節 構想の概要と目指す姿

本構想は、生涯学習推進の基本的方向性などを定めるもので、第1次滝沢市生涯学習推進計画前期基本計画「学びプランたきざわ」と後期基本計画において市行政全般に関する生涯学習関連施策の体系化と具体化を図ります。本構想の期間は、平成28～34年度の7年間で、目指す姿は「地域課題や教育課題を解決できる地域力基盤醸成」です。



第2章 生涯学習の概念

第1節 生涯学習とは

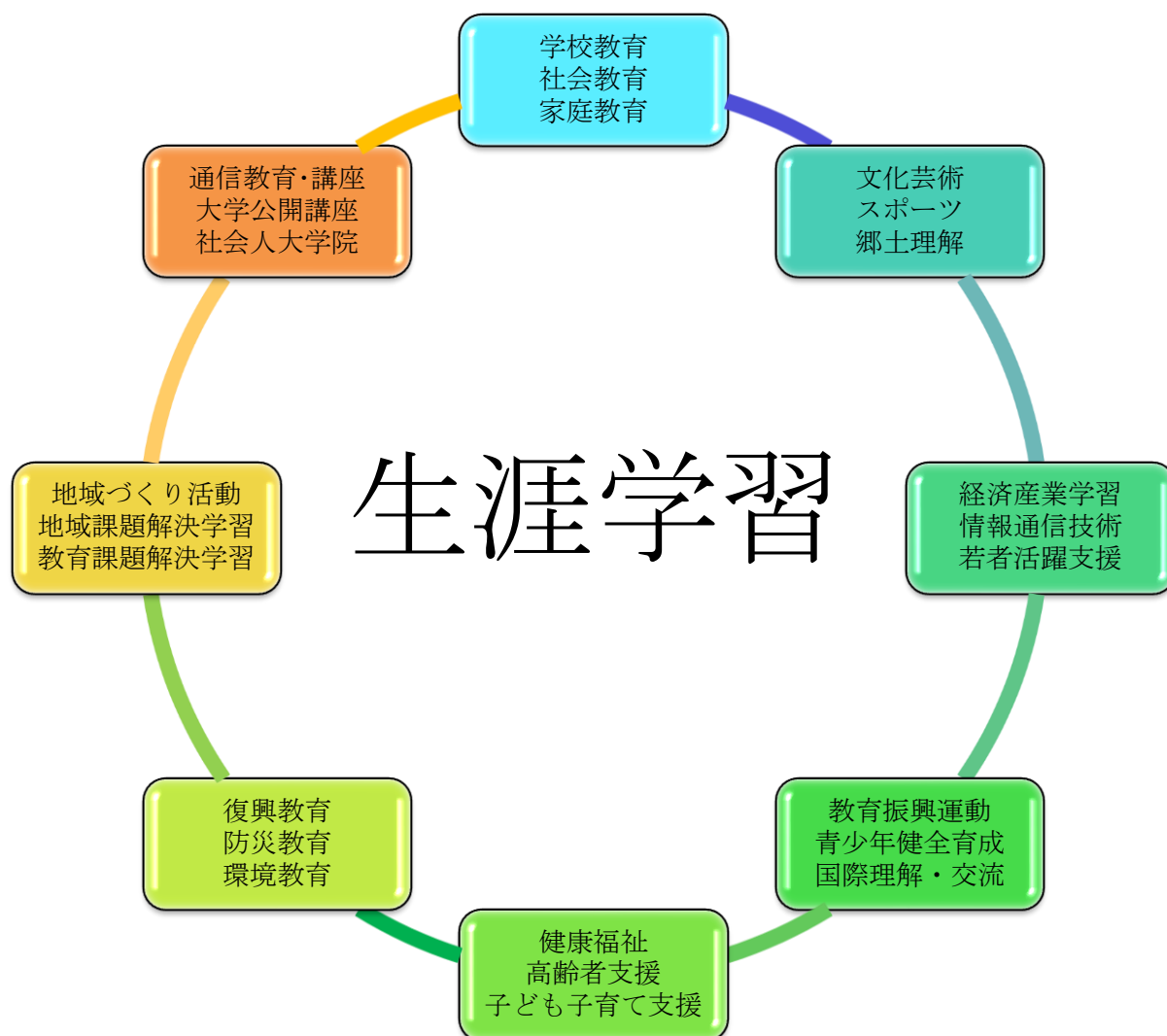
子どもから高齢者まで「全ての市民」の「生涯にわたる学習」が対象です。

市民の皆さんが自らの意思に基づき、現代社会の変化に対応できる生きる力を培い、いきがいのある充実した人生や心の豊かさを求め、自ら進んで行う学習活動を意味します。

市民の皆さんが生涯にわたって自由に学習機会を選択して学ぶことができ、学習成果が適切に評価され、活躍の場があり、「学びによる感動とよろこび、幸福感が実感できる地域づくり」や自己学習活動、新しい知識技能などを習得する学習全てが生涯学習です。

第2節 学習の機会

現在では、生涯学習の考え方は幅広くとらえられており、全ての学習の機会が生涯学習に含まれています。



第3章 基本理念

第1節 3つの基本理念

基本理念は、「生涯学習による地域づくり」と「住民自治の深化」、「地域力向上」です。

(1) 生涯学習による地域づくり

- 社会状況やライフスタイルが大きく変化に伴い、地域課題や教育課題が日々多様化しています。
- 全ての世代が目的に応じて、いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができ、充実した豊かな人生を送ることができる生涯学習社会の構築と生涯学習による地域づくりを推進します。

(2) 住民自治の深化

- 生涯学習は、市民が自発的・主体的に取り組むもので、住民協働による地域づくりから市民主体による地域づくりに向け、「市民が主役の生涯学習社会」を構築します。
- 市民自らが住みよい地域を考え、思いやりと協力の気持ちを持ち、地域や仲間と関わり、地域づくりへの市民参画交流により、感動とよろこび、幸福感を日本一実感できる地域を目指し、生涯学習による地域づくりで住民自治の深化を図ります。

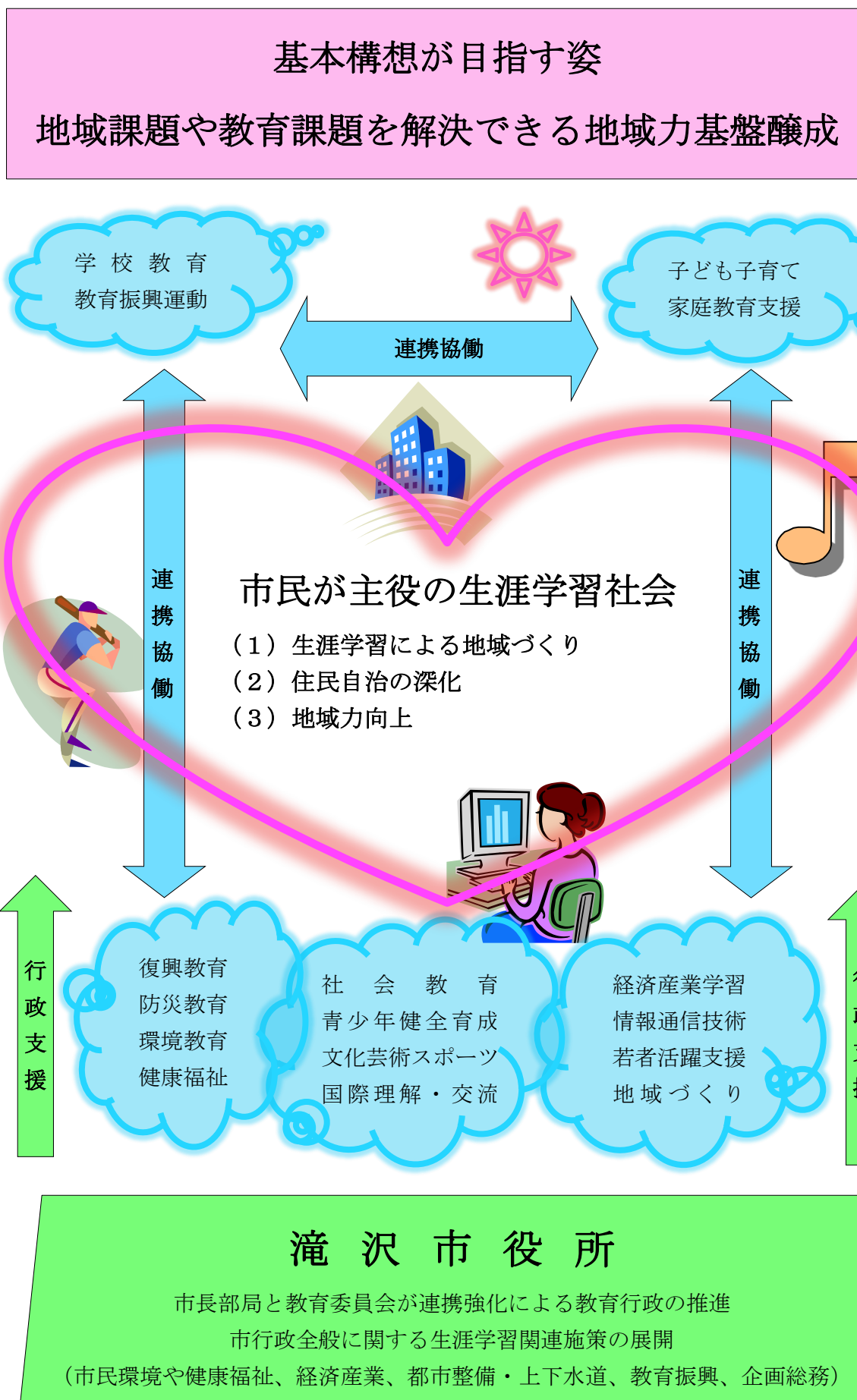
(3) 地域力向上

- 自治会や地域まちづくり推進委員会、教育振興運動などを通じ、互いに支えあい人とのふれあいが生活に潤いを与える地域づくりが求められます。
- 市長部局と教育委員会が連携強化による教育行政の推進と生涯学習推進体制の構築、全ての世代を対象とした地域づくりリーダー育成・活躍による地域力向上で、地域課題や教育課題を解決できる地域力基盤醸成を支援します。

市長部局と教育委員会が連携強化による教育行政の推進や市民ニーズに適応した新たな生涯学習推進体制の構築、市行政全般（市民環境や健康福祉、経済産業、都市整備・上下水道、教育振興、企画総務）に関する生涯学習関連施策の展開を図ります。

そして、市民の皆さんと地域、教育・公共機関、生涯学習関連施設、市行政の5つを結ぶ学びのネットワークづくりで「市民が主役の生涯学習社会」の構築を目指します。





第4章 生涯学習をめぐる外部環境の変化（国と県の動向）

第1節 国が目指す新しい時代の教育と生涯学習社会の構築

教育基本法の改正（H18）

- ・生涯学習の理念と家庭教育、教育振興基本計画の策定

学校教育法の改正（H19）

- ・児童の基礎的知識技術習得と体験学習、学校教育と社会教育の連携

社会教育法・図書館法・博物館法の改正（H20）

- ・課題解決学習や放課後や休日の学校活用、家庭教育の情報提供

知の循環型社会の構築を目指して（H20）

- ・学習成果の地域還元と新たな学習ニーズの好循環による地域づくり

学習指導要領の改訂（小学生H23、中学生H24）

- ・知識技能の習得や思考・判断・表現力育成、授業時間数増加で学力向上
- ・道徳教育や体育などの充実で豊かな心と健やかな体を育成
- ・「生きる力」を育むため、家庭・学校・地域が相互連携

第2期教育振興基本計画（H25）

- ・現代社会の多様な変化に対応できる「生きる力」を培う生涯学習社会の構築を目指し、3つの理念「自立・協働・創造」と4つの基本的方向性を提示
- ・4つの基本的方向性
 - （1）社会を生き抜く力の養成～多様な現代社会で自立・協働できる力
 - （2）未来への飛躍を実現する人材の養成～変化や新たな価値を主導・創造し、社会の各分野を牽引していく人材
 - （3）学びのセーフティネットの構築～誰もがアクセスできる学習機会
 - （4）絆づくりと活力あるコミュニティの形成～社会が人を育み、人が社会をつくる好循環

教育委員会制度改革（H27）

- ・首長が招集する「総合教育会議」で首長部局と教育委員会が連携強化
- ・「大綱」について「総合教育会議」で協議し、首長が策定
- ・問題がある場合には、国の地方への関与で迅速な危機管理体制を構築
- ・教育委員長と教育長を一本化した「新教育長」設置で責任体制の明確化

次世代の学校・地域創生（H28）

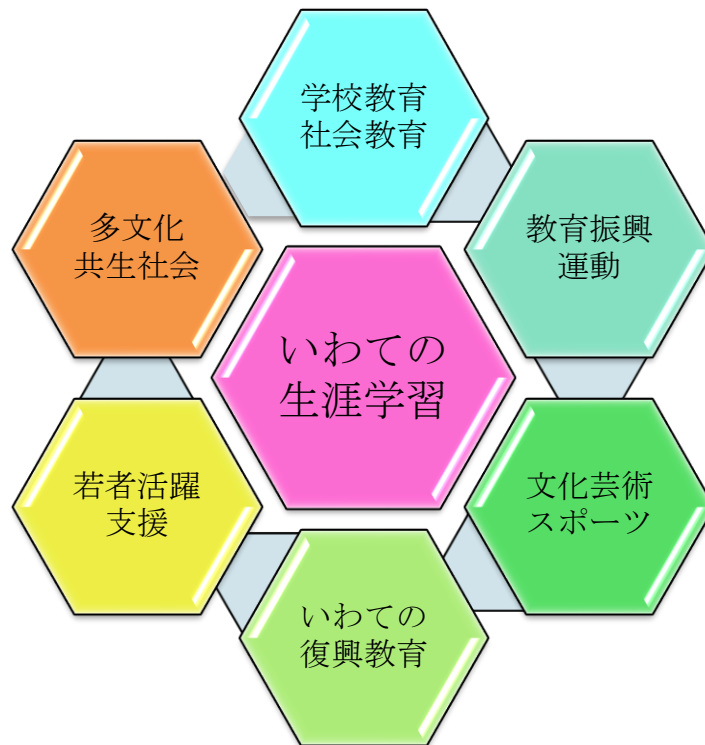
- ・学習指導要領の次期改訂で目指す「社会に開かれた教育課程」の実現
- ・コミュニティスクールと地域学校協働活動による「地域とともにある学校」と「学校と地域の連携・協働」の実現
- ・教員と専門スタッフ、地域が連携して課題解決に取り組む「チーム学校」
- ・学校の組織運営改革とマネジメント機能強化による教育力と組織力の向上
- ・アクティブラーニング（子どもと学校、地域などが連携協働して課題解決を目指す探求型学習）による地域課題解決学習で地域を担う人材育成
- ・教員制度（養成と採用、研修）の一体改革による教員の資質能力向上

第2節 岩手県が目指す教育振興・生涯学習

岩手県は、平成22年3月に「岩手の教育振興」を策定。平成28年2月には教育委員会制度改革に伴い「岩手県における教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」を策定し、「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現を目指しています。

「学校教育」と「社会教育」、「教育振興運動」、「文化芸術スポーツ」、東日本大震災を乗り越えて郷土復興・発展を担う人材育成「いわての復興教育」、「若者活躍支援」を推進。

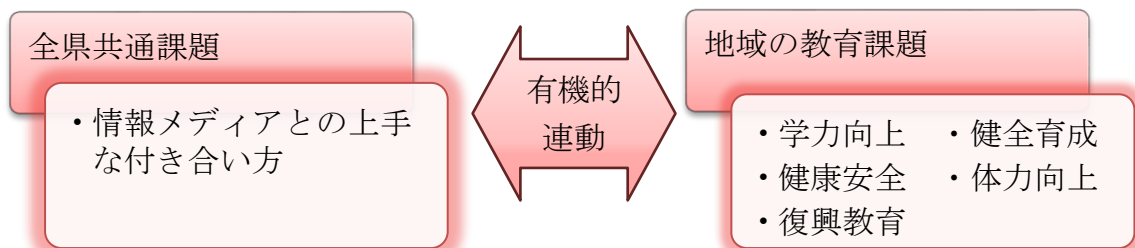
さらに、ILC（国際リニアコライダー）誘致による地球規模の研究者が居住する国際学術研究都市の形成に向けて、岩手県民と外国人が共生できる地域づくり「多文化共生社会」の啓発と国際感覚豊かな人材育成に取り組んでいます。



第3節 岩手県教育振興運動「みんなで教振！5か年プラン」

岩手県教育振興運動は、昭和40年に提唱された岩手県独自の教育運動で、子どもと家庭、学校、地域、行政の5者が相互連携し、地域の教育課題の解決に取り組む運動です。

平成27年度からは、「みんなで教振！5か年プラン（平成27～31年度）」に基づき2本柱（全県共通課題と地域の教育課題）の有機的連動やいわて型コミュニティ・スクール（明確な達成目標を掲げ、家庭・地域と協働する開放的で個性的な学校づくり）との連携による地域力向上に取り組んでいます。



第5章 生涯学習をめぐる内部環境の変化（滝沢市のこれまでの取り組み）

第1節 第1～2次生涯学習推進計画の主な成果と今後の課題

第1次滝沢村生涯学習推進計画（平成7～16年）

- ・基本目標 いつでも どこでも だれでも なんでも 楽しく学べる花と緑の田園都市をめざして

第2次滝沢村生涯学習推進計画（平成17～26年）

- ・基本目標 いつでも どこでも だれでも 生き生きと学び交流する郷『たきざわ』

第1～2次生涯学習推進計画の主な成果と今後の課題は以下のとおりとなります。

社会教育による地域づくり活動の充実

- ・主な成果
社会教育やスポーツ、文化芸術関係団体による地域づくりが充実
放課後児童クラブと放課後子ども教室が市民参画による活動展開
心身の健康づくり活動への意識高揚や睦大学などの活動が活発化
地域まちづくり委員会活動の参加者数の増加と継続的实践が展開
- ・今後の課題
現代社会の変化に対応できる「生きる力」を培う生涯学習社会の構築
学びによる感動とよろこび、幸福感が実感できる地域づくりの支援
多様化する地域課題を解決できる地域力基盤醸成
心身の健康づくりへの意識高揚や生涯現役・全員活躍社会の実現
生涯学習・社会教育指導者と地域づくりリーダー育成・活躍を支援
社会参画交流と経済産業、ICT（情報通信技術）による若者活躍支援

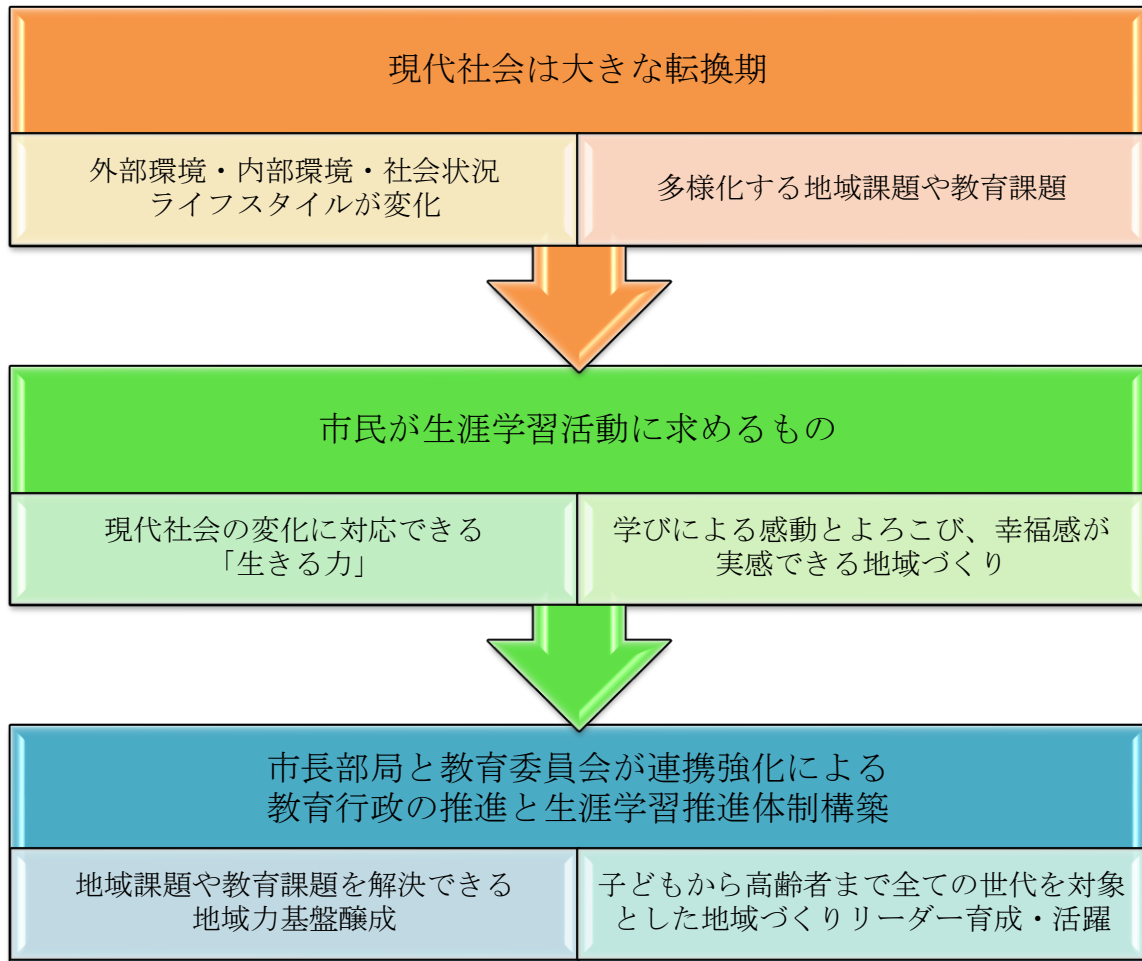
教育振興運動による地域力の向上

- ・主な成果
青少年の地域活動への参加が推進
小中学校の月間読書冊数と図書館貸出冊数が増加
児童生徒の家庭学習と学習機会が充実
- ・今後の課題
情報メディアとの上手な付き合い方の意識啓発
多様化する教育課題を解決できる地域力基盤醸成
児童生徒の学力向上につながる取り組みの展開
教育振興運動による地域づくりリーダー育成・活躍の推進

生涯学習推進体制の整備と充実

- ・主な成果
住民協働による生涯学習推進が充実
生涯学習関連施設と小中学校の学校体育施設開放の活用件数が増加
住民協働による交流拠点複合施設「ビッグルーフ滝沢」の整備事業に着手
- ・今後の課題
市長部局と教育委員会との連携強化による生涯学習関連施策の充実
市民主体による生涯学習推進への移行
生涯学習関連施設や学校体育施設開放の利便性の向上と機能充実
交流拠点複合施設「ビッグルーフ滝沢」の有効活用と機能充実

第2節 滝沢市が目指す生涯学習推進に関する今後の方向性





△柳沢小学校児童が日独学生青年リーダーの皆さんと国際交流



△睦大学による高齢者のいきがい支援で生涯現役・全員活躍社会を目指します

前期基本計画



第1章 計画策定に当たって

第1節 計画策定の目的

現在、私たちが置かれている現代社会は大きく変化し、地域課題や教育課題が多様化しています。

市民の皆さんが、現代社会の変化に対応できる「生きる力」を培い、個性豊かで活力に満ちた地域をつくり、充実した人生を送るためには、「学びによる感動とよろこび、幸福感が実感できる地域づくり」と「地域課題や教育課題を解決できる地域力基盤醸成」、「全ての世代を対象とした地域づくりリーダー育成・活躍」が期待されています。

第1次滝沢市生涯学習推進計画基本構想に基づき、市行政全般に関する生涯学習関連施策を総合的・体系的・計画的に展開する指針として第1次滝沢市生涯学習推進計画前期基本計画「学びプランたきざわ」を策定し、「市民が主役の生涯学習社会」の構築と「生涯現役・全員活躍社会」の実現、「住民自治日本一」を目指します。

第2節 計画の位置付けと性格

本計画は、市総合計画生涯学習部門計画の分野別計画に位置付けられ、教育委員会制度改革に伴い策定した大綱を踏まえ、生涯学習推進の基本的な考え方を示す目標と方針、施策を定めたものです。

また、本計画が目指すものは、市民の皆さんや地域が自らの力で地域課題や教育課題を解決できる人・組織を育成し、情報力を高め住民自治の深化に向けた地域力向上であり、市総合計画市域全体計画の各施策や実行計画から生涯学習関連施策を総括しました。

市行政全般（市民環境や健康福祉、経済産業、都市整備・上下水道、教育振興、企画総務）に関する生涯学習関連施策の体系化と具体化を図り、市民の皆さんと地域、教育・公共機関、生涯学習関連施設、市行政の5つを結ぶ学びのネットワークづくりで、本計画の確実な展開を図ります。

第3節 計画の期間

基本構想の期間は平成28～34年度までの7年間とし、そのうち平成28～30年度までの3年間の前期基本計画の計画期間とします。

また、平成31～34年度までを後期基本計画とし、前期基本計画の成果と課題の検証に基づき策定します。



第2章 生涯学習推進の基本的な考え方

第1節 基本目標

市長部局と教育委員会が連携強化による教育行政の推進や市民ニーズに適応した新たな生涯学習推進体制の構築、市行政全般に関する生涯学習関連施策の展開を図ります。

そして、学びによる感動とよろこび、幸福感が実感できる地域づくりと地域課題や教育課題を解決できる地域力基盤醸成、子どもから高齢者まで全ての世代を対象とした地域づくりリーダー育成・活躍を支援し「住民自治日本一」の実現を目指し、前期基本計画の基本目標を次のとおりとします。

基本目標

一人一人が学ぶよろこびを 実感できるまち たきざわ

第2節 基本方針

3つの基本方針に基づく市行政全般に関する生涯学習関連施策の確実な展開を図ります。

(1) 学べる活かせる環境づくり

学びによる感動とよろこび、幸福感を持って日々の生活を楽しみ、子どもから高齢者まで、夢を抱き、夢に向かって互いに学びあい、培った成果を活かせるまち

(2) 支えあう地域力の向上

生涯学習による地域づくりを通じて住民自治の深化と地域課題と教育課題を解決できる地域力基盤醸成による支えあう地域力の向上で、人と人とのふれあいが生活に潤いを与えるまち

(3) 伝統を受け継ぎ未来へ継承

伝統文化や芸術、歴史、文化財、自然環境、経済産業、スポーツなどを通じて、ふるさと滝沢を再発見・再創造し伝統を受け継ぎ未来へと継承し、愛着を持てるまち

(1) 学べる活かせる環境づくり

- ・市民の皆さんと地域、教育・公共機関、生涯学習関連施設、市行政の5つを結び学びのネットワークづくりと双方向コミュニケーションによる学びの情報共有で、子どもから高齢者まで全ての世代を対象とした地域づくりリーダー育成・活躍を支援し、「市民が主役の生涯学習社会」の構築を推進します。
- ・滝沢市役所職員が講師となる滝沢市ふれあいまちづくり出前講座で市行政全般（市民環境や健康福祉、経済産業、都市整備・上下水道、教育振興、企画総務）に関する生涯学習活動支援を充実します。
- ・子ども子育て・家庭教育支援の充実で、子どもたちの基本的な生活習慣・生活能力や基本的倫理観（人に対する信頼感と豊かな情操、思いやり、善悪の判断など）、自立心・自制心、社会的マナーなどを育みます。
- ・「正義」と「信頼」の学校づくりで、子どもたちが安心して生き生きと生活し学ぶことができる学校教育の充実と現代社会の変化に対応できる「生きる力」を育みます。
- ・高齢者のいきがい支援と地域ぐるみの心身における健康づくりへの支援による健康福祉の充実で、「生涯現役・全員活躍社会」の実現を目指します。

(2) 支えあう地域力の向上

- ・社会教育と復興教育・防災教育、国際交流・多文化共生社会、環境教育・環境学習、（仮称）たきざわ地域課題解決支援講座の開設など生涯学習活動支援の充実で、子どもから高齢者まで全ての世代を対象とした地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。
- ・子どもと家庭、学校、地域、市行政の5者が相互連携した教育振興運動で、「明るくかしこくたくましい子どもの育成」と多様化する教育課題を解決できる地域力向上を支援します。
- ・青少年対策行政の推進と青少年健全育成の展開で、次代を担う青少年の健全な成長と一人一人の可能性を最大限に発揮できる地域づくりを目指します。
- ・広報たきざわやホームページ、プロモーション映像によるPR活動、対話集会など情報共有の充実で市総合計画と生涯学習推進計画「学びプランたきざわ」の確実な展開を図ります。
- ・ICT（情報通信技術）を活用した地域情報化や情報メディアとの上手な付き合い方に関する意識啓発、地域コミュニティの活性化、災害に強く事故や犯罪のない安全・安心な地域づくり、環境保全による持続可能な地域づくりなどに関する生涯学習活動支援を充実します。

(3) 伝統を受け継ぎ未来へ継承

- ・大学生や地域で活動する若者の社会参画交流と産業振興、企業集積・産学官連携、持続可能な農業振興、ICT（情報通信技術）活用による若者活躍を支援し、受け継がれてきた伝統の力と若い新しい力の融合（ハイブリッド）による地域づくりを支援します。
- ・滝沢市で生まれ育った子どもたちや学んだ大学生たちが、ふるさと滝沢を愛し続け、家族や仲間と支えあい、地域づくりリーダーとして活躍し、滝沢市の未来を担い、いつまでも自治体としての活力と魅力を保ち続ける地域づくりと若者活躍を支援します。
- ・伝統文化や芸術、歴史、文化財、自然環境、経済産業、スポーツなどを通じて、ふるさと滝沢を再発見・再創造し、伝統を受け継ぎ未来へと継承ができる地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。
- ・全てのスポーツ愛好家が活躍する「みんなが主役のスポーツまちづくり」の推進や総合型地域スポーツクラブ「チャグチャグスポーツクラブ」、滝沢市スポーツ少年団活動などを通じて、伝統を受け継ぎ未来へと継承できる地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

第3節 4つの生涯学習活動支援

1 学びのネットワークづくりによる生涯学習活動支援

5つを結ぶ学びのネットワークづくり

- ・市民と地域、教育・公共機関、生涯学習関連施設、市行政の5つを結ぶ学びのネットワークづくりで、双方向コミュニケーションによる生涯学習活動支援や生涯学習関連施策などの情報共有を図ります。
- ・広報たきざわや市ホームページ、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス：フェイスブックやブログなど）など市行政と連動した積極的な情報発信・交流で、学びの情報共有を支援します。
- ・双方向コミュニケーションによる市総合計画や生涯学習推進計画「学びプランたきざわ」の確実な展開で、学びの市民参画交流の促進や子どもから高齢者まで全ての世代を対象とした地域づくりリーダー育成・活躍を支援し、「市民が主役の生涯学習社会」の構築と生涯学習による地域づくりを推進します。

・施策展開スケジュール

| 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------------------------|---|--|
| ・学びのネットワークづくりの意識啓発と推進体制の検討 | ・学びのネットワークづくりの推進 ・双方向コミュニケーションによる市行政と連動した情報発信・交流 | ・学びのネットワークづくりの成果と課題の検証による生涯学習推進計画後期基本計画の策定 |



△たきざわ学びフェスタで学びのネットワークづくりの推進

2 (仮称) たきざわ地域課題解決支援講座による生涯学習活動支援

(仮称) たきざわ地域課題解決支援講座の開設

- ・社会状況やライフスタイルの変化に伴い、滝沢市においても、心身の健康づくりや子ども子育て・家庭教育支援、学校教育の充実、スポーツ推進、高齢者のいきがい支援、情報メディア対応、社会参画交流・経済産業・ICT（情報通信技術）による若者活躍支援、文化芸術振興、環境保全、復興教育・防災教育の充実などが地域課題や教育課題となっています。
- ・生涯学習活動に興味関心があっても、多忙のため取り組むことが難しい勤労者や子育て世代が抱える個人的課題は、地域課題や教育課題と重複している場合もあります。
- ・市民や地域が自らの力で地域課題や教育課題を解決できる人・組織を育成し、情報力を高め住民自治の深化に向けた地域力向上を支援します。
- ・ニーズ調査結果の検証や地域との対話を行いながら、アクティブラーニング（学習者や地域などが連携協働して課題解決を目指す探求型学習）による（仮称）たきざわ地域課題解決支援講座の開設で、大学生や地域で活躍する若者、勤労者、子育て世代などの新たな市民参画交流と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

・施策展開スケジュール

| 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・（仮称）たきざわ地域課題解決支援講座のニーズ調査結果の検証・関連団体などとの対話による講座内容の協議 | <ul style="list-style-type: none">・（仮称）たきざわ地域課題解決支援講座開設・学びのネットワークづくりと連動した展開 | <ul style="list-style-type: none">・（仮称）たきざわ地域課題解決支援講座の成果と課題の検証による生涯学習推進計画後期基本計画の策定 |



△滝沢市ジュニアリーダーズセミナーで地域課題解決プログラムを協議・発表

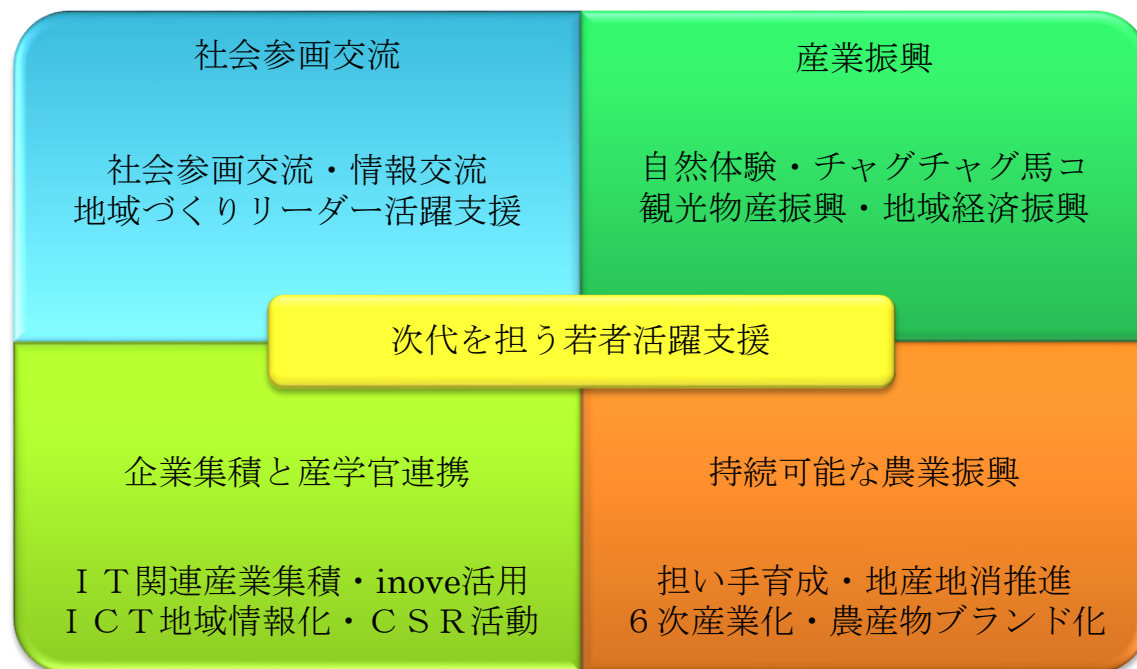
3 次代を担う若者活躍に関する生涯学習活動支援

次代を担う若者活躍支援

- ・大学生や地域で活動する若者の社会参画交流と産業振興、企業集積・産学官連携、持続可能な農業振興、ICT（情報通信技術）活用による若者活躍を支援し、受け継がれてきた伝統の力と若い新しい力の融合（ハイブリッド）による地域づくりを支援します。
- ・滝沢市で生まれ育った子どもたちや学んだ大学生たちが、ふるさと滝沢を愛し続け、家族や仲間と支えあい、地域づくりリーダーとして活躍し、滝沢市の未来を担い、いつまでも自治体としての活力と魅力を保ち続ける地域づくりと若者活躍を支援します。
- ・学びのネットワークづくりや（仮称）たきざわ地域課題解決支援講座と連動した若者活躍支援による地域活性化を図ります。

・施策展開スケジュール

| 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・学びのネットワークづくりや（仮称）たきざわ地域課題支援講座の開設と連動した若者活躍支援の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・学びのネットワークづくりや（仮称）たきざわ地域課題解決支援講座と連動した若者活躍支援の展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・若者活躍支援の成果と課題の検証による生涯学習推進計画後期基本計画の策定 |



4 ライフステージに応じた生涯学習活動支援

ライフステージに応じた生涯学習活動支援で「学びによる感動とよこび、幸福感が実感できる地域づくり」を推進します。

乳幼児期（すこやか世代0～5歳）

- ・乳幼児期（すこやか世代）は、人間形成の基礎が培われ、心身の発達を助長する時期です。
- ・子どもは「地域の宝」であり、子どもの成長は「地域の希望」でもあることから地域全体で子どもや子育て世代を支援することが大切です。
- ・家庭教育は生涯学習の出発点であり、子どもが基本的な生活習慣・生活能力や基本的倫理観（人に対する信頼感と豊かな情操、思いやり、善悪の判断など）、自立心・自制心、社会的マナーなどを培うことができる子ども子育て・家庭教育支援を充実します。

青少年期（学び成長世代6～17歳）

- ・知・徳・体を総合的に兼ね備えた社会に適應する能力と現代社会の変化に対応できる「生きる力」を培う重要な時期です。
- ・「正義」と「信頼」の学校づくりと地域の特色を活かした教育振興運動の展開で「明るく かしこく たくましい子ども」の育成を図ります。
- ・青少年対策行政の推進と青少年健全育成の展開で、次代を担う青少年の健全やかな成長と一人一人の可能性を最大限に發揮できる地域づくりを目指します。

成人期（自立世代18～34歳 子育て世代35～49歳）

- ・自己の向上や実現を図ろうとする一人一人の意欲と自主性を育む時期です。
- ・趣味やスポーツ、地域づくり活動などで共通の目的を持つ仲間や同世代そして世代間交流の機会を充実します。
- ・培ってきた知識や技術、経験を生かした生涯学習・社会教育指導者と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

壮年期（充実世代50～64歳）

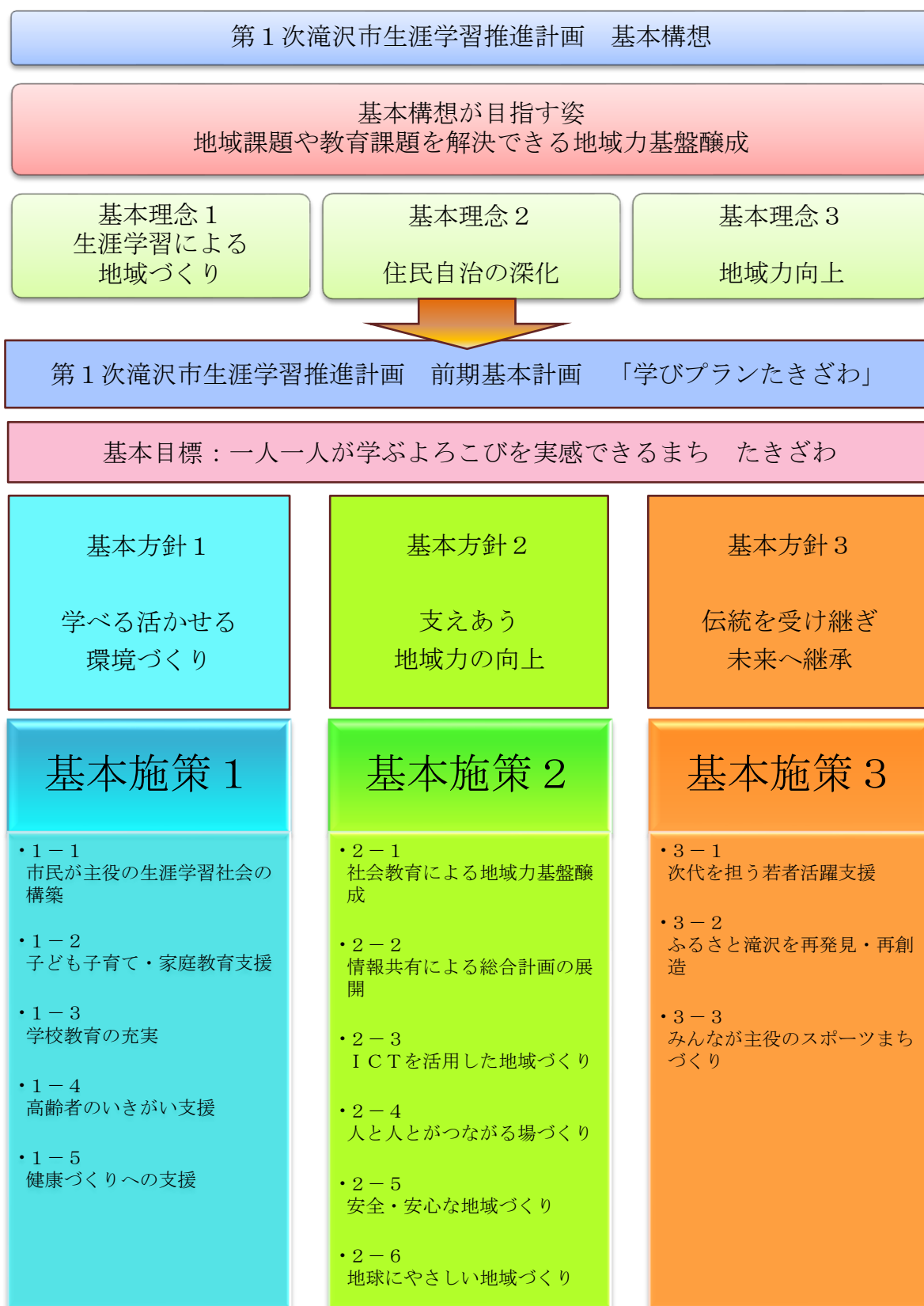
- ・家庭人や職業人、生涯学習・社会教育指導者、地域づくりリーダーとして培った力を發揮する充実した時期です。
- ・学習ニーズが多様化し、やがて訪れる高齢期をも見据えたライフスタイルの確立も大切です。
- ・世代間交流や地域づくりなどの活躍機会を充実します。

高齢期（円熟世代65歳～）

- ・地域コミュニティ構成員として主体的な活動が求められる時期で、自らの知識や経験の地域還元による地域課題や教育課題を解決できる地域づくりへの貢献が大切です。
- ・世代間交流や地域づくり活動などへの活躍支援による支えあいやふれあいの機会と仲間が気軽に集う場を充実します。
- ・培ってきた豊富な経験に基づく生涯学習・社会教育指導者と地域づくりリーダーとして活躍できる生涯現役・全員活躍社会の実現を支援します。

第3章 基本施策

第1節 滝沢市生涯学習推進体系



第2節 施策の展開

滝沢市生涯学習推進体系に基づき、市行政全般（市民環境や健康福祉、経済産業、都市整備・上下水道、教育振興、企画総務）に関する生涯学習関連施策の展開を図ります。



△ジュニアリーダーズセミナーで地域課題解決プログラムや情報メディア対応などを研修



△平成28年滝沢市新成人のつどいで柳沢中学校生徒会長が新成人へのメッセージ

滝沢市生涯学習推進体系（学べる活かせる環境づくり）

| 基本目標 | 基本方針 | 基本施策 | 施策 |
|-----------------------------|--------------|------------------------|------------------------------|
| 一人一人が学ぶよろこびを実感できるまち たきざわ | 学べる活かせる環境づくり | 1-1 市民が主役の生涯学習社会の構築 | 1-1-1 学びの双方向コミュニケーション |
| | | | 1-1-2 学びの情報共有ネットワーク |
| | | 1-2 子ども子育て・家庭教育支援 | 1-2-1 子どもがすくすく育つ環境づくり |
| | | 1-3 学校教育の充実 | 1-3-1 学校教育基盤の充実 |
| | | | 1-3-2 確かな学力を育む教育の推進 |
| | | | 1-3-3 豊かな人間性や社会性の育成 |
| | | | 1-3-4 健康・安全活動の支援 |
| | | | 1-3-5 安全・安心な学校給食の提供と食育の推進 |
| | | 1-4 高齢者のいきがい支援 | 1-4-1 いきがいづくりの推進 |
| | | 1-5 健康づくりへの支援 | 1-5-1 望ましい生活習慣の定着 |
| | | | 1-5-2 みんなですすめる健康づくり |
| | | | 1-5-3 安心して子どもを産み育てるための支援 |

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 1 | 学べる活かせる環境づくり |
| 基本施策 1-1 | 市民が主役の生涯学習社会の構築 |
| 施策 1-1-1 | 学びの双方向コミュニケーション |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

教育委員会制度改革に伴う総合教育会議で市長部局と教育委員会が連携強化による教育行政の推進や市民ニーズに適応した新たな生涯学習推進体制の構築、市行政全般に関する生涯学習関連施策の展開を図ります。

市行政の全庁的連携を図る生涯学習推進会議と市民と市行政の連携強化を図る生涯学習推進協議会の開催で、市民が主役の生涯学習社会の構築と生涯学習による地域づくりを推進します。

また、市民と地域、教育・公共機関、生涯学習関連施設、市行政の5つを結ぶ学びのネットワークづくりで、双方向コミュニケーションによる生涯学習活動支援や生涯学習関連施策などの情報共有を図ります。市総合計画や生涯学習推進計画「学びプランたきざわ」の確実な展開で、学びの市民参画交流の促進や子どもから高齢者まで全ての世代を対象とした地域づくりリーダー育成・活躍を支援し、市民が主役の生涯学習社会の構築と生涯学習による地域づくりを推進します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|--------------------------------------|---|---------------------------|
| 総合教育会議で市長部局と教育委員会が連携強化による教育行政の推進【継続】 | 教育委員会制度改革に伴う総合教育会議で市長部局と教育委員会が連携強化による教育行政の推進や市民ニーズに適応した新たな生涯学習推進体制の構築、市行政全般に関する生涯学習関連施策の展開を図ります。 | 企画政策課 教育総務課 生涯学習文化課 |
| 生涯学習推進事業【継続】 | 生涯学習推進会議で市長部局と教育委員会の連携強化を図り、市行政の全庁的連携による生涯学習関連政策の立案と関連施策の展開を図ります。 また、関係団体や小中学校長会、学識経験者などで構成される生涯学習推進協議会で、市行政との生涯学習関連事業の連携協力や提言・意見具申などを行います。市民と市行政が連携を強化し、市民が主役の生涯学習社会の構築と生涯学習による地域づくりを推進します。 | 生涯学習文化課 |
| 学びのネットワークづくりによる双方向コミュニケーション【新規：H28～】 | 市民と地域、教育・公共機関、生涯学習関連施設、市行政の5つを結ぶ学びのネットワークづくりで、双方向コミュニケーションによる生涯学習活動支援や生涯学習関連施策などの情報共有を図ります。 広報たきざわや市ホームページ、SNS (ソーシャルネットワーキングサービス：フェイスブックやブログなど) など市行政と連動した積極的な情報発信・交流で、学びの情報共有を支援します。 双方向コミュニケーションによる市総合計画や生涯学習推進計画「学びプランたきざわ」の確実な展開で、学びの市民参画交流の促進や子どもから高齢者まで全ての世代を対象とした地域づくりリーダー育成・活躍を支援し、市民が主役の生涯学習社会の構築と生涯学習による地域づくりを推進します。 | 生涯学習文化課 |

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 1 | 学べる活かせる環境づくり |
| 基本施策 1-1 | 市民が主役の生涯学習社会の構築 |
| 施策 1-1-2 | 学びの情報共有ネットワーク |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

市民と地域、教育・公共機関、生涯学習関連施設、市行政の5つを結ぶ学びのネットワークづくりで、双方向コミュニケーションによる生涯学習活動支援や生涯学習関連施策などの情報共有を図ります。

市民が学習した成果を共に活かすことができる学びの情報共有ネットワークで、学習で得た知識や技術などを積極的に地域で活用できる仕組みづくりや学びによる感動とよろこび、幸福感が実感できる地域づくりを支援します。

また、豊かで住みよい地域づくりのために市行政や地域づくり、施設見学などの出前講座を行います。市行政全般（市民環境や健康福祉、経済産業、都市整備・上下水道、教育振興、企画総務）に関する学びが対象となっており滝沢市役所の関係課職員が講師となります。メニュー新設や大学と連携した学習機会の創出で講座の充実を図ります。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|--|--|----------|
| 交流拠点複合施設「ビッググループ滝沢」の運営と活用 【新規：H28～】 | 市民主体の地域づくりが展開される「場」の創出に向けて交流拠点複合施設「ビッググループ滝沢」の整備と管理の在り方を研究し、市民の交流を生む運営と活用を図ります。 | 地域づくり推進課 |
| 新設図書館の運営と活用【新規：H28～】 | 交流拠点複合施設「ビッググループ滝沢」内の新設図書館で、市民の教養や調査研究、レクリエーションなどに資することで、学習支援や学習機会・学習活動の場の提供を行います。 | 生涯学習文化課 |
| 生涯学習関連施設の機能充実 【継続】 | 生涯学習関連施設の維持修繕や管理運営を行い、利便性や機能の充実を図ります。 また、同関連施設において、インターネットを活用した施設利用状況の公開による利便性の充実を図ります。 | 生涯学習文化課 |
| 放送大学や大学公開講座の活用推奨【継続】 | 岩手学習センターと連携した放送大学の活用推奨や大学公開講座などに関する情報提供を行い、より高度で専門的な学習機会の充実を図ります。 | 生涯学習文化課 |
| 生涯学習・社会教育指導者や地域づくりリーダーの確保と活躍の場の充実【継続】 | 生涯学習・社会教育指導者や地域づくりリーダーのいきいき人材バンクへの登録を推進します。生涯学習・社会教育指導者や地域づくりリーダーの市民の学びの場への講師派遣を行い、生涯学習による地域づくりを支援します。 | 生涯学習文化課 |

| 推進事項（事業名） 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|---|--|----------------|
| <p>学びのネットワークづくりによる双方向コミュニケーション【新規：H28～】【再掲】</p> | <p>市民と地域、教育・公共機関、生涯学習関連施設、市行政の5つを結ぶ学びのネットワークづくりで、双方向コミュニケーションによる生涯学習活動支援や生涯学習関連施策などの情報共有を図ります。</p> <p>広報たきざわや市ホームページ、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス：フェイスブックやブログなど）など市行政と連動した積極的な情報発信・交流で、学びの情報共有を支援します。</p> <p>双方向コミュニケーションによる市総合計画や生涯学習推進計画「学びプランたきざわ」の確実な展開で、学びの市民参画交流の促進や子どもから高齢者まで全ての世代を対象とした地域づくりリーダー育成・活躍を支援し、市民が主役の生涯学習社会の構築と生涯学習による地域づくりを推進します。</p> | <p>生涯学習文化課</p> |
| <p>滝沢市ふれあいまちづくり出前講座事業【継続】</p> | <p>豊かで住みよい地域づくりのために市行政や地域づくり、施設見学などの出前講座を行います。</p> <p>市行政全般（市民環境や健康福祉、経済産業、都市整備・上下水道、教育振興、企画総務）に関する学びが対象となっており滝沢市役所の関係課職員が講師となります。</p> <p>メニュー新設や大学と連携した学習機会の創出で講座の充実を図ります。</p> | <p>関係課</p> |
| <p>広報たきざわやホームページ、SNS運用による情報交流【継続】</p> | <p>市行政の方針や政策、施策、事業、地域づくり、学びなどの情報を広報たきざわやホームページで積極的に情報発信します。</p> <p>また、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス：フェイスブックやブログなど）と連動し、主に若者への情報発信・交流を充実し、社会参画交流を支援します。</p> | <p>企画政策課</p> |
| <p>生涯学習ガイド発行による情報提供【継続】</p> | <p>総合的な生涯学習冊子「生涯学習ガイド」を発行し、生涯学習推進計画前期基本計画「学びプランたきざわ」概要やいきいき人材バンク登録者、グループ&サークル紹介、まちづくり出前講座メニュー、ステージ出演ボランティア紹介など多様な学習情報の提供を行います。</p> | <p>生涯学習文化課</p> |



| | |
|--------------|---------------------------------------|
| 基本方針 1 | 学べる活かせる環境づくり |
| 基本施策 1-2 | 子ども子育て・家庭教育支援 |
| 施策 1-2-1 | 子どもがすくすく育つ環境づくり |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び・成長)、成人期 (自立・子育て) |

近年、家庭教育力の低下や子育てへの不安を抱える保護者の増加が懸念されています。

乳幼児期 (すこやか世代) は、人間形成の基礎が培われ、心身の発達を助長する時期です。子どもは「地域の宝」であり、子どもの成長は「地域の希望」でもあることから地域全体で子どもや子育て世代を支援することが大切です。

また、家庭教育は生涯学習の出発点であり、子どもが基本的な生活習慣・生活能力や基本的倫理観 (人に対する信頼感と豊かな情操、思いやり、善悪の判断など)、自立心・自制心、社会的マナーなどを培うことができる子ども子育て・家庭教育支援を充実します。

そして、子ども・子育て関連3法の施行に基づく「子ども・子育て支援新制度」と滝沢市子ども・子育て支援事業計画による子育て家庭支援、子どもが明るく心豊かに育つ環境整備、子育て支援ネットワークづくり、幼児期の教育保育の一体的提供、家庭教育に関する学習機会、放課後児童健全育成、放課後子ども教室などを充実します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|-------------------------|--|---------|
| 地域子育て支援拠点事業【継続】 | 子どもや保護者の相互交流の場を開設し、保育士による子育て相談や情報提供、助言を行い、地域子育て支援機能の充実を図ります。子育てに関する不安緩和で、子どもの健やかな育ちの促進を図ります。 | 児童福祉課 |
| 幼児家庭教育講座【継続】 | 幼児期の家庭教育に関する学習機会を提供し、家庭教育支援を充実します。 | 生涯学習文化課 |
| 小中学校家庭教育学級【継続】 | 保護者や地域を対象とした子どもの発達段階に応じた家庭教育の課題などに関する学習機会を提供し、家庭教育支援を充実します。 | 生涯学習文化課 |
| 放課後児童健全育成事業【継続】 | 放課後や休校日に適切な遊びと生活の場を提供して、児童の健全育成に努めます。 | 児童福祉課 |
| 放課後子ども教室推進事業【継続】 | 放課後や土曜日などの週末における子どもたちの体験活動の充実を行い、放課後児童対策を展開します。 | 生涯学習文化課 |



| | |
|--------------|--------------|
| 基本方針 1 | 学べる活かせる環境づくり |
| 基本施策 1-3 | 学校教育の充実 |
| 施策 1-3-1 | 学校教育基盤の充実 |
| ライフステージ (世代) | 青少年期 (学び成長) |

市総合計画生涯学習部門計画に基づく施策（学校教育指導に関する実施計画）として年度毎に策定する「滝沢市学校教育指導計画」の確実な展開による学校教育の充実を図ります。

知・徳・体を総合的に兼ね備えた社会に適応する能力を育てる学校教育の充実のため、目指す学校像として「『正義』と『信頼』の学校」を掲げ、子どもたちが安心して生き生きと生活できる学校づくりを目指します。

子どもたちの現代社会の変化に対応できる「生きる力」の育成を目指す学習指導要領と第2期教育振興基本計画の趣旨を踏まえ、滝沢市学校教育目標「明るく かしこく たくましい子ども」の育成を図ります。

また、既存小中学校施設の維持管理・長寿命化や滝沢中央小学校の開校準備、学校再配置検討、学校ICT（情報通信技術）化の促進など学校教育基盤の充実を図ります。

さらに、子どもと家庭、学校、地域、市行政の5者が相互連携し、「明るく かしこく たくましい子どもの育成」に取り組む教育振興運動を市内全小中学校単位に設置された11実践区で地域の特色を活かした活動を展開し、教育課題を解決できる地域力基盤醸成を支援します。

| 推進事項（事業名） 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|-------------------------------------|--|------------------|
| 「滝沢市学校教育指導計画」の確実な展開【継続】 | 市総合計画生涯学習部門計画に基づく施策（学校教育指導に関する実施計画）として年度毎に策定する「滝沢市学校教育指導計画」の確実な展開による学校教育の充実を図ります。 | 学校教育指導課 |
| 「正義」と「信頼」の学校づくり【継続】 | 子どもたちが安心して、生き生きと生活できる学校づくりを目指して、正しいことが正しいと堂々と言える「正義」が通る学校づくりに努めます。また、子どもと学校、地域が互いに信頼し合い、地域と一緒に「信頼」される学校づくりに努めます。 | 学校教育指導課 |
| 滝沢市学校教育目標「明るく かしこく たくましい子ども」の育成【継続】 | 「明るく かしこく たくましい子ども」を育成するため、確かな学力を育む教育の推進と豊かな人間性や社会性の育成、健康安全活動の支援の充実を図り、子どもたちが学べることの幸福感を味わえるような学校教育を目指します。 | 学校教育指導課 |
| 既存小中学校施設の維持管理・長寿命化【継続】 | 小中学校施設は学びの場であり、災害時の避難所機能も併せ持ちます。耐震化対策など安全・安心な教育施設の整備に努め、既存施設の適切な維持管理による計画的な同施設の長寿命化を図ります。 | 教育総務課 |
| 滝沢中央小学校の開校準備【継続】 | 鶴飼小学校と滝沢小学校の児童数増加に伴う滝沢中央小学校の整備と開校準備を進めます。 | 教育総務課 |
| 学校再配置検討【継続】 | 少子化や児童生徒の偏在化を踏まえ、中長期的な展望による望ましい学校配置検討を行います。 | 教育総務課 学校教育指導課 |
| 学校ICT（情報通信技術）化の促進【継続】 | 情報化社会の進展に即応して、学校ICT（情報通信技術）化の促進に努めます。 | 教育総務課 学校教育指導課 |

| | |
|--------------|---------------|
| 基本方針 1 | 学べる活かせる環境づくり |
| 基本施策 1-3 | 学校教育の充実 |
| 施策 1-3-2 | 確かな学力を育む教育の推進 |
| ライフステージ (世代) | 青少年期 (学び成長) |

岩手の義務教育の目的は「知・徳・体」を総合的に兼ね備えた社会に適応する能力を育てる「人間形成」です。また、滝沢市の学校教育目標は「明るく かしこく たくましい子ども」であることから、「知=かしこく」にあたる「確かな学力」と「体=たくましい子ども」にあたる「体力」の実態を、数値でとらえられる諸テストなどから把握し、その向上を図ります。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|--|---|---------|
| 小中ジョイントアップ・スクール事業【継続】 | 中学校区ごとに小中学校が連携し、9年間を見据えた実践的取組を進める「小中ジョイントアップ・スクール事業」により児童生徒の生きる力を育成します。 | 学校教育指導課 |
| ラーニング・サポーター・プロジェクト事業【継続】 | 盛岡大学と連携した「ラーニング・サポーター・プロジェクト事業」の実施で、児童生徒の学習に関するつまづき解消を支援します。 | 学校教育指導課 |
| 学校司書配置事業【継続】 | 学校司書を配置し、一定規模以上の小学校読書環境を整え、学力の基盤「読む力」の向上を図ります。 | 学校教育指導課 |
| 国際理解推進事業【継続】 | 定期的なALT (外国語指導助手) 訪問指導を通じて、児童生徒に英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成と英語に慣れ親しませながらコミュニケーション能力の素地や基礎を養います。また、小学校高学年における外国語活動必修化に伴い小学校訪問を充実します。 | 学校教育指導課 |
| 小学校「英語」の教科化に向けた新たな国際理解推進事業の検討と先行実施【継続】 | 平成32年度小学校新学習指導要領における「英語」教科化に向けた新たな国際理解推進事業の検討と先行実施を行います。 | 学校教育指導課 |



△科学技術や読書感想文、文化芸術スポーツで優秀な成績を収めた小中学生による活躍報告会

| | |
|--------------|---------------|
| 基本方針 1 | 学べる活かせる環境づくり |
| 基本施策 1-3 | 学校教育の充実 |
| 施策 1-3-3 | 豊かな人間性や社会性の育成 |
| ライフステージ (世代) | 青少年期 (学び成長) |

自他の生命の尊重や思いやりの心、郷土滝沢の自然、伝統文化、食文化などを学ぶことで培われる郷土愛などの児童生徒の「豊かな人間性や社会性の育成」は、道徳の時間を始め、各教科や総合的な学習の時間、復興教育などあらゆる教育活動において育むことが大切です。

また、児童生徒が協調性や意思疎通能力などの社会性を身に付け、いきいきと生活するためには、学校生活における友人関係や学業不振などで学校不適応・不登校に陥らないよう学校・家庭・関係機関が連携を図り、日々の学校生活が楽しく充実したものとなるよう手立てを講じます。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|-----------------------------------|--|---------|
| 豊かな人間性をはぐくむ道徳教育の充実【継続】 | 道徳教育の充実に努め、児童生徒の「生きる力」の核となる豊かな人間性を育みます。 | 学校教育指導課 |
| 道徳教育地区公開講座の実施【継続】 | 道徳教育地区公開講座を実施し、家庭と地域の協力と支援により道徳教育を展開します。 | 学校教育指導課 |
| 自己存在感・好ましい人間関係をはぐくむ学級・学年経営の充実【継続】 | 児童生徒一人一人が、かけがいのない人間として大切にされ、頼りにされていることを実感できるように取り組みます。 | 学校教育指導課 |
| 滝沢市いじめ防止等対策協議会の設置【継続】 | 滝沢市いじめ防止等対策協議会を設置し、学校・家庭・地域・関係機関などとの連携に努め、いじめや非行などの問題行動を未然防止に努めます。 | 学校教育指導課 |
| 体験的な活動を位置付けた総合的な学習の時間の充実【継続】 | 国際理解や環境、福祉、健康、食育などの横断的・総合的な課題、児童生徒の興味関心に基づく課題、地域や学校の特色に応じた課題や復興教育などの体験的な活動の充実に努めます。 | 学校教育指導課 |
| 職場体験学習や進路学習の充実【継続】 | 学校と地域が連携した職場体験学習で児童生徒の勤労観や職業観を培い、働くことの意義や自分の進路適性を学ぶ機会を充実します。 | 学校教育指導課 |
| 復興教育や防災教育の充実【継続】 | 子どもと家庭、学校、地域、市行政が相互連携した復興教育や防災教育の充実に努め、3つの教育的価値「いきる：生命や心」と「かかわる：人や地域」、「そなえる：防災や安全」を育みます。 | 関係課 |
| 児童生徒の適正な就学指導の推進【継続】 | 校内就学指導体制の機能の充実と市就学指導委員会との連携に努めます。 | 学校教育指導課 |

| 推進事項（事業名） 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|---------------------------------|---|----------|
| 特別支援教育の充実【継続】 | 特別支援教育巡回相談事業を拡充し、児童生徒の生活・学習上の課題の改善・克服に努めます。 | 学校教育指導課 |
| 不適応児童生徒に対する指導の充実【継続】 | 児童生徒の不登校を未然防止に努めます。 | 学校教育指導課 |
| スクールカウンセラー配置による社会的自立や学校復帰支援【継続】 | スクールカウンセラー配置により社会的自立や学校復帰を支援します。 | 学校教育指導課 |
| 不登校児童生徒解消対策とあったかハート支援員の配置【継続】 | 不登校児童生徒解消対策とあったかハート支援員配置により、総合的な適応指導を関係機関と連携して取り組みます。 | 学校教育指導課 |
| 適応指導教室の運営の充実【継続】 | 学校やスクールカウンセラー、適応指導教室指導員、あったかハート支援員などとの連携に努め、不登校や不登校傾向を有している児童生徒の問題解消と保護者に対する相談・助言・指導の充実に努めます。 | 学校教育指導課 |
| 幼稚園・保育園、小中学校間の連携の充実【継続】 | 日常的に幼稚園・保育園、小中学校間の連携に努め、幼稚園・保育園、小中学校間で起きる課題の解決に努めます。 | 学校教育指導課 |
| 児童生徒の健康づくり【継続】 | 学校体育や運動部活動による児童生徒の体力向上と健康づくりを充実します。 | 学校教育指導課 |
| 食習慣と健全発育の促進【継続】 | 給食指導を充実し、家庭や地域と連携して児童生徒の望ましい食習慣と健全な発育を促進します。 | 学校給食センター |
| 栄養改善と食育推進【継続】 | 児童生徒を対象とした教室や関係機関と連携し、栄養改善と食育推進を図ります。 | 健康推進課 |
| 思春期保健講演会・赤ちゃんふれあい体験学習事業【継続】 | 小中学生を対象とした思春期保健講演会や中学生と健診を受診する乳児、保護者が交流する赤ちゃんふれあい体験学習を通じて、「いのちの大切さ」を学ぶ機会の充実に努めます。 | 健康推進課 |
| 市長とのお気軽トークの開催【継続】 | 市長が地域に出向き、明るく元気な地域づくりを目指すための取り組みや夢を共に語り合い、市民の声（意見や要望など）を聞きながら、対話を重視した市行政運営と地域づくりの推進を目指します。 また、滝沢市の未来を担う中学生や大学生、地域で活躍する若者とお気軽トークを通じて、若者活躍と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。 | 企画政策課 |

| | |
|--------------|--------------|
| 基本方針 1 | 学べる活かせる環境づくり |
| 基本施策 1-3 | 学校教育の充実 |
| 施策 1-3-4 | 健康・安全活動の支援 |
| ライフステージ (世代) | 青少年期 (学び成長) |

子どもたちがいきいきと学校生活を送るためには、体位体力の発達促進が図られ、心身ともに健康であることが大切です。

日々の学校生活において、安全・安心に生活するために、児童生徒が安全に登下校できるスクールガード（児童生徒の登下校時などに安全確保のため見守り活動を行う学校安全ボランティア）による不審者対策や児童生徒の健康診断、学校環境衛生検査の実施などを推進します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|-------------------------|--|---------|
| スクールガードによる不審者対策【継続】 | 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業により、各学校・PTA・地域・関係機関との連携によりスクールガードによる不審者対策活動を推進します。 | 学校教育指導課 |
| 児童生徒の健康安心【継続】 | 児童生徒の健康診断の実施や学校環境衛生検査などを実施し、児童生徒が健康かつ安心して学ぶことができるように努めます。 | 学校教育指導課 |



△スクールガードの皆さんによる学校安全ボランティアで児童生徒を見守ります

| | |
|--------------|---------------------|
| 基本方針 1 | 学べる活かせる環境づくり |
| 基本施策 1-3 | 学校教育の充実 |
| 施策 1-3-5 | 安全・安心な学校給食の提供と食育の推進 |
| ライフステージ (世代) | 青少年期 (学び成長) |

学校給食に安全で新鮮な地場産品などを活用することや給食センターの施設・設備などの計画的な改修整備を行うことにより、児童生徒に安全安心な学校給食を提供します。

また、児童生徒が将来にわたって健康に生活していくため、望ましい食習慣を理解し実践できるよう、学校と連携し食の指導の充実に努めます。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|-------------------------|--|----------|
| 学校給食事業【継続】 | 児童生徒が献立を考えることを通して、給食への関心や食べることへの意欲を持たせることを目的とした「希望献立」を実施します。 健康な生活を送るための基礎としての望ましい食習慣や正しい食の知識の習得を目的とした「食に関する指導」による安全・安心で魅力ある学校給食の提供と食育の推進を図ります。 | 学校給食センター |



△学校給食を通じて仲間や地域の皆さんとの親睦や交流を深めます

| | |
|--------------|-------------------|
| 基本方針 1 | 学べる活かせる環境づくり |
| 基本施策 1-4 | 高齢者のいきがい支援 |
| 施策 1-4-1 | いきがいつくりの推進 |
| ライフステージ (世代) | 壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

高齢者のいきがいつくりのための支援として、睦大学やいきいきサロンでの交流親睦の機会の充実を支援します。

また、誰もが安心して老後を迎え、心豊かにいきがいを持って暮らすことができる地域づくりを目指し、関係部局が連携し、高齢者のいきがいつくりに努めるとともに生涯現役・全員活躍社会の実現を支援します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|--|---|------------|
| 睦大学開催事業【継続】 | 高齢者に学ぶ機会を提供し、日常生活の中で役立つ知識を身につけ、社会貢献を促進するとともに、いつまでも元気でいきいきと暮らすことを目的とし、睦大学において教養講座と趣味の教室を開催します。 | 高齢者支援課 |
| 地域介護予防活動支援事業 (地域住民グループ支援事業) : いきいきサロン【継続】 | 地域で集まり楽しく気分転換を図ることにより、閉じこもりや機能低下を防止し、介護予防を推進することを目指し、いきいきサロン事業を自治会などに委託し実施します。 | 地域包括支援センター |



△学びフェスタで睦大学ダンス教室受講生の皆さんが社交ダンスを発表

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 1 | 学べる活かせる環境づくり |
| 基本施策 1-5 | 健康づくりへの支援 |
| 施策 1-5-1 | 望ましい生活習慣の定着 |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

生活習慣病を予防するためには生活習慣を見直し、望ましい生活習慣を定着させることが必要です。自分の健康状態を把握し主体的に健康づくりに取り組むことができるよう健康教室・相談、精神保健研修会・教室、栄養改善と食育推進に取り組み、地域ぐるみの心身における健康づくりを支援します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|-------------------------|--|-------|
| 健康教室・相談の充実【継続】 | 市民の健康増進を目指し、健康教室・相談の充実により、必要な支援や助言を行うことで、健康づくりの知識の習得と生活習慣の改善など健康づくりを支援します。 | 健康推進課 |
| 精神保健研修会・教室の開催【継続】 | 市民の心の健康の保持増進を目指し、精神保健や精神障がい (病気) に関する知識や理解を深める研修会や教室を開催します。また、精神障がい者の社会参加の促進と自殺予防対策を推進します。 | 健康推進課 |
| 栄養改善と食育推進【継続】 【再掲】 | 望ましい食習慣の定着を目指し、児童生徒を対象とした教室や関係団体と連携し、食育推進を図ります。 | 健康推進課 |



△食育のつどいや産業まつりで健康づくりや食育推進に関するPR活動を推進

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 1 | 学べる活かせる環境づくり |
| 基本施策 1-5 | 健康づくりへの支援 |
| 施策 1-5-2 | みんなですすめる健康づくり |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

健康づくりは、個人・家庭だけでなく、自治会も含めた地域や仲間と一緒に取り組むことで大きな成果が期待できます。母子や成人、高齢者など全ての世代においても心身の健康に対する関心が高まっていることから、自治会や保健推進員、食生活改善推進員、運動普及推進員など地域において核となって健康づくりを進める「健康づくり支援者」とともに地域ぐるみの心身における健康づくりを進めます。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|---------------------------|--|-------|
| 保健推進員の活動支援【継続】 | 市民主体による健康づくりの推進を目指し、各自治会推薦の保健推進員が中心となって、保健事業や健康づくり活動に取り組む体制づくりを支援します。 | 健康推進課 |
| 「健康づくり支援者」による健康づくりの推進【継続】 | 自治会や保健推進員、食生活改善推進員、運動普及推進員など地域において核となって健康づくりを進める「健康づくり支援者」とともに地域ぐるみの心身における健康づくりを進め、健康診断の受診率向上や健康づくり運動の普及浸透を図ります。 | 健康推進課 |



| | |
|--------------|--------------------------------------|
| 基本方針 1 | 学べる活かせる環境づくり |
| 基本施策 1-5 | 健康づくりへの支援 |
| 施策 1-5-3 | 安心して子どもを産み育てるための支援 |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て) |

少子化や核家族化などにより、育児が世代間で伝達されなくなってきました。また、人間形成の基礎となる親子の愛着形成が十分できなくなっています。

そこで、小中学生を対象とした思春期保健講演会や赤ちゃんふれあい体験学習、出産・子育てを控えた夫婦を対象としたマタニティクラブや両親学級、そして地域子育て支援機能の充実で、安心して子どもを産み育てることができる地域づくりを支援します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|---------------------------------|--|-------|
| 思春期保健講演会・赤ちゃんふれあい体験学習事業【継続】【再掲】 | 小中学生を対象とした思春期保健講演会や中学生と健診を受診する乳児、保護者が交流する赤ちゃんふれあい体験学習を通じて、「いのちの大切さ」を学ぶ機会の充実を図ります。 | 健康推進課 |
| 妊婦保健事業の充実【継続】 | 出産・子育てを控えた夫婦を対象としたマタニティクラブや両親学級などを通じ、情報提供と仲間づくりの場を提供します。 | 健康推進課 |
| 地域子育て支援拠点事業【継続】【再掲】 | 子どもや保護者の相互交流の場を開設し、保育士による子育て相談や情報提供、助言を行い、地域子育て支援機能の充実を図ります。子育てに関する不安緩和で、子どもの健やかな育ちの促進を図ります。 | 児童福祉課 |



△赤ちゃんふれあい体験学習で中学生が「いのちの大切さ」を学びます

滝沢市生涯学習推進体系（支えあう地域力の向上）

| 基本目標 | 基本方針 | 基本施策 | 施策 |
|-----------------------------|------------|-------------------------|-----------------------------------|
| 一人一人が学ぶよろこびを実感できるまち たきざわ | 支えあう地域力の向上 | 2-1 社会教育による地域力基盤醸成 | 2-1-1 地域課題や教育課題の解決支援 |
| | | | 2-1-2 教育振興運動による教育課題の解決支援 |
| | | | 2-1-3 社会教育行政の再構築 |
| | | | 2-1-4 社会教育関係団体の支援 |
| | | | 2-1-5 社会教育による地域づくりリーダー育成・活躍の支援 |
| | | | 2-1-6 青少年対策行政の推進と青少年健全育成の展開 |
| | | | 2-1-7 復興教育や防災教育による地域づくり |
| | | | 2-1-8 多文化共生社会の啓発 |
| | | 2-2 情報共有による総合計画の展開 | 2-2-1 情報発信・交流とPR活動の展開 |
| | | 2-2-2 市民との対話の場づくり | |
| | | 2-3 ICTを活用した地域づくり | 2-3-1 地域情報化の推進と情報メディア対応の意識啓発 |
| | | 2-4 人と人がつながる場づくり | 2-4-1 地域コミュニティの活性化支援 |
| | | 2-4-2 市民活動の拠点整備と管理運営 | |
| | | 2-5 安全・安心な地域づくり | 2-5-1 災害に強い安全・安心な地域づくり |
| | | 2-5-2 犯罪や事故のない地域づくり | |
| | | 2-6 地球にやさしい地域づくり | 2-6-1 環境保全による持続可能な地域づくり |
| | | 2-6-2 クリーンたきざわ運動の推進 | |

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 2 | 支えあう地域力の向上 |
| 基本施策 2-1 | 社会教育による地域力基盤醸成 |
| 施策 2-1-1 | 地域課題や教育課題の解決支援 |
| ライフステージ (世代) | 青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

社会状況やライフスタイルの変化に伴い、滝沢市においても、心身の健康づくりや子ども子育て・家庭教育支援、学校教育の充実、スポーツ推進、高齢者のいきがい支援、情報メディア対応、社会参画交流・経済産業・ICT (情報通信技術) による若者活躍支援、文化芸術振興、環境保全、復興教育・防災教育の充実などが地域課題や教育課題となっています。

また、生涯学習活動に興味関心があっても、多忙のため取り組むことが難しい勤労者や子育て世代が抱える個人的課題は、地域課題や教育課題と重複している場合もあります。

ニーズ調査結果の検証や地域との対話を行いながら、アクティブラーニング (学習者や地域などが連携協働して課題解決を目指す探求型学習) による (仮称) たきざわ地域課題解決支援講座の開設で、大学生や地域で活躍する若者、勤労者、子育て世代などの新たな市民参画交流と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

また、子どもと家庭、学校、地域、市行政の5者が相互連携し、「明るく かしこく たくましい子どもの育成」に取り組む教育振興運動や子ども会リーダー養成研修、ジュニアリーダーズセミナーを通じて地域課題や教育課題を解決できる地域力基盤醸成と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|----------------------------------|--|---------|
| (仮称) たきざわ地域課題解決支援講座の開設【新規: H28~】 | アクティブラーニング (学習者や地域などが連携協働して課題解決を目指す探求型学習) による (仮称) たきざわ地域課題解決支援講座の開設で、大学生や地域で活躍する若者、勤労者、子育て世代などの新たな市民参画交流と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。 | 生涯学習文化課 |
| 滝沢市教育振興運動推進協議会交付金事業【継続】 | 子どもと家庭、学校、地域、市行政の5者が相互連携した教育振興運動を展開し、「明るく かしこく たくましい子どもの育成」に取り組みます。 情報メディアとの上手な付き合い方や学力向上、健全育成、健康安全、体力向上、復興教育、防災教育、環境教育・環境学習など教育課題を解決できる地域力基盤醸成と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。 | 生涯学習文化課 |
| 滝沢市子ども会リーダー養成研修【継続】 | 子ども会のリーダーとして活動する子どもたちが、子ども会の意義・役割などの基本を学び、レクリエーション活動などの研修を通して、地域づくりリーダーとしての基礎や心構えについて学びます。 | 生涯学習文化課 |
| 滝沢市ジュニアリーダーズセミナー【継続】 | 次代を担う中学生や高校生たちが、異年齢の仲間たちとの交流や体験学習、研修 (地域課題解決プログラムや情報メディアとの上手な付き合い方、復興教育、防災教育、環境教育・環境学習など) を通じて、地域づくりリーダーとしての資質を養います。 | 生涯学習文化課 |

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 2 | 支えあう地域力の向上 |
| 基本施策 2-1 | 社会教育による地域力基盤醸成 |
| 施策 2-1-2 | 教育振興運動による教育課題の解決支援 |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

子どもと家庭、学校、地域、市行政の5者が相互連携し、子どもから高齢者まで全ての世代が支えあい「明るく かしこく たくましい子どもの育成」に取り組む教育振興運動を市内全小中学校単位に設置された11実践区で地域の特色を活かした活動を展開し、教育課題を解決できる地域力基盤醸成と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

情報メディアとの上手な付き合い方や学力向上、健全育成、健康安全、体力向上、復興教育、防災教育、環境教育・環境学習など教育課題の解決に向けた活動を支援します。

また、受け継がれてきた伝統の力と大学生や地域で活動する若者たちが持つ若い新しい力の融合(ハイブリッド)で進める教育振興運動やたきざわ学びフェスタ開催で、若者活躍による地域活性化と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|-----------------------------|--|---------|
| 滝沢市教育振興運動推進協議会交付金事業【継続】【再掲】 | 子どもと家庭、学校、地域、市行政の5者が相互連携した教育振興運動を展開し、「明るく かしこく たくましい子どもの育成」に取り組みます。 情報メディアとの上手な付き合い方や学力向上、健全育成、健康安全、体力向上、復興教育、防災教育、環境教育・環境学習など教育課題を解決できる地域力基盤醸成と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。 | 生涯学習文化課 |
| たきざわ学びフェスタの開催【継続】 | 生涯学習による地域づくり活動に取り組む関係者が一堂に会し、地域における生涯学習活動や教育振興運動実践活動の成果を発表し、参加者同士が学び合う場を創出し、地域力向上を支援します。 | 生涯学習文化課 |



△学びフェスタで姥屋敷小中学校実践区の皆さんが教育振興運動活動を発表

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 2 | 支えあう地域力の向上 |
| 基本施策 2-1 | 社会教育による地域力基盤醸成 |
| 施策 2-1-3 | 社会教育行政の再構築 |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

市長部局と教育委員会の連携強化による教育行政の推進や市民と地域、教育・公共機関、生涯学習関連施設、市行政の5つを結ぶ学びのネットワークづくりによる双方向コミュニケーション、社会教育推進体制の強化などで社会教育行政の再構築を図ります。

社会教育行政の再構築による「地域が人を育み、人が地域をつくる好循環」の促進で、地域づくりリーダー育成・活躍と地域課題や教育課題を解決できる地域力基盤醸成を支援します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|--------------------------|--|---------|
| 社会教育行政の再構築【新規：H28～】 | 市長部局と教育委員会の連携強化による教育行政の推進や市民と地域、教育・公共機関、生涯学習関連施設、市行政の5つを結ぶ学びのネットワークづくりによる双方向コミュニケーション、社会教育推進体制の強化などで社会教育行政の再構築を図ります。 | 生涯学習文化課 |
| 「社会教育行政の方針と計画」の確実な展開【継続】 | 市総合計画生涯学習部門計画の分野別計画として策定された市生涯学習推進計画前期基本計画「学びプランたきざわ」を具現化する施策（実施計画）として年度毎に策定する「社会教育行政の方針と計画」の確実な展開を図ります。 | 生涯学習文化課 |
| 社会教育委員会議の開催【継続】 | 社会教育委員会議の開催により、社会教育に関する計画立案と教育委員会からの諮問に応じて意見を述べるなど推進体制の強化を図ります。 | 生涯学習文化課 |
| 社会教育指導員設置事業【継続】 | 専門的知識と経験を有する社会教育指導員設置による推進体制の強化と社会教育関係団体の育成・自立支援を行います。 | 生涯学習文化課 |
| 社会教育主事設置事業【継続】 | 社会教育主事資格を有する専門的職員設置による推進体制の強化と社会教育関係団体からの求めに応じた助言・活動支援を行います。 | 生涯学習文化課 |



△女性研修会で結核・現代病対策について学ぶ滝沢市地域婦人協議会の皆さん

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 2 | 支えあう地域力の向上 |
| 基本施策 2-1 | 社会教育による地域力基盤醸成 |
| 施策 2-1-4 | 社会教育関係団体の支援 |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

社会教育行政において重要なパートナーである社会教育関係団体を支援し、社会教育行政の再構築による「地域が人を育み、人が地域をつくる好循環」の促進を図ります。

そして、家庭や学校教育だけでは不足しがちな自然・社会体験の機会充実により青少年教育と青少年健全育成を推進し、地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

また、家庭人や職業人、生涯学習・社会教育指導者、地域づくりリーダーとして培った力を発揮し、地域交流の促進と活躍支援による成人教育を推進します。

さらに、受け継がれてきた伝統の力と大学生や地域で活動する若者たちが持つ若い新しい力の融合 (ハイブリッド) で進める社会教育関係団体活動で若者活躍による地域活性化と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|-----------------------------|--|---------|
| 滝沢市教育振興運動推進協議会交付金事業【継続】【再掲】 | 子どもと家庭、学校、地域、市行政の5者が相互連携した教育振興運動を展開し、「明るくかしこくたくましい子どもの育成」に取り組みます。 情報メディアとの上手な付き合い方や学力向上、健全育成、健康安全、体力向上、復興教育、防災教育、環境教育・環境学習など教育課題を解決できる地域力基盤醸成と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。 | 生涯学習文化課 |
| 滝沢市青少年育成市民会議補助事業【継続】 | 滝沢市青少年育成市民会議活動を支援し、青少年健全育成と地域活性化を促進します。 主な主催事業は、バス交流事業や青少年参加型の標語募集・標語入選者作品の看板掲示、チビッコ相撲大会などです。 | 生涯学習文化課 |
| 滝沢市子ども会育成連合会補助事業【継続】 | 滝沢市子ども会育成連合会活動を支援し、子ども会育成者の資質の向上と子ども会活動の活性化を促進します。 主な主催事業は、子ども会育成会指導者研修会や会報「すくすく」の発行、ジュニアリーダー「クレヨン」の育成、たきざわ夢灯りなどです。 | 生涯学習文化課 |
| 滝沢市少年団体指導員協議会補助事業【継続】 | 滝沢市少年団体指導員協議会活動を支援し、自然体験活動を通じた青少年健全育成と地域活性化を促進します。 主な主催事業は、友遊親子キャンプや冬のプレイスクール、各種地域活動への指導者派遣などです。 | 生涯学習文化課 |

| 推進事項（事業名） 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|------------------------|--|---------|
| 滝沢市地域婦人協議会補助事業【継続】 | 滝沢市地域婦人協議会活動を支援し、女性の社会参画交流や地域課題の解決を促進します。主な主催事業は、リーダー研修や子ども子育て・家庭教育支援、環境教育・環境学習、福祉ボランティア活動などです。 | 生涯学習文化課 |
| 滝沢ユネスコ協会活動の支援【継続】 | 滝沢ユネスコ協会活動を支援し、国際連合・ユネスコ憲章、世界人権宣言の精神に基づく活動を通じた地域活性化を促進します。主な主催事業は、伝統文化や歴史、自然の継承、E S D（Education for Sustainable Development：持続可能な社会づくりの担い手を育む教育）の推進などです。 | 生涯学習文化課 |



△滝沢市青少年育成市民会議による少年少女のバス交流とチビッコ相撲大会で青少年健全育成



△滝沢市子ども会育成連合会によるたきざわ夢灯りとジュニアリーダー「クレヨン」育成



△滝沢市少年団体指導員協議会による友親親子キャンプとプレイスクールで自然体験活動

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 2 | 支えあう地域力の向上 |
| 基本施策 2-1 | 社会教育による地域力基盤醸成 |
| 施策 2-1-5 | 社会教育による地域づくりリーダー育成・活躍の支援 |
| ライフステージ (世代) | 青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

次代を担う青少年が「生きる力」を育むため、家庭や学校教育だけでは不足しがちな世代間交流や自然・社会体験活動の機会を充実します。そして、「明るく かしこく たくましい子どもの育成」に取り組み、青少年教育による地域課題や教育課題を解決できる地域力基盤醸成や地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

さらに、家庭人や職業人、生涯学習・社会教育指導者、地域づくりリーダーとして培った力を発揮し、社会参画交流の促進と活躍支援による成人教育を推進します。

また、アクティブラーニング (学習者や地域などが連携協働して課題解決を目指す探求型学習) による (仮称) たきざわ地域課題解決支援講座の開設で大学生や地域で活躍する若者、勤労者、子育て世代などの新たな市民参画交流と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|---|---|---------|
| ふるさと滝沢探検講座事業 【継続】 | 小学生を対象としたふるさと滝沢の地域資産 (伝統文化や歴史、文化財、自然環境、経済産業など) に関する体験学習の機会を提供し、郷土理解の推進とふるさと滝沢を再発見・再創造し、伝統を受け継ぎ未来へと継承ができる地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。 | 生涯学習文化課 |
| 滝沢市子ども会リーダー養成研修 【継続】 【再掲】 | 子ども会のリーダーとして活動する子どもたちが、子ども会の意義・役割などの基本を学び、レクリエーション活動などの研修を通して、地域づくりリーダーとしての基礎や心構えについて学びます。 | 生涯学習文化課 |
| 滝沢市ジュニアリーダーズセミナー 【継続】 【再掲】 | 次代を担う中学生や高校生たちが、異年齢の仲間たちとの交流や体験学習、研修 (地域課題解決プログラムや情報メディアとの上手な付き合い方、復興教育、防災教育、環境教育・環境学習など) を通して、地域づくりリーダーとしての資質を養います。 | 生涯学習文化課 |
| ジュニアリーダーズクラブ「クレヨン」の活動支援 【継続】 | ジュニアリーダーズクラブ「クレヨン」の自主的活動を支援し、活性化と会員の資質の向上を図ります。 | 生涯学習文化課 |
| (仮称) たきざわ地域課題解決支援講座の開設 【新規: H28~】 【再掲】 | アクティブラーニング (学習者や地域などが連携協働して課題解決を目指す探求型学習) による (仮称) たきざわ地域課題解決支援講座の開設で、大学生や地域で活躍する若者、勤労者、子育て世代などの新たな市民参画交流と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。 | 生涯学習文化課 |

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 2 | 支えあう地域力の向上 |
| 基本施策 2-1 | 社会教育による地域力基盤醸成 |
| 施策 2-1-6 | 青少年対策行政の推進と青少年健全育成の展開 |
| ライフステージ (世代) | 青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

青少年を取り巻く環境は大きく変化し、家庭教育力の低下や子育てへの不安を抱える保護者の増加、情報端末（パソコンやスマートフォン、タブレットなど）の高機能化による違法・有害情報への接触、いじめ・不登校、少年非行・犯罪など地域課題や教育課題の深刻化・顕在化に伴う心のケアが求められており、市長部局と教育委員会が連携強化による青少年対策行政を推進します。

さらに、青少年対策行政において重要なパートナーである青少年関係団体（滝沢市青少年育成市民会議や社会教育関係団体、民生児童委員協議会、少年補導員連絡会、保護司協議会など）と関係機関、市行政などの連携強化による青少年健全育成（青少年の指導育成や教育・福祉・保護・補導・更生など含む）を展開し、次代を担う青少年の健やかな成長と一人一人の可能性を最大限に発揮できる地域づくりを目指します。

また、受け継がれてきた伝統の力と大学生や地域で活動する若者たちが持つ若い新しい力の融合（ハイブリッド）で進める青少年健全育成による地域づくりを支援し、若者活躍による地域活性化を図ります。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|------------------------------|--|---------|
| 滝沢市青少年育成市民会議補助事業【継続】【再掲】 | 滝沢市青少年育成市民会議活動を支援し、青少年健全育成と地域活性化を促進します。 主な主催事業は、バス交流事業や青少年参加型の標語募集・標語入選者作品の看板掲示、チビッコ相撲大会などです。 | 生涯学習文化課 |
| 滝沢市青少年問題協議会の開催【継続】 | 青少年の指導育成や教育・福祉・保護・補導・更生に関する総合的な情報共有や意見交換で適正な青少年問題に関する各種事業・活動を推進します。 | 生涯学習文化課 |
| わたしの主張岩手県大会盛岡西地区大会出場への支援【継続】 | 市内中学生の「わたしの主張岩手県大会盛岡西地区大会」出場を支援し、滝沢市の未来を担う中学生が自分の意見や発見、提案など自分の気持ちを素直に表現し、学校生活や地域づくりについて考え、行動する契機の機会とします。 | 生涯学習文化課 |



△滝沢市青少年健全育成関係者懇談会で地域ぐるみで青少年を育むことの大切さを情報交換

| | |
|--------------|----------------------|
| 基本方針 2 | 支えあう地域力の向上 |
| 基本施策 2-1 | 社会教育による地域力基盤醸成 |
| 施策 2-1-7 | 復興教育や防災教育による地域づくり |
| ライフステージ (世代) | 青少年期 (学び成長)、成人期 (自立) |

子どもと家庭、学校、地域、市行政が相互連携した復興教育や防災教育の充実により、3つの教育的価値「いきる：生命や心」と「かかわる：人や地域」、「そなえる：防災や安全」を育みます。また、郷土岩手の復興や地域づくりを担う人材育成を目指して行われる「いわて希望塾」へ市内中学生を派遣などを通じて、地域課題や教育課題を解決できる地域力基盤醸成や地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

さらに、受け継がれてきた伝統の力と大学生や地域で活動する若者たちが持つ若い新しい力の融合（ハイブリッド）で進める復興教育や防災教育による地域づくりを支援し、若者活躍による地域活性化を図ります。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|---------------------------|--|---------|
| 復興教育や防災教育の充実 【継続】 【再掲】 | 子どもと家庭、学校、地域、市行政が相互連携した復興教育や防災教育の充実で、3つの教育的価値「いきる：生命や心」と「かかわる：人や地域」、「そなえる：防災や安全」を育みます。 | 関係課 |
| 滝沢市ジュニアリーダーズセミナー【継続】 【再掲】 | 次代を担う中学生や高校生たちが、異年齢の仲間たちとの交流や体験学習、研修（地域課題解決プログラムや情報メディアとの上手な付き合い方、復興教育、防災教育、環境教育・環境学習など）を通して、地域づくりリーダーとしての資質を養います。 | 生涯学習文化課 |
| いわて希望塾への派遣【継続】 | 県内市町村の枠を超えた交流を通じ、郷土岩手の復興や地域づくりを担う心豊かで意欲に満ちた人材育成を目的に行われる「いわて希望塾」に市内中学生を派遣します。 | 生涯学習文化課 |



△柳沢中学校の皆さんが宮古市田老地区の防潮堤で郷土岩手の復興や防災に関する体験学習

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 2 | 支えあう地域力の向上 |
| 基本施策 2-1 | 社会教育による地域力基盤醸成 |
| 施策 2-1-8 | 多文化共生社会の啓発 |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

岩手県では、産学官連携による I L C (国際リニアコライダー) 誘致による地球規模の研究者が居住する国際学術研究都市形成と次代を拓く産業集積を目指しており、国際感覚豊かな地域づくりリーダー育成・活躍が求められています。

異なる文化や歴史、生活習慣を持つ国々への理解を深め、国際意識の向上と国際理解・交流に関する学習機会や体験活動の充実を図ります。そして、市民と外国人が共生できる地域づくりを目指す多文化共生社会の啓発と国際感覚豊かな地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

さらに、受け継がれてきた伝統の力と大学生や地域で活動する若者たちが持つ若い新しい力の融合 (ハイブリッド) で進める多文化共生社会の啓発を支援し、若者活躍による地域活性化を図ります。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|--|--|---------|
| 国際理解推進事業【継続】 【再掲】 | 定期的な A L T (外国語指導助手) 訪問指導を通じて、児童生徒に英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成と英語に慣れ親しませながらコミュニケーション能力の素地や基礎を養います。 また、小学校高学年における外国語活動必修化に伴い小学校訪問を充実します。 | 学校教育指導課 |
| 小学校「英語」の教科化に向けた新たな国際理解推進事業の検討と先行実施【継続】 【再掲】 | 平成32年度小学校新学習指導要領における「英語」教科化に向けた新たな国際理解推進事業の検討と先行実施を行います。 | 学校教育指導課 |
| 国際理解教育講座開設事業【継続】 | 海外の文化や歴史を理解し認識を深め、国際化に対応できる柔軟な感性を培い、視野の拡大を図るため、国際理解や交流、コミュニケーション手段である語学などを学ぶ機会 (外国語講座や幼児国際理解交流会など) を提供します。 | 生涯学習文化課 |



△幼児国際理解交流会や国際交流活動を通じて多文化共生社会の啓発

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 2 | 支えあう地域力の向上 |
| 基本施策 2-2 | 情報共有による総合計画の展開 |
| 施策 2-2-1 | 情報発信・交流とPR活動の展開 |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

「住民自治日本一」の実現を目指す一歩は、市行政の方針や政策、施策、事業、地域づくり、学びなどの情報が確実に市民に届くことや市民と市行政との心の通った対話から始まります。

情報発信・交流とPR活動による情報共有で、市行政への理解や地域づくりへの市民参画交流の促進、地域づくりリーダー育成・活躍を支援し、市総合計画や生涯学習推進計画「学びプランたきざわ」などへの認知度と活用度を高め、市民の声を反映した政策や施策の確実な展開と両後期基本計画の策定に取り組みます。

市民と地域、教育・公共機関、生涯学習関連施設、市行政の5つを結ぶ学びのネットワークづくりで、双方向コミュニケーションによる生涯学習活動支援や生涯学習関連施策などの情報共有を図り、学びの市民参画交流の促進や子どもから高齢者まで全ての世代を対象とした地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

さらに、大学生や地域で活躍する若者の参画による滝沢市プロモーション映像を制作し、全国に誇れる地域資源を国内外への積極的PR活動の展開で、滝沢市の認知度やブランド力の向上を図り、企業誘致の促進や交流人口拡大を目指します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|---|---|---------|
| 広報たきざわやホームページ、SNS運用による情報交流【継続】【再掲】 | 市行政の方針や政策、施策、事業、地域づくり、学びなどの情報を広報たきざわやホームページで積極的に情報発信します。 また、SNS (ソーシャルネットワーキングサービス: フェイスブックやブログなど) と連動し、主に若者への情報発信・交流を充実し、社会参画交流を支援します。 | 企画政策課 |
| 学びのネットワークづくりによる双方向コミュニケーション【新規: H28~】【再掲】 | 市民と地域、教育・公共機関、生涯学習関連施設、市行政の5つを結ぶ学びのネットワークづくりで、双方向コミュニケーションによる生涯学習活動支援や生涯学習関連施策などの情報共有を図ります。 広報たきざわや市ホームページ、SNS (ソーシャルネットワーキングサービス: フェイスブックやブログなど) など市行政と連動した積極的な情報発信・交流で、学びの情報共有を支援します。 双方向コミュニケーションによる市総合計画や生涯学習推進計画「学びプランたきざわ」の確実な展開で、学びの市民参画交流の促進や子どもから高齢者まで全ての世代を対象とした地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。 | 生涯学習文化課 |
| プロモーション映像制作によるPR活動【継続】 | 大学生や地域で活躍する若者の参画による滝沢市プロモーション映像を制作し、全国に誇れる地域資源を国内外への積極的PR活動の展開で、滝沢市の認知度やブランド力の向上を図り、企業誘致の促進や交流人口拡大を目指します。 | 企業振興課 |

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 2 | 支えあう地域力の向上 |
| 基本施策 2-2 | 情報共有による総合計画の推進 |
| 施策 2-2-2 | 市民との対話の場づくり |
| ライフステージ (世代) | 青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

「住民自治日本一」の実現を目指す一歩は、市行政の方針や政策、施策、事業、地域づくり、学びなどの情報が確実に市民に届くことや市民と市行政との心の通った対話から始まります。

心の通った対話の機会を通じ、市行政への理解と地域づくりへの市民参画交流の促進と地域づくりリーダー育成・活躍を支援し、市総合計画や生涯学習推進計画「学びプランたきざわ」などへの認知度と活用度を高め、市民の声を反映した政策や施策の確実な展開と両後期基本計画の策定に取り組めます。

「市長とのお気軽トーク」や市内全自治会を対象とした「市政懇談会」を開催し、対話による情報共有で市行政への理解と地域づくりへの関心を深め、市民参画交流の促進と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|----------------------------|---|-------|
| 市長とのお気軽トークの開催 【継続】 【再掲】 | 市長が地域に出向き、明るく元気な地域づくりを目指すための取り組みや夢を共に語り合い、市民の声 (意見や要望など) を聞きながら、対話を重視した市行政運営と地域づくりの推進を目指します。 また、滝沢市の未来を担う中学生や大学生、地域で活躍する若者とお気軽トークを通じて、若者活躍と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。 | 企画政策課 |
| 市政懇談会の開催 【継続】 | 市内全自治会を対象とした市政懇談会を開催し、市民からの提言など聴き、地域の声を反映した対話を重視した市行政運営と地域づくりの推進を目指します。 市政懇談会では、市行政が策定した計画の概要などを語り合いながら、市民と市行政が心の通った対話を進め、「住民自治日本一」を目指します。 | 企画政策課 |



△中学生とお気軽トークで、地域の皆さんと市政懇談会で語り合います

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 2 | 支えあう地域力の向上 |
| 基本施策 2-3 | I C Tを活用した地域づくり |
| 施策 2-3-1 | 地域情報化の推進と情報メディア対応の意識啓発 |
| ライフステージ (世代) | 青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

より迅速で、より正確な情報の伝達を図るため、I C T (情報通信技術) を活用した地域情報化の推進による地域力向上を図ります。

また、住民自治の確立のためのコミュニティ形成や災害発生時の防災情報の収集伝達のため大学や企業などと連携し、地域情報化方針などを検討し、その構築を図ります。また、I C T活用の促進を図るため、情報リテラシー (情報メディアやネットワークを活用して、情報やデータを取り扱ううえで必要となる基本的な知識や能力) 向上を目指した地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

また、情報化社会の進展に伴う情報メディア対応が地域課題や教育課題となっており、情報端末 (パソコンやスマートフォン、タブレットなど) 活用に関する情報モラル徹底やS N S (ソーシャルネットワーキングサービス: フェイスブックやブログ、ラインなど) 活用マナーなど情報メディアの上手な付き合い方に関する講演会や学習会などによる意識啓発を市教育振興運動推進協議会と市行政が連携して取り組みます。

さらに、受け継がれてきた伝統の力と大学生や地域で活動する若者たちが持つ若い新しい力の融合 (ハイブリッド) で進める地域情報化と情報メディア対応の意識啓発で、若者活躍支援による地域活性化を図ります。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|---|--|---------|
| I C T (情報通信技術) を活用した地域情報化の推進【新規: H 2 8 ~】 | 「いつ、誰に、どのように」情報を市民に伝えていくかを定める地域情報化方針を策定し、大学や企業と連携した地域情報化に関する地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。また、セキュリティ (安全性) や情報リテラシーの向上と普及促進を図り、I C T (情報通信技術) を利活用できる環境整備を目指します。 | 企業振興課 |
| 情報メディアとの上手な付き合い方の意識啓発支援【継続】 | (仮称) たきざわ地域課題解決支援講座やジュニアリーダーズセミナー、教育振興運動などによる情報メディアとの上手な付き合い方の意識啓発を支援します。 | 生涯学習文化課 |



△情報メディアとの上手な付き合い方に関するパネルディスカッションで意見交換

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 基本方針 2 | 支えあう地域力の向上 |
| 基本施策 2-4 | 人と人がつながる場づくり |
| 施策 2-4-1 | 地域コミュニティの活性化支援 |
| ライフステージ (世代) | 成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

滝沢市の住民自治への取り組みは、自治会を中心に進められるとともに、地域デザインや地域ビジョンの策定と展開により、市民の行動として地域づくりを実践してきました。

この実績を更に発展させ、全ての市民が地域づくりに参加できるように、市民を中心に地域づくりのルール化の策定を進め、地域づくりのルールの定着化を図ります。そして、地域コミュニティの核となる自治会活動を支援し、地域づくりの機運醸成と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

また、受け継がれてきた伝統の力と大学生や地域で活動する若者たちが持つ若い新しい力の融合 (ハイブリッド) で進める地域コミュニティの活性化支援で、若者活躍による地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|------------------------------------|---|----------|
| 地域自治活動事業【継続】 | 住民自治の深化を目指し、自治会連合会で協議した内容の情報共有を図りながら、単位自治会活動と市民主体の地域づくり活動を支援します。 | 地域づくり推進課 |
| 滝沢地域づくり活動推進補助事業【継続】 | 21世紀前半の地域整備計画である滝沢地域デザインの推進を目指し、第1次滝沢市総合計画基本計画地域別計画や市民提案型の地域づくり事業を支援し、事業企画力・実践力・課題解決力の向上と市民主体の地域づくりの浸透を図ります。 | 地域づくり推進課 |
| 参画・協働推進事業【継続】 | 男女共同参画の活動事例を学び、女性の積極的な社会参画交流を目指すとともに、地域づくり交流フォーラムを実施し、地域づくり活動に対する市民の意識の高揚を図ります。 | 地域づくり推進課 |
| (仮称)たきざわ地域課題解決支援講座の開設【新規：H28～】【再掲】 | アクティブラーニング (学習者や地域などが連携協働して課題解決を目指す探求型学習) による (仮称)たきざわ地域課題解決支援講座の開設で、大学生や地域で活躍する若者、勤労者、子育て世代などの新たな市民参画交流と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。 | 生涯学習文化課 |
| 市政懇談会の開催【継続】 【再掲】 | 市内全自治会を対象とした市政懇談会を開催し、市民からの提言など聴き、地域の声を反映した対話を重視した市行政運営と地域づくりの推進を目指します。 市政懇談会では、市行政が策定した計画の概要などを語り合いながら、市民と市行政が心の通った対話を進め、「住民自治日本一」を目指します。 | 企画政策課 |

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 2 | 支えあう地域力の向上 |
| 基本施策 2-4 | 人と人がつながる場づくり |
| 施策 2-4-2 | 市民活動の拠点整備と管理運営 |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

市民主体の地域づくりが展開される場の創出に向けて、建設が進められている交流拠点複合施設「ビッグループ滝沢」の整備と管理の在り方を研究し、市民の交流を生む経営を目指すとともに、各地区のコミュニティセンターの管理運営を行います。
また、自治会などの地域活動の拠点となる集会所などの維持管理を支援します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|--|--|----------|
| 交流拠点複合施設「ビッグループ滝沢」の運営と活用 【新規：H28～】 【再掲】 | 市民主体の地域づくりが展開される「場」の創出に向けて交流拠点複合施設「ビッグループ滝沢」の整備と管理の在り方を研究し、市民の交流を生む運営と活用を図ります。 | 地域づくり推進課 |
| 大釜駅前コミュニティセンター管理運営事業【継続】 | 地域コミュニティの活性化を目指し、活動の場としての施設の適正な維持管理を行うことにより、地域活動推進を図ります。 | 地域づくり推進課 |
| 地区コミュニティセンター管理運営事業【継続】 | 地域コミュニティの活性化を目指し、活動の場としての施設の指定管理を実施することにより、適正な維持管理を行い、自治組織の活動推進を図ります。 | 地域づくり推進課 |
| 北部コミュニティセンター管理運営事業【継続】 | 地域コミュニティの活性化を目指し、北部地区の拠点としての施設の指定管理を実施することにより、適正な維持管理を行い、自治組織の活動推進を図ります。 | 地域づくり推進課 |
| 自治公民館整備補助事業【継続】 | 地域の融和と地域活動の活性化を目指し、補助金制度を活用して公益性が認められた事業に対し、自治公民館などの建築や改築、修繕に要する経費を補助することにより、地域活動の拠点整備を図ります。 | 地域づくり推進課 |



平成28年12月プレオープン予定の交流拠点複合施設「ビッグループ滝沢」イメージ

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 2 | 支えあう地域力の向上 |
| 基本施策 2-5 | 安全・安心な地域づくり |
| 施策 2-5-1 | 災害に強い安全・安心な地域づくり |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

近年、全国的に地球温暖化などの影響による大規模な自然災害が多く発生しています。岩手山を有する滝沢市としても、市民の防災に対する意識や備えを促すことが求められており、防災教育などを通じて、災害に強い安全安心な地域づくりへの関心や意識啓発を図ります。そして、いざという時に迅速な対応を地域自らが行えるよう自主防災組織（主に自治会などが母体となって市民が自主的に連携して防災活動を行う組織）の活動を支援し、地域防災力の強化に努めます。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|-----------------------------|---|-------|
| 防災研修や自主防災組織活動の支援【継続】 | 日頃から地域における防災意識を高め、いざという時に迅速な対応を地域自らが行えるよう自主防災組織活動を支援し、地域防災力の強化に努めます。 子どもから高齢者まで全ての世代を対象とした防災教育を通じて、災害に強い安全・安心な地域づくりへの関心や意識啓発を図ります。 | 防災防犯課 |
| 復興教育や防災教育の充実【継続】 【再掲】 | 子どもと家庭、学校、地域、市行政が相互連携した復興教育や防災教育の充実で、3つの教育的価値「いきる：生命や心」と「かかわる：人や地域」、「そなえる：防災や安全」を育みます。 | 関係課 |
| 既存小中学校施設の維持管理・長寿命化【継続】 【再掲】 | 小中学校施設は学びの場であり、災害時の避難所機能も併せ持ちます。 耐震化対策など安全・安心な教育施設の整備に努め、既存施設の適切な維持管理による計画的な同施設の長寿命化を図ります。 | 教育総務課 |



△防災教育による災害に強い安全・安心な地域づくり

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 2 | 支えあう地域力の向上 |
| 基本施策 2-5 | 安全・安心な地域づくり |
| 施策 2-5-2 | 犯罪や事故のない地域づくり |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

近年、全国的に高齢者を狙った特殊詐欺などが多発しているほか、連れ去りや誘拐を含め子どもを狙った犯罪が増加傾向にあり対策強化が求められています。

地域の安全・安心の推進を図るため、交通事故防止を目指し、交通安全教室や街頭指導、広報啓発活動などを実施するとともに、犯罪のない地域づくりを目指し、学校や地域、関係機関などと連携した効果的な事業を展開します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|--------------------------|--|---------|
| 防犯・交通安全活動の充実 【継続】 | 防犯・交通安全に関する各種研修会や教室、街頭指導、広報啓発活動を実施します。 | 防災防犯課 |
| スクールガードによる不審者対策【継続】 【再掲】 | 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業により、各学校・PTA・地域・関係機関との連携によりスクールガードによる不審者対策活動を推進します。 | 学校教育指導課 |
| 滝沢市青少年問題協議会の開催【継続】 【再掲】 | 青少年の指導育成や教育・福祉・保護・補導・更生に関する総合的な情報共有や意見交換で適正な青少年問題に関する各種事業・活動を推進します。 | 生涯学習文化課 |



△防犯・交通安全活動の充実で犯罪や事故のない地域づくり

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 2 | 支えあう地域力の向上 |
| 基本施策 2-6 | 地球にやさしい地域づくり |
| 施策 2-6-1 | 環境保全による持続可能な地域づくり |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

滝沢市は、岩手山や鞍掛山を始めとする雄大で恵まれた自然環境の下、滝沢市環境基本条例を定め、地球にやさしい地域づくりに取り組んでいます。

市民や事業者、市行政などが連携協働して取り組む環境保全施策の積極的展開による地域力向上を支援します。さらに、子どもと家庭、学校、地域、市行政が相互連携した環境教育・環境学習の推進で環境保全による持続可能な地域づくりへの意識啓発を支援します。

また、たきざわ環境パートナー会議など市民団体相互のネットワークづくりに取り組み、環境保全啓発イベントなどを開催します。地球温暖化対策や循環型社会 (限りある資源を効率的に活用するとともに再生産を行い、持続的な資源循環させながら活用していく社会) 構築、外来生物からの生態系保護に関する啓発、環境保全学習の推進を目指します。

受け継がれてきた伝統の力と大学生や地域で活動する若者たちが持つ若い新しい力の融合 (ハイブリッド) で進める環境保全による持続可能な地域づくりの推進で、若者活躍支援による地域活性化を図ります。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|---------------------------------------|---|-------|
| 岩手山登山や鞍掛山ハイキング、馬返し・相の沢キャンプ場の活用を推奨【継続】 | 岩手山登山や鞍掛山ハイキング、馬返し・相の沢キャンプ場の活用を推奨し、自然体験による地球にやさしい地域づくりへの関心や意識啓発を図ります。 | 商工観光課 |
| 環境保全施策の積極的展開【継続】 | 市民や事業者、市行政などが連携協働して取り組む環境保全施策の積極的展開による地域力向上を支援します。 | 環境課 |
| 環境教育・環境学習の推進【継続】 | 子どもと家庭、学校、地域、市行政が相互連携した環境教育・環境学習の推進で環境保全による持続可能な地域づくりへの意識啓発を支援します。 | 関係課 |
| 環境保全啓発イベントの開催【継続】 | たきざわ環境パートナー会議など市民団体相互の連携と交流を促進するため、ネットワークづくりに取り組み、環境保全活動を行っている環境団体や地域の各種団体などと協力して、環境保全啓発イベントなどを開催します。 | 環境課 |
| 環境保全学習の推進【新規：H28～】 | 地球温暖化対策や循環型社会構築、外来生物からの生態系保護に関する啓発に段階的に取り組み、環境保全学習の推進を目指します。 | 環境課 |
| 滝沢市グリーン・ツーリズム推進協議会の支援【継続】 | 滝沢市グリーン・ツーリズム推進協議会を支援し、郷土滝沢の自然や農業などを楽しむ滞在型余暇活動や環境教育・環境学習・農業体験学習による地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。 | 農林課 |

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 2 | 支えあう地域力の向上 |
| 基本施策 2-6 | 地球にやさしい地域づくり |
| 施策 2-6-2 | クリーンたきざわ運動の推進 |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

市民一人一人が環境美化を進め、清潔で住みやすく地域に愛着を持つための取り組みとして、子どもと家庭、学校、地域、市行政が相互連携したクリーンたきざわ運動を推進し、自治会を中心とした清掃活動や衛生指導員の活動による地域力向上を支援します。

また、市民が日頃から取り組める身近な環境運動として、ペットのフン害禁止の啓発やレジ袋など不要な物をもらわないよう啓発を行い、環境美化運動のネットワークづくりへの支援を目指します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|-------------------------------|--|------|
| クリーンたきざわ運動の推進 【継続】 | 市内の環境美化を進め、清潔で住みやすく市民一人一人が地域に愛着を持つための取り組みとして、クリーンたきざわ運動を推進し、自治会を中心とした清掃活動や衛生指導員の活動を支援します。 | 環境課 |
| 身近な環境運動の啓発【継続】 | 市民が日頃から取り組める身近な環境運動として、ペットのフン害禁止の啓発やレジ袋など不要な物をもらわないよう啓発を行います。 | 環境課 |
| 環境美化運動のネットワークづくりへの支援【新規：H28～】 | ごみのポイ捨てやペットのフン害防止、土地所有者に対する環境美化への啓発を行います。そして、個人・団体が自発的に行う環境美化運動を支援し、同運動のネットワークづくりへの支援を目指します。 | 環境課 |



△子どもと家庭、学校、地域、市行政が相互連携したクリーンたきざわ運動を推進

滝沢市生涯学習推進体系（伝統を受け継ぎ未来へ継承）

| 基本目標 | 基本方針 | 基本施策 | 施策 |
|-----------------------------|--------------|-------------------------|------------------------------|
| 一人一人が学ぶよろこびを実感できるまち たきざわ | 伝統を受け継ぎ未来へ継承 | 3-1 次代を担う若者活躍支援 | 3-1-1 社会参画交流による若者活躍支援 |
| | | | 3-1-2 産業振興による若者活躍支援 |
| | | | 3-1-3 企業集積と産学官連携による若者活躍支援 |
| | | | 3-1-4 持続可能な農業振興による若者活躍支援 |
| | | 3-2 ふるさと滝沢を再発見・再創造 | 3-2-1 文化芸術の振興 |
| | | | 3-2-2 「滝沢の歩み」の作成 |
| | | | 3-2-3 文化財・天然記念物の保護 |
| | | | 3-2-4 郷土理解の推進 |
| | | 3-3 みんなが主役のスポーツまちづくり | 3-3-1 スポーツ環境づくり |
| | | | 3-3-2 競技スポーツの振興・推進 |
| | | | 3-3-3 体育施設の利用促進 |

| | |
|--------------|---------------------------|
| 基本方針 3 | 伝統を受け継ぎ未来へ継承 |
| 基本施策 3-1 | 次代を担う若者活躍支援 |
| 施策 3-1-1 | 社会参画交流による若者活躍支援 |
| ライフステージ (世代) | 青少年期 (学び成長) 、成人期 (自立・子育て) |

受け継がれてきた伝統の力と大学生や地域で活躍する若者たちが持つ若い新しい力の融合 (ハイブリッド) で進める地域づくりで、若者活躍支援による地域活性化を図ります。

若者の社会参画交流を支援し、滝沢市で生まれ育った子どもたちや学んだ大学生たちが、ふるさと滝沢を愛し続け、家族や仲間と支えあい、地域づくりリーダーとして活躍し、滝沢市の未来を担い、いつまでも自治体としての活力と魅力を保ち続ける地域づくりの推進と若者活躍を支援します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|-------------------------------------|---|---------|
| 若者活躍支援による地域活性化【新規：H28～】 | 受け継がれてきた伝統の力と大学生や地域で活躍する若者たちが持つ若い新しい力の融合 (ハイブリッド) で進める地域づくりで、若者活躍支援による地域活性化を図ります。 | 関係課 |
| イベント参画交流による若者活躍支援【継続】 | 市行政や関係団体などが主催する産業まつりや福祉ボランティアまつり、学びフェスタ、スポーツフェスティバル、芸術祭たきざわ、郷土芸能まつりなどで大学生や地域で活躍する若者のイベント参画交流による若者活躍を支援します。 | 関係課 |
| (仮称) たきざわ地域課題解決支援講座の開設【新規：H28～】【再掲】 | アクティブラーニング (学習者や地域などが連携協働して課題解決を目指す探求型学習) による (仮称) たきざわ地域課題解決支援講座の開設で、大学生や地域で活躍する若者、勤労者、子育て世代などの新たな市民参画交流と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。 | 生涯学習文化課 |
| 滝沢市ジュニアリーダーズセミナー【継続】【再掲】 | 次代を担う中学生や高校生たちが、異年齢の仲間たちとの交流や体験学習、研修 (地域課題解決支援プログラムや情報メディアとの上手な付き合い方、復興教育、防災教育、環境教育・環境学習など) を通して、地域づくりリーダーとしての資質を養います。 | 生涯学習文化課 |
| 広報たきざわやホームページ、SNS運用による情報交流【継続】【再掲】 | 市行政の方針や政策、施策、事業、地域づくり、学びなどの情報を広報たきざわやホームページで積極的に情報発信します。 また、SNS (ソーシャルネットワーキングサービス：フェイスブックやブログなど) と連動し、主に若者への情報発信・交流を充実し、社会参画交流を支援します。 | 企画政策課 |

| 推進事項（事業名） 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|-------------------------------|---|------------|
| 市長とのお気軽トークの開催 【継続】 【再掲】 | 市長が地域に出向き、明るく元気な地域づくりを目指すための取り組みや夢を共に語り合い、市民の声（意見や要望など）を聞きながら、対話を重視した市行政運営と地域づくりの推進を目指します。 また、滝沢市の未来を担う中学生や大学生、地域で活躍する若者とお気軽トークを通じて、若者活躍と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。 | 企画政策課 |
| 選挙啓発活動の推進【継続】 | 滝沢市明るい選挙推進協議会と協力し、明るい選挙啓発ポスターコンクールの実施や市内各地での投票の呼び掛けなど、選挙啓発活動を推進し、政治や選挙に対する市民意識の高揚を図ります。 | 選挙管理委員会事務局 |
| 新成人のつどいの開催【継続】 | 次世代を担う新成人の新しい門出を祝福し、地域を支え、担う若い新しい力となるよう社会参画意識を高め新成人の自覚と誇りを喚起します。 | 生涯学習文化課 |
| ラーニング・サポーター・プロジェクト事業【継続】 【再掲】 | 盛岡大学と連携した「ラーニング・サポーター・プロジェクト事業」の実施で、児童生徒の学習に関するつまづき解消を支援します。 | 学校教育指導課 |
| プロモーション映像制作によるPR活動【継続】 【再掲】 | 大学生や地域で活躍する若者の参画による滝沢市プロモーション映像を制作し、全国に誇れる地域資源を国内外への積極的PR活動の展開で、滝沢市の認知度やブランド力の向上を図り、企業誘致の促進や交流人口拡大を目指します。 | 企業振興課 |



△社会参画交流による若者活躍支援で地域活性化

| | |
|--------------|--------------------------|
| 基本方針 3 | 伝統を受け継ぎ未来へ継承 |
| 基本施策 3-1 | 次代を担う若者活躍支援 |
| 施策 3-1-2 | 産業振興による若者活躍支援 |
| ライフステージ (世代) | 青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て) |

地域資源を活用した戦略的な産業振興による地域づくりに市民と企業、商工会、観光協会、市行政などが連携して取り組み、次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦する滝沢市を目指します。

岩手山麓が織りなす豊かな自然やチャグチャグ馬コなどの伝統文化は、未来に継承すべき貴重な地域資源です。交流拠点複合施設「ビッグルーフ滝沢」を核とした自然・観光資源などの情報発信や参画交流イベントを通じた産業振興による地域づくりと若者活躍を支援します。

小規模商工業者は、地域経済と雇用を支え、かつ地域づくりリーダーとして活躍する重要な市民ですが、経済情勢に経営状況が左右されやすく経営基盤の確立・強化が必要です。滝沢市地域経済振興プランを関係団体と連携して策定し、地域経済や雇用を支え、地域づくりリーダーとして中核をなす小規模商工業者の経営安定と次代を担う若者活躍を支援します。

また、学校と地域が連携した職場体験学習や経済産業学習の機会を充実し、伝統を受け継ぎ未来へと継承ができる地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|--|---|-------------------|
| 岩手山登山や鞍掛山ハイキング、馬返し・相の沢キャンプ場活用の推奨【継続】【再掲】 | 岩手山登山や鞍掛山ハイキング、馬返し・相の沢キャンプ場の活用を推奨し、自然体験による地球にやさしい地域づくりへの関心や意識啓発を図ります。 | 商工観光課 |
| 伝統文化「チャグチャグ馬コ」との交流と継承【継続】 | 滝沢市が誇る伝統文化「チャグチャグ馬コ」と子どもから高齢者まで全ての世代の交流を図ります。また、滝沢市チャグチャグ馬コ保存計画に基づき、関係者を支援し「チャグチャグ馬コの里」を目指します。 | 商工観光課 |
| 交流拠点複合施設「ビッグルーフ滝沢」を核とした観光物産振興【新規：H28～】 | 滝沢市観光物産振興計画を策定し観光資源を活かした特産品開発や物産振興に取り組みます。交流拠点複合施設「ビッグルーフ滝沢」を核とした自然・観光資源などの情報発信や参画交流イベントを通じた産業振興による地域づくりと若者活躍を支援します。 | 商工観光課 地域づくり推進課 |
| 地域経済振興による小規模企業などへの支援【新規：H28～】 | 滝沢市地域経済振興プランを関係団体と連携して策定し、地域経済や雇用を支え、地域づくりリーダーとして中核をなす小規模商工業者の経営安定と次代を担う若者活躍を支援します。 | 商工観光課 |
| 職場体験学習や進路学習の充実【継続】【再掲】 | 学校と地域が連携した職場体験学習で児童生徒の勤労観や職業観を培い、働くことの意義や自分の進路適性を学ぶ機会を充実します。 | 学校教育指導課 |
| ふるさと滝沢探検講座事業【継続】【再掲】 | 小学生を対象としたふるさと滝沢の地域資産（伝統文化や歴史、文化財、自然環境、経済産業など）に関する体験学習の機会を提供し、郷土理解の推進とふるさと滝沢を再発見・再創造し、伝統を受け継ぎ未来へと継承ができる地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。 | 生涯学習文化課 |

| | |
|--------------|--------------------------|
| 基本方針 3 | 伝統を受け継ぎ未来へ継承 |
| 基本施策 3-1 | 次代を担う若者活躍支援 |
| 施策 3-1-3 | 企業集積と産学官連携による若者活躍支援 |
| ライフステージ (世代) | 青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て) |

イノベーションパーク (岩手県立大学周辺に市で整備した滝沢市 I P U イノベーションセンターや産業用業務用地全体のエリア) を拠点とした産学官連携や異業種連携を推進し、企業が成長しやすい環境整備と人材育成を支援し、次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造と企業集積を目指します。

イノベーションパークと盛岡西リサーチパークへの企業誘致促進や企業数増加、誘致企業成長に伴い、滝沢市 I P U イノベーションパーク整備計画を策定し、岩手県内最大規模の I T 関連産業集積と地域産業の I T 開発拠点形成を目指し、若者の雇用機会創出を支援します。

イノベーションパークを拠点とした産学官連携や融合、共同研究成果を実践する場を提供し、inove (イノベ: 滝沢市 I P U イノベーションセンターと第 2 イノベーションセンターの愛称) への質の高い技術の蓄積と次代を担う人材育成に努めます。そして、I C T (情報通信技術) を活用した地域情報化の推進による地域力向上を図ります。

さらに、大学生や地域で活躍する若者参画による滝沢市プロモーション映像制作で企業誘致の促進や交流人口拡大を目指します。企業と大学、地域などの連携協働や C S R 活動 (企業が行う持続可能な地域づくりを目指す社会貢献活動) による地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|---|--|-------|
| I T 関連産業集積と地域産業の I T 開発拠点の形成【新規: H 2 8 ~】 | 滝沢市 I P U イノベーションパーク整備計画を策定し、岩手県内最大規模の I T 関連産業集積と地域産業の I T 開発拠点形成を目指し、若者の雇用機会創出を支援します。 | 企業振興課 |
| inove への質の高い技術の蓄積と次代を担う人材育成、生涯学習活動支援【新規: H 2 8 ~】 | イノベーションパークを拠点とした産学官連携や融合、共同研究成果を実践する場を提供し、inove への質の高い技術の蓄積と次代を担う人材育成に努めます。 | 企業振興課 |
| I C T (情報通信技術) を活用した地域情報化の推進【新規: H 2 8 ~】【再掲】 | 「いつ、誰に、どのように」情報を市民に伝えていくかを定める地域情報化方針を策定し、大学や企業と連携した地域情報化に関する地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。また、セキュリティ (安全性) や情報リテラシーの向上と普及促進を図り、I C T (情報通信技術) を利活用できる環境整備を目指します。 | 企業振興課 |
| プロモーション映像制作による P R 活動【継続】【再掲】 | 大学生や地域で活躍する若者の参画による滝沢市プロモーション映像を制作し、全国に誇れる地域資源を国内外への積極的 P R 活動の展開で、滝沢市の認知度やブランド力の向上を図り、企業誘致の促進や交流人口拡大を目指します。 | 企業振興課 |
| 企業と大学、地域などの連携協働による地域づくりリーダー育成・活躍支援【継続】 | 企業と大学、地域などの連携協働や C S R 活動 (企業が行う持続可能な地域づくりを目指す社会貢献活動) による地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。 | 企業振興課 |

| | |
|--------------|--------------------------|
| 基本方針 3 | 伝統を受け継ぎ未来へ継承 |
| 基本施策 3-1 | 次代を担う若者活躍支援 |
| 施策 3-1-4 | 持続可能な農業振興による若者活躍支援 |
| ライフステージ (世代) | 青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て) |

持続可能な農業振興を図るため、地域農業マスタープランを基本とした次代の担い手育成に努め、農業振興に携わる若者活躍支援を図ります。

また、産直施設のネットワーク化や地産地消を推進し持続可能な農業振興を図ります。地産地消の推進に当たり、学校給食への食材供給の拡大に努めるとともに、ICT（情報通信技術）を活用した産直施設のサービス向上や農商工連携と産学官連携による6次産業化と農産物ブランド化を推進します。そして、交流拠点複合施設「ビッグルーフ滝沢」内に整備される産直などと連携させることで、盛岡広域圏を含めた地産地消を推進します。

また、次代の担い手が活躍するたきざわグリーンワークスと滝沢市グリーン・ツーリズム推進協議会など関係団体支援や農業体験学習の推進で伝統を受け継ぎ未来へと継承ができる地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|-----------------------------------|--|-----------------|
| 次代の担い手育成による若者活躍支援【継続】 | 持続可能な農業振興を図るため地域農業マスタープランを基本とした次代の担い手育成に努め、農業振興に携わる若者活躍支援を図ります。 | 農林課 |
| 地産地消の推進体制の強化とブランド化の推進【新規：H28～】 | 学校給食への食材供給などの拡大に努めICT（情報通信技術）を活用した産直施設のサービス向上や農商工連携と産学官連携による6次産業化と農産物ブランド化を推進します。そして、交流拠点複合施設「ビッグルーフ滝沢」内に整備される産直などと連携させることで、盛岡広域圏を含めた地産地消を推進します。 | 農林課 地域づくり推進課 |
| 滝沢市グリーン・ツーリズム推進協議会の支援【継続】 【再掲】 | 滝沢市グリーン・ツーリズム推進協議会を支援し、郷土滝沢の自然や農業などを楽しむ滞在型余暇活動や環境教育・環境学習・農業体験学習による地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。 | 農林課 |



△農業体験学習や地産地消の推進で農業振興による若者活躍支援

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 3 | 伝統を受け継ぎ未来へ継承 |
| 基本施策 3-2 | ふるさと滝沢を再発見・再創造 |
| 施策 3-2-1 | 文化芸術の振興 |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

子どもから高齢者まで全ての世代が、文化芸術を学び親しむ学習機会や体験活動を通じ、ふるさと滝沢を再発見・再創造し、伝統を受け継ぎ未来へと継承ができる地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

個性あふれる豊かな文化の創造を目指し、市民一人一人が心にゆとりを持ち、市民の文化芸術活動のための環境を整備し、多様な文化活動の場や機会の創出を図ります。

そして、郷土の歴史や伝統文化を継承しながら、市民主体の文化芸術振興による地域づくりを支援するため、関係団体の基盤強化や活動支援に努めます。また、受け継がれてきた伝統の力と大学生や地域で活動する若者たちが持つ若い新しい力の融合 (ハイブリッド) で進める文化芸術の振興で、若者活躍支援による地域活性化を図ります。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|-------------------------|---|---------|
| 芸術祭開催事業【継続】 | 市民の文化芸術活動の成果を発表する機会であり、広く市民に芸術鑑賞の機会を提供することにより、文化芸術の振興を図ります。 市教育委員会と市芸術文化協会の共催で、各部門 (展示・邦楽・洋楽・演劇) を開催します。 | 生涯学習文化課 |
| 滝沢市吹奏楽ジョイントコンサート開催【継続】 | 市内の小学校吹奏楽団や中学校・高等学校・大学の吹奏楽部の発表の場の創出と市民への鑑賞機会と吹奏楽に親しむ場を提供します。 | 生涯学習文化課 |
| 伝統文化支援事業【継続】 | 市指定無形民俗文化財をはじめとする郷土芸能など日本の伝統文化全般にわたる保護と伝承、後継者の育成を目指し、発表の場や後継者の指導をすることにより、郷土芸能の保護育成を図ります。 | 生涯学習文化課 |



△文化芸術の振興による地域づくりで伝統を受け継ぎ未来へと継承

| | |
|--------------|-------------------|
| 基本方針 3 | 伝統を受け継ぎ未来へ継承 |
| 基本施策 3-2 | ふるさと滝沢を再発見・再創造 |
| 施策 3-2-2 | 「滝沢の歩み」の作成 |
| ライフステージ (世代) | 壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

子どもから高齢者まで全ての世代が、滝沢の歴史を学び親しむ学習機会や体験活動を通じて、ふるさと滝沢を再発見・再創造し、伝統を受け継ぎ未来へと継承ができる地域づくりを支援します。そこで、「滝沢の歩み」作成委員会を中心に滝沢の歴史を記録し、貴重な郷土の歴史を未来へ継承します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|-------------------------|---|---------|
| 「滝沢の歩み」の作成【継続】 | 「滝沢の歩みの作成委員会」を設置し、120年以上にも及ぶ滝沢村の歴史を記録し、貴重な郷土の歴史を未来へ継承します。 | 生涯学習文化課 |



| | |
|--------------|--|
| 基本方針 3 | 伝統を受け継ぎ未来へ継承 |
| 基本施策 3-2 | ふるさと滝沢を再発見・再創造 |
| 施策 3-2-3 | 文化財・天然記念物の保護 |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

子どもから高齢者まで全ての世代が、文化財などを学び親しむ学習機会や体験活動を通じて、ふるさと滝沢を再発見・再創造し、伝統を受け継ぎ未来へと継承ができる地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

そこで、文化財の保護や活用に努めるとともに、文化財の掘り起こし事業に取り組みます。また、豊かな自然と長い伝統の中で培われ育まれた埋蔵文化財に関係する啓発活動を推進します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|-------------------------|--|-----------|
| 埋蔵文化財センター教育普及事業【継続】 | 埋蔵文化財に関係する啓発活動を目指し、滝沢市の先人が残した文化遺産の保存と公開活用を図ります。 主な教育普及事業は、展示室と史跡公園の解説や埋蔵文化財講座・講演、歴史体験講座、出前講座、企画展などです。 | 埋蔵文化財センター |
| 文化財・天然記念物保護事業【継続】 | 先人からの貴重な遺産である文化財の適切な保護と活用を図り、郷土の文化財保護意識の高揚、啓発を図ります。 | 生涯学習文化課 |



△ふるさと滝沢探検講座で埋蔵文化財センター内のストーン・サークル見学

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 3 | 伝統を受け継ぎ未来へ継承 |
| 基本施策 3-2 | ふるさと滝沢を再発見・再創造 |
| 施策 3-2-4 | 郷土理解の推進 |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

子どもから高齢者まで全ての世代が、伝統文化や歴史、文化財、自然環境、経済産業などを学び親しむ学習機会や体験活動を通じて郷土理解を深め、ふるさと滝沢を再発見・再創造し、伝統を受け継ぎ未来へと継承ができる地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

さらに、受け継がれてきた伝統の力と大学生や地域で活動する若者たちが持つ若い新しい力の融合 (ハイブリッド) で進める郷土理解の推進で、若者活躍支援による地域活性化を図ります。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|--|---|---------|
| 伝統文化「チャグチャグ馬コ」との交流と継承【継続】 【再掲】 | 滝沢市が誇る伝統文化「チャグチャグ馬コ」と子どもから高齢者まで全ての世代の交流を図ります。また、滝沢市チャグチャグ馬コ保存計画に基づき、関係者を支援し「チャグチャグ馬コの里」を目指します。 | 商工観光課 |
| ふるさと滝沢探検講座事業【継続】 【再掲】 | 小学生を対象としたふるさと滝沢の地域資産 (伝統文化や歴史、文化財、自然環境、経済産業など) に関する体験学習の機会を提供し、郷土理解の推進とふるさと滝沢を再発見・再創造し、伝統を受け継ぎ未来へと継承ができる地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。 | 生涯学習文化課 |
| (仮称) たきざわ地域課題解決支援講座の開設【新規: H28~】 【再掲】 | アクティブラーニング (学習者や地域などが連携協働して課題解決を目指す探求型学習) による (仮称) たきざわ地域課題解決支援講座の開設で、大学生や地域で活躍する若者、勤労者、子育て世代などの新たな市民参画交流と地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。 | 生涯学習文化課 |
| 滝沢ふるさと会補助事業【継続】 | 滝沢ふるさと会活動を支援し、ふるさと滝沢で生まれ育った、学んだ、ゆかりある全国各地で活躍する皆さんの郷土愛高揚や会員相互の交流親睦を図ります。 そして、郷土産品の愛用と販路拡大、首都圏からの移住・定住を促進します。 | 企画政策課 |
| プロモーション映像制作によるPR活動【新規: H27~】 【再掲】 | 大学生や地域で活躍する若者の参画による滝沢市プロモーション映像を制作し、全国に誇れる地域資源を国内外への積極的PR活動の展開で、滝沢市の認知度やブランド力の向上を図り、企業誘致の促進や交流人口拡大を目指します。 | 企業振興課 |
| 「滝沢の歩み」の作成【継続】 【再掲】 | 「滝沢の歩みの作成委員会」を設置し、120年以上にも及ぶ滝沢村の歴史を記録し、貴重な郷土の歴史を未来へ継承します。 | 生涯学習文化課 |

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 3 | 伝統を受け継ぎ未来へ継承 |
| 基本施策 3-3 | みんなが主役のスポーツまちづくり |
| 施策 3-3-1 | スポーツ環境づくり |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

市総合計画生涯学習部門計画や市スポーツ推進計画、市生涯学習推進計画「学びプランたきざわ」、社会教育行政の方針と計画などの確実な展開によるスポーツ環境づくりを推進します。

子どもから高齢者まで全ての世代が、参画交流しスポーツに親しむ総合型地域スポーツクラブ「チャグチャグスポーツクラブ」や滝沢市スポーツ少年団活動などを通じて、伝統を受け継ぎ未来へと継承ができる地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

初心者から競技スポーツ選手まで全てのスポーツ愛好家が活躍する「みんなが主役のスポーツまちづくり」を推進する環境づくり支援や平成28年度に岩手県で開催される第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」の開催を契機とした市民総参画交流によるスポーツ推進に取り組みます。

また、受け継がれてきた伝統の力と大学生や地域で活動する若者たちが持つ若い新しい力の融合(ハイブリッド)で進めるスポーツ環境づくりで、若者活躍支援による地域活性化を図ります。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|-------------------------------------|--|---------|
| 滝沢市スポーツ推進委員協議会補助事業【継続】 | スポーツ推進と健康づくりを目指し、地域のスポーツ環境づくりを推進します。 | スポーツ推進課 |
| 公益財団法人滝沢市体育協会補助事業【継続】 | 市のスポーツ推進を目指し、生涯スポーツ・競技スポーツの中心的な担い手である公益財団法人滝沢市体育協会に補助金を交付することにより、市民への生涯スポーツの普及と競技スポーツ水準のさらなる向上を図ります。 | スポーツ推進課 |
| 総合型地域スポーツクラブ「チャグチャグスポーツクラブ」活動支援【継続】 | 子どもから高齢者まで全ての世代が、参画交流しスポーツに親しむ総合型地域スポーツクラブ「チャグチャグスポーツクラブ」活動を支援し、「みんなが主役のスポーツまちづくり」を推進します。 | スポーツ推進課 |
| 滝沢市スポーツ少年団補助事業【継続】 | 市内青少年のスポーツ推進と心身の健全育成を目指し、滝沢市スポーツ少年団に補助金を交付することにより、青少年のスポーツ活動を支援します。 | スポーツ推進課 |
| 市民総参画交流によるスポーツ推進【新規：H28～】 | 誰もが参画交流できるスポーツ交流会の開催などを通じて、気軽に運動・スポーツを楽しめる環境づくりに取り組みます。 | スポーツ推進課 |
| 社会教育指導員設置事業 (スポーツ担当) 【継続】 | 生涯スポーツと競技スポーツの推進を目指し、専門的な知識を有する社会教育指導員 (スポーツ担当) をスポーツ推進担当課に設置しスポーツ推進計画やスポーツ関係事業を効果的に推進します。 | スポーツ推進課 |

| | |
|--------------|--|
| 基本方針 3 | 伝統を受け継ぎ未来へ継承 |
| 基本施策 3-3 | みんなが主役のスポーツまちづくり |
| 施策 3-3-2 | 競技スポーツの振興・推進 |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

市総合計画生涯学習部門計画や市スポーツ推進計画、市生涯学習推進計画「学びプランたきざわ」、社会教育行政の方針と計画などの確実な展開による競技スポーツの振興・推進で、子どもから高齢者まで全ての世代が、競技スポーツへの関心や関わりを通じて、伝統を受け継ぎ未来へと継承ができる地域づくりリーダー育成・活躍を支援します。

競技スポーツの充実のため、公益財団法人滝沢市体育協会など関係団体と連携し、競技選手の強化や組織体制の強化、スポーツ指導者育成と確保に努めます。

そして、市民の競技スポーツへの興味関心の喚起と競技水準のさらなる向上を図り、子どもたちの憧れであり滝沢市が誇る全国や世界を舞台に活躍するトップ・アスリートの輩出を目指します。

さらに、平成28年度に岩手県で開催される第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」の開催に取り組みます。また、受け継がれてきた伝統の力と大学生や地域で活動する若者たちが持つ若い新しい力の融合 (ハイブリッド) で進める競技スポーツの振興・推進で、若者活躍支援による地域活性化を図ります。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|------------------------------|--|---------|
| 公益財団法人滝沢市体育協会補助事業【継続】【再掲】 | 市のスポーツ推進を目指し、生涯スポーツ・競技スポーツの中心となる担い手である公益財団法人滝沢市体育協会に補助金を交付することにより、市民への生涯スポーツの普及と競技スポーツ水準のさらなる向上を図ります。 | スポーツ推進課 |
| 第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」の開催【継続】 | 平成28年度に岩手県で開催される第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」の開催に向けた準備を進めるとともに、「する人 観る人 支える人」のスポーツライフの確立を図り、市民総参画交流の機運醸成と国体を契機とした運動・スポーツの推進に努めます。 | 国体推進室 |
| 社会教育指導員設置事業 (スポーツ担当)【継続】【再掲】 | 生涯スポーツと競技スポーツの推進を目指し、専門的な知識を有する社会教育指導員 (スポーツ担当) をスポーツ推進担当課に設置しスポーツ推進計画やスポーツ関係事業を効果的に推進します。 | スポーツ推進課 |



| | |
|--------------|--|
| 基本方針 3 | 伝統を受け継ぎ未来へ継承 |
| 基本施策 3-3 | みんなが主役のスポーツまちづくり |
| 施策 3-3-3 | 体育施設の利用促進 |
| ライフステージ (世代) | 乳幼児期 (すこやか)、青少年期 (学び成長)、成人期 (自立・子育て)、壮年期 (充実)、高齢期 (円熟) |

スポーツ環境づくりの推進のため、市内体育施設の計画的な修繕を図ります。

経年劣化した既存体育施設の計画的な修繕と設備の更新を行い、有効的な体育施設の活用と学校体育施設開放事業の充実に努め、スポーツ・レクリエーション活動の場と文化・学習活動の場を提供します。

| 推進事項 (事業名) 【継続・新規事業】 | 事業内容 | 担当課名 |
|-------------------------|---|---------|
| 総合公園体育施設管理運営事業【継続】 | スポーツ推進と健康づくりを目指し、総合公園体育施設の管理はもとより、スポーツに関する適切な指導など、利用者の要望に応え、同施設の効果的な利用の実現を図ります。 | スポーツ推進課 |
| 公共体育施設管理運営事業【継続】 | スポーツ推進と健康づくりを目指し、公共体育施設の管理はもとより、スポーツに関する適切な指導など、利用者の要望に応え、同施設の効果的な利用の実現を図ります。 | スポーツ推進課 |
| 学校体育施設開放事業【継続】 | 市立小中学校の体育施設などを開放によりスポーツ・レクリエーション活動の場と文化・学習活動の場を提供します。 | スポーツ推進課 |



第4章 前期基本計画目標

第1節 目標値の考え方

生涯学習関連施策の確実な展開を促すため指標毎に目標値を1年毎に設定しました。毎年、政策の有効性を確認しながら関連施策への反映を図ります。

第2節 前期基本計画目標値一覧表（平成28～30年度前期基本計画数値目標）

第1次滝沢市総合計画や同計画に基づく分野別計画、実施計画、実行計画などと整合性を持ちながら、目標値一覧表に基づき、生涯学習関連施策の展開を図ります。



△ふるさと滝沢探検講座で環境教育・環境学習や魚釣り体験に挑戦

第1次滝沢市生涯学習推進計画前期基本計画「学びプランたきざわ」目標値一覧表

| No | 基本方針 | 基本施策 | 指標名 | 単位 | 担当課名 | 基準値 | | 目標値 | 目標値 | 目標値 | 目標値 |
|----|----------------|----------------------|--|----|----------|-----------|---------|---------|---------|---------|----------|
| | | | | | | H26※ | H27※ | H28 | H29 | H30 | H34 |
| 1 | 1 学べる活かせる環境づくり | 1-1 市民が主役の生涯学習社会の構築 | 子どもの教育について学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合 | % | 生涯学習文化課 | 31.7 | — | 36.0 | 38.0 | 40.0 | 45.0 |
| 2 | | | 生涯学習ガイド グループ&サークル登録数 | 団体 | 生涯学習文化課 | 97 | 98 | 99 | 100 | 101 | 105 |
| 3 | | | いきいき人材バンク登録者 | 人 | 生涯学習文化課 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 | 85 |
| 4 | | | 出前講座講師派遣回数 | 回 | 生涯学習文化課 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 45 |
| 5 | | | 図書館の貸出冊数（※H28は図書館が交流拠点複合施設に移設するため目標値が一時的に減少） | 冊 | 生涯学習文化課 | 114,276 | — | 75,000 | 115,000 | 117,000 | 120,000 |
| 6 | | | 趣味の教室や講座に参加するなど自ら学ぶ機会を持っている人の割合 | % | 生涯学習文化課 | 27.6 | — | 28.0 | 28.5 | 29.0 | 31.0 |
| 7 | | 1-2 子ども子育て・家庭教育支援 | 地域子育て支援センター | ヶ所 | 児童福祉課 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 8 | | 1-3 学校教育の充実 | 1年間無欠席の児童生徒の割合 | % | 学校教育指導課 | 41.8 | 42.0 | 42.0 | 42.0 | 43.0 | 45.0 |
| 9 | | | 学力テスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（小学校/中学校） | % | 学校教育指導課 | 68.8/50.0 | 75/58.3 | 75/58.3 | 66.7/56 | 66.7/58 | 66.7/58 |
| 10 | | | 学校給食食材生産供給組合からの年間納入量 | kg | 学校給食センター | 9,538.0 | 9,600.0 | 9,700.0 | 9,800.0 | 9,900.0 | 10,000.0 |
| 11 | | 1-4 高齢者のいきがい支援 | 睦大学参加者 | 人 | 高齢者支援課 | 903 | 1,050 | 1,200 | 1,200 | 1,200 | 1,200 |
| 12 | | 1-5 健康づくりへの支援 | 健康づくり支援者が企画した健康教室の開催回数 | 回 | 健康推進課 | 87 | 87 | 88 | 89 | 90 | 93 |
| 13 | 2 支えあう地域力の向上 | 2-1 社会教育による地域力基盤醸成 | 滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合 | % | 生涯学習文化課 | 41.7 | — | 45.0 | 47.5 | 50.0 | 55.0 |
| 14 | | 2-2 情報共有による総合計画の展開 | 広報たきざわを読んでいる人の割合 | % | 企画政策課 | 79.5 | — | 80.0 | 80.5 | 81.0 | 82.0 |
| 15 | | 2-3 ICTを活用した地域づくり | 情報メディアとの上手な付き合い方に関する講演会や学習会などの開催回数（主催や共催など） | 回 | 生涯学習文化課 | — | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 16 | | 2-4 人と人がつながる場づくり | 地域活動に参加している人の割合 | % | 地域づくり推進課 | 48.3 | — | 50.0 | 52.5 | 55.0 | 60.0 |
| 17 | | 2-5 安全・安心な地域づくり | 災害に強いまちだと感じている人の割合 | % | 防災防犯課 | 42.7 | — | 44.0 | 45.0 | 46.0 | 50.0 |
| 18 | | 2-6 地球にやさしい地域づくり | 豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合 | % | 環境課 | 79.2 | — | 80.0 | 80.5 | 81.0 | 83.0 |
| 19 | 3 伝統を受け継ぎ未来へ継承 | 3-1 次代を担う若者活躍支援 | ラーニングサポータープロジェクトの大学生参加者数（延べ人数） | 人 | 学校教育指導課 | 785 | 700 | 750 | 750 | 750 | 750 |
| 20 | | | 子育てに対する職場の理解があると感じている人の割合 | % | 児童福祉課 | 43.9 | — | 46.0 | 47.0 | 48.0 | 55.0 |
| 21 | | 3-2 ふるさと滝沢を再発見・再創造 | 滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの入場者数 | 人 | 生涯学習文化課 | 1,300 | 1,300 | 1,350 | 1,350 | 1,400 | 1,500 |
| 22 | | 3-3 みんなが主役のスポーツまちづくり | 市民体育祭・スポーツフェスティバルの参加者数と屋内体育施設の利用者数 | 人 | スポーツ推進課 | 156,398 | 174,000 | 165,000 | 165,000 | 165,000 | 165,000 |
| 23 | | | 学校体育施設の活用 | 回 | スポーツ推進課 | 3,404 | 3,100 | 3,450 | 3,450 | 3,500 | 3,500 |
| 24 | | | チャグチャグスポーツクラブ会員と滝沢市スポーツ少年団団員・指導者数（児童生徒、大人含む） | 人 | スポーツ推進課 | 968 | 960 | 970 | 980 | 990 | 1,030 |

※H26基準値は同年度実績や市総合計画暮らしやすさ一覧表の現状値（平成26年10月値）を、H27基準値は同年度実績見込などをそれぞれ基にしています。



△チビッコ相撲大会で次代を担う青少年を健全育成



第5章 アンケート調査結果

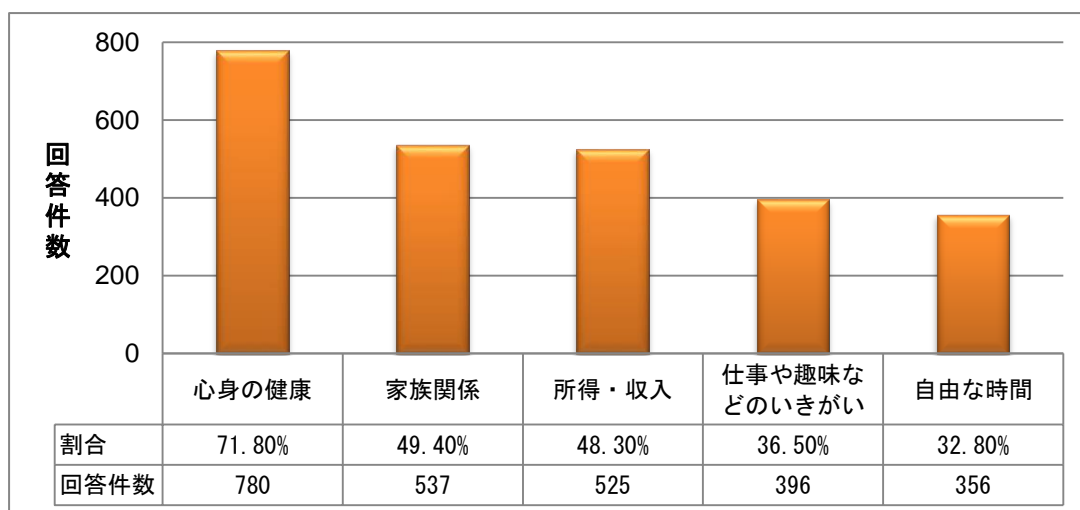
第1節 第1次滝沢市総合計画アンケート調査結果

1 アンケート概要

- (1) 実施期間 平成25年10～11月
- (2) 調査対象 滝沢村に住所を有する満18歳以上の男女（調査は市制施行前に実施）
- (3) 対象者数 3,000人（住民基本台帳から無作為集出）
- (4) 調査方法 郵送による無記名自筆式調査
- (5) 有効回答 1,086票（回収率36.2%）

2 アンケート結果（生涯学習に関する意識調査項目のみ抜粋）

- (1) 幸せに特に影響が大きいこと⇒「基本方針1 学べる活かせる環境づくり」に反映



※複数回答可

最も幸せに影響あると回答された「健康」に対しては健康教室や運動普及、食育などの健康学習の奨励が、「いきがいづくり」に対しては、義務教育や基礎教育終了後もさまざまな分野の学びを求めるリカレント教育（社会人が必要に応じて大学や大学院へ戻り再教育を受ける）などの充実でした。よって、生涯に渡る学習機会の提供が感動とよろこび、幸福感に効果をもたらす可能性を含んでいることがうかがえます。

(2) 全世代共通の幸せ

- ア 郷土愛が育まれていること⇒「基本方針3 伝統を受け継ぎ未来へ継承」に反映

| 重要度 | 重要 | やや重要 | どちらでもない | あまり重要でない | 重要でない | 無回答 |
|-----|-------|-------|---------|----------|-------|-------|
| | 20.3% | 33.9% | | 5.6% | 2.3% | |
| | 54.2% | | | 7.9% | | |
| 満足度 | 26.4% | | 46.3% | 7.4% | | 12.7% |
| | 5.8% | 20.6% | | 5.2% | 2.2% | |
| | 満足 | やや満足 | どちらでもない | やや不満 | 不満 | わからない |

郷土愛が育まれていることを「重要」「やや重要」と感じる人の割合が54.2%であるのに対し、「満足」「やや満足」としている人の割合が26.4%と極めて低いです。

生涯学習の側面においては、郷土の歴史や文化芸術に親しむ機会や青少年期から地域ぐるみで取り組むスポーツ活動などの奨励や郷土愛を育むきっかけづくりとなる学習機会や体験活動の充実が求められていることがうかがえます。

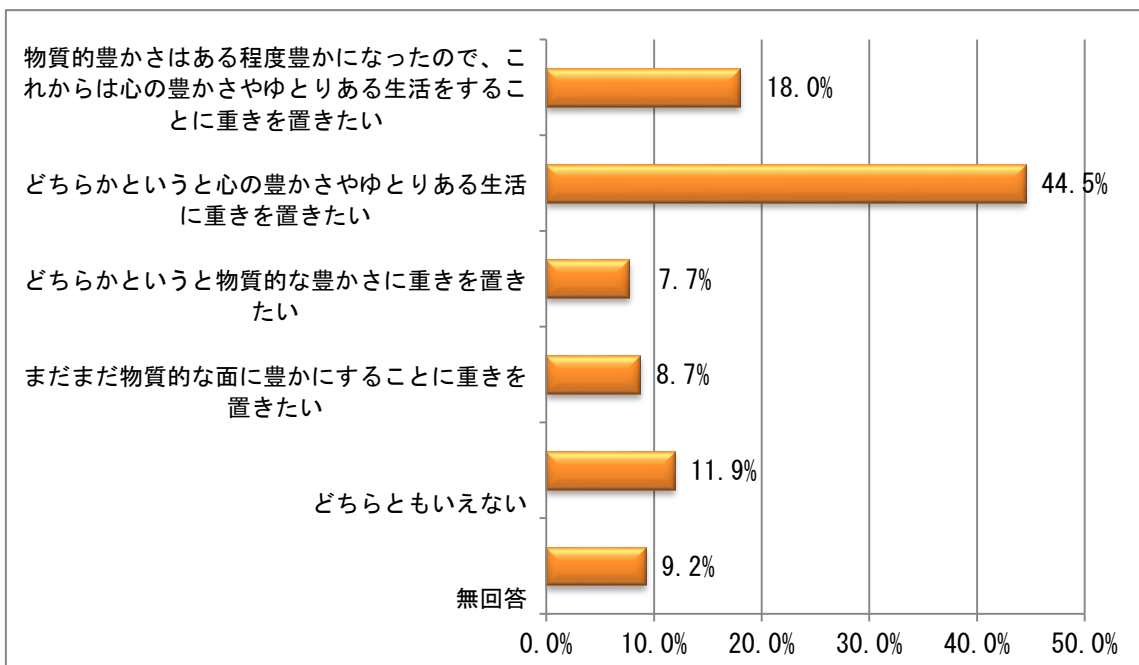
イ 様々な世代が常に学習・体験・交流できる機会に恵まれていること

⇒「基本方針1 学べる活かせる環境づくり」に反映

| 重要度 | 重要 | やや重要 | どちらでもない | あまり重要でない | 重要でない | 無回答 | |
|-----|-------|-------|---------|----------|-------|-------|------|
| | 20.2% | 35.5% | | 32.8% | 3.9% | | 1.7% |
| | 55.7% | | | 5.6% | | | |
| 満足度 | 15.7% | | 49.7% | 12.9% | | 14.8% | 6.8% |
| | 2.8% | 12.9% | | 8.8% | 4.1% | | |
| | 満足 | やや満足 | どちらでもない | やや不満 | 不満 | わからない | 無回答 |

様々な世代が常に学習・体験・交流できる機会に恵まれていることを「重要」「やや重要」と感じる人の割合が55.7%であるのに対し、「満足」「やや満足」としている人の割合が15.7%と極めて低いです。子どもから高齢者まで、「いつでも、どこでも、誰でも」学びたいときに学ぶことができる環境づくりが必要であり、世代間交流や多様な体験学習の機会を創出する生涯学習活動支援が求められていることがうかがえます。

(3) 物の豊かさと心の豊かさ⇒「基本方針1 学べる活かせる環境づくり」に反映

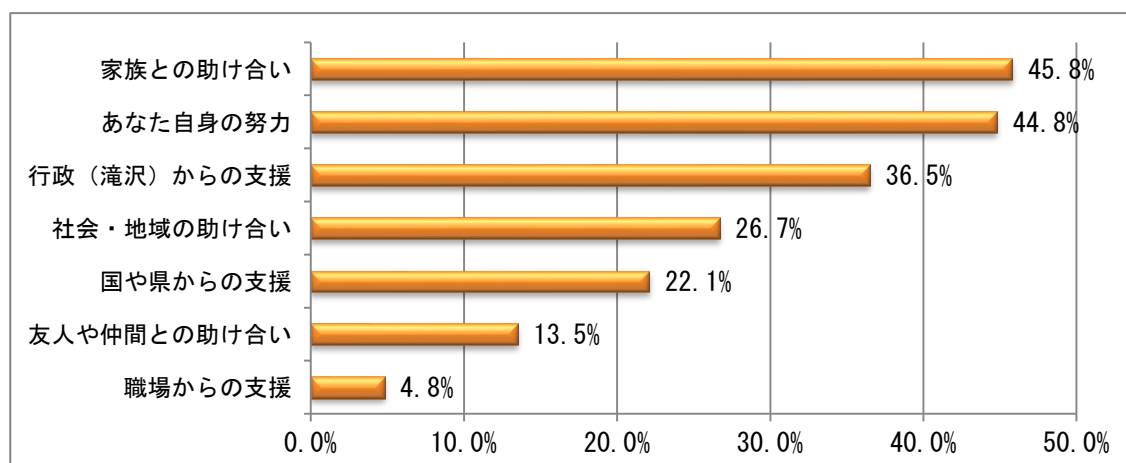


「物質的豊かさはある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりある生活することに重きを置きたい」と「どちらかという心の豊かさやゆとりある生活に重きを置きたい」と回答する割合が62.5%となっており、「学びによる感動とよろこび、幸福感が実感できる地域づくり」が求められていることがうかがえます。

(4) 豊かさや幸せを高めるために特に大切になってくること

⇒「基本方針2 支えあう地域力の向上」に反映

※複数回答可



約半数の人が「家族の助け合い」と「自身の努力」が豊かさや幸せを高めるために大切と答える一方で、行政からの支援と地域社会の助け合いも大切との結果になっており、自助と共助、一定の公助投入も含めた支援のバランスが求められていることがうかがえます。

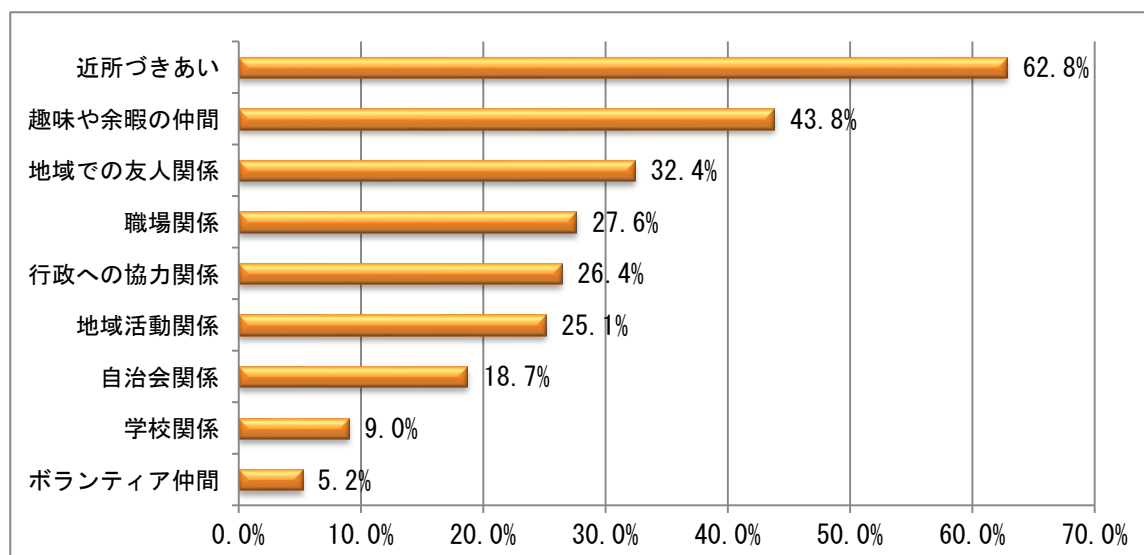
社会・地域の助け合いは26.7%にとどまっていますが、社会教育関係団体や各分野の関係団体はこれまでも地域づくり活動を展開しており、関係団体が主体的に活動するガバナンス（統治や統治のための体制や方法）の進展は、公費負担も抑制し、結果として安定したセーフティーネット（社会的安全網）の持続に繋がることも期待されます。

また、地域コミュニティや生涯学習関連団体、教育・公共機関、生涯学習関連施設、市行政の5つを結ぶ学びのネットワークづくりにより、学びの情報共有と生涯学習活動支援、生涯学習関連事業への参画交流を促進し、受け継がれてきた社会・地域の助け合いの取り組みを継承しながら、今まで生涯学習や地域づくり活動に取り組んでいない市民の新たな参画交流と地域づくりリーダーとしての活躍の促進が期待されます。

(5) 暮らしの幸せの支えとして大切になってくるつながり

⇒「基本方針2 支えあう地域力の向上」に反映

※複数回答可



近所づきあいと趣味余暇の仲間が暮らしの幸せの支えとなる大切なつながりと捉えられており、ハード・ソフト両面でのコミュニケーションの場の整備とスポーツ・学習サークルなどの趣味活動へのアプローチに関する機会充実の本設問の「大切なつながり」のきっかけづくりになる重要な側面を持ち合わせているものと考えられます。

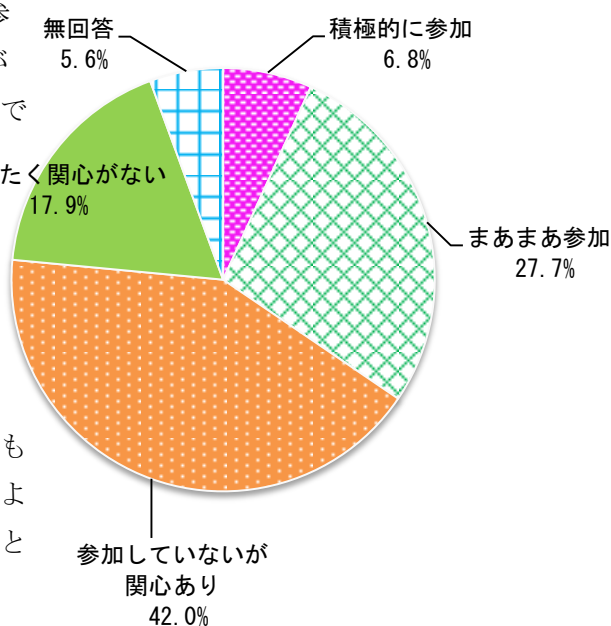
(6) 地域づくり活動への参加状況

⇒「基本方針1 学べる活かせる環境づくり」と「基本方針2 支えあう地域力の向上」、「基本方針3 伝統を受け継ぎ未来へ継承」の全てに反映

「積極的に参加」と「まあまあ参加」、「参加していないが関心あり」と回答する割合がそれぞれ6.8%、27.7%、42.0%です。

地域づくり活動に参加している人を合計すると34.5%であり、さらに関心のある人を含めると76.5%となっています。

地域づくり活動への参加意識が高いことと興味関心はあるものの参加していない人も多いことから、同活動にもっと参加しやすいような工夫や仕組みなどが求められていることがうかがえます。



第2節 第1次滝沢市生涯学習推進計画アンケート調査結果

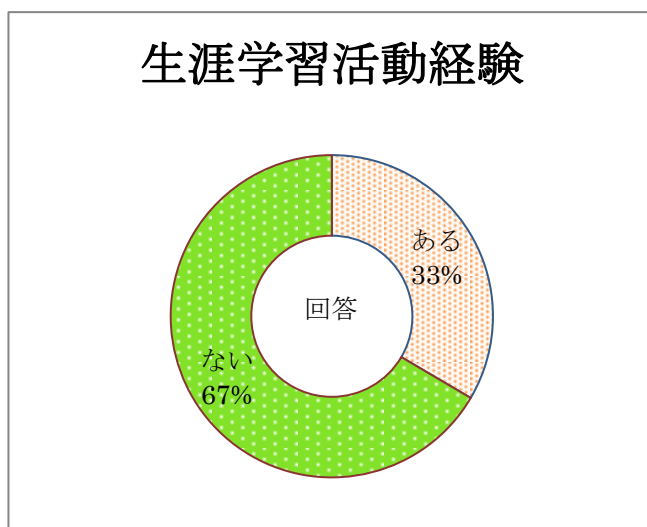
1 アンケート概要

- (1) 実施期間 平成27年8～9月
- (2) 調査対象 滝沢市に住所を有する満20歳以上の男女
- (3) 調査方法 無記名自筆式調査
- (4) 有効回答 1,031票

2 アンケート結果（抜粋）

- (1) この1年間で生涯学習活動をしたことがあるか

⇒「基本方針1 学べる活かせる環境づくり」と「基本方針2 支えあう地域力の向上」、「基本方針3 伝統を受け継ぎ未来へ継承」の全てに反映



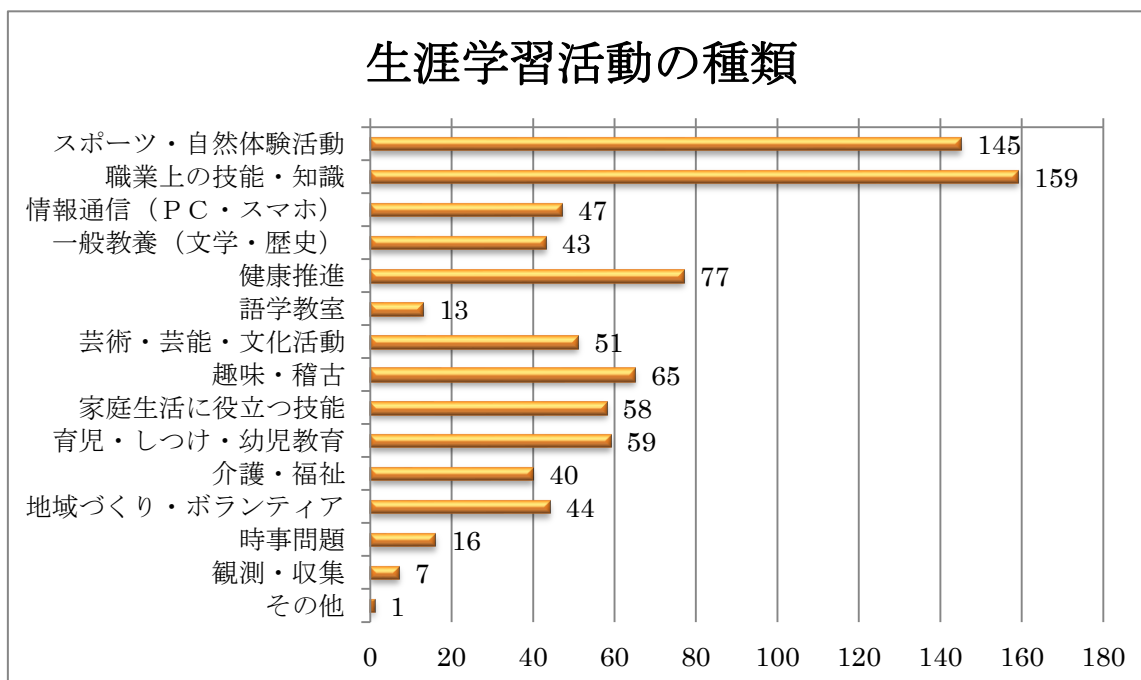
前回調査でも、「ある」が34%、「ない」が66%とほぼ同数となっています。よって、約3分の1の市民が生涯学習を経験していますが、前回調査と比べても比率はほぼ同数でした。そのようなことから、前回調査でも課題となっていた学習意欲があっても、取り組めない市民が活動しやすい生涯学習活動支援の充実が引き続き求められていることがうかがえます。



△滝沢市地域婦人協議会や睦大学受講生、地域づくり団体が被災地復興応援

(2) 取り組んだ生涯学習活動の種類

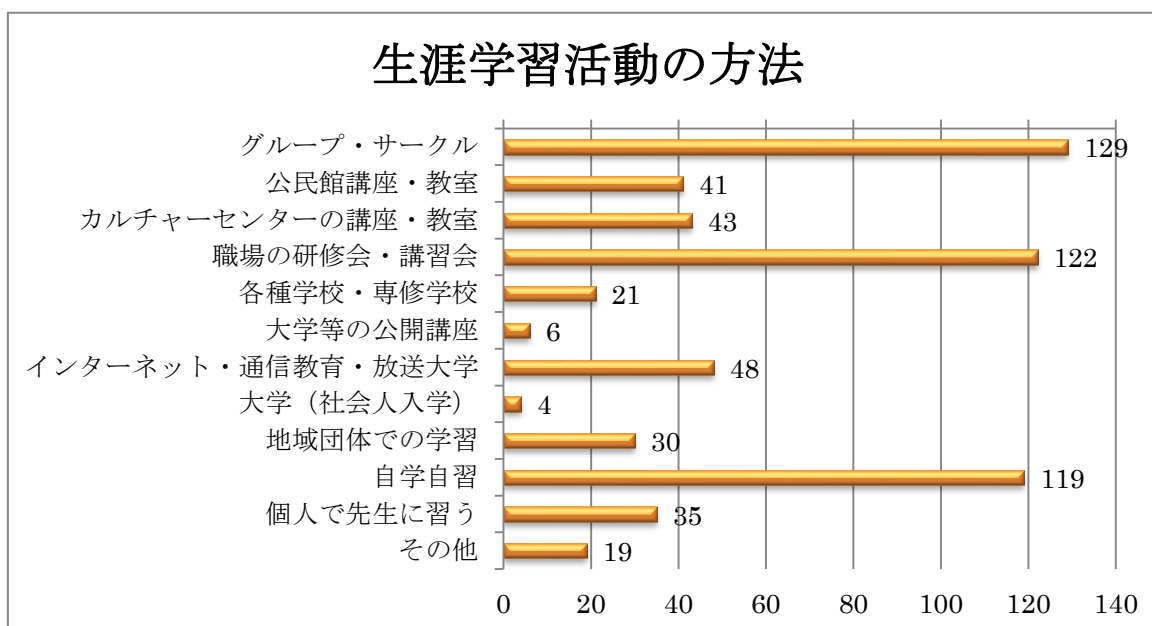
⇒「基本方針1 学べる活かせる環境づくり」と「基本方針2 支えあう地域力の向上」、「基本方針3 伝統を受け継ぎ未来へ継承」の全てに反映 ※複数回答可



前回調査では、「スポーツ・自然体験活動」や「職業上の技能・知識」、「健康推進」が上位で、今回も、「職業上の技能・知識」や「スポーツ・自然体験活動」、「健康推進」が上位でした。よって、ビジネススキルアップやスポーツ・自然体験活動、心身の健康づくりや同活動を通じた家族や地域、仲間との親睦交流への関心が高いことがうかがえます。

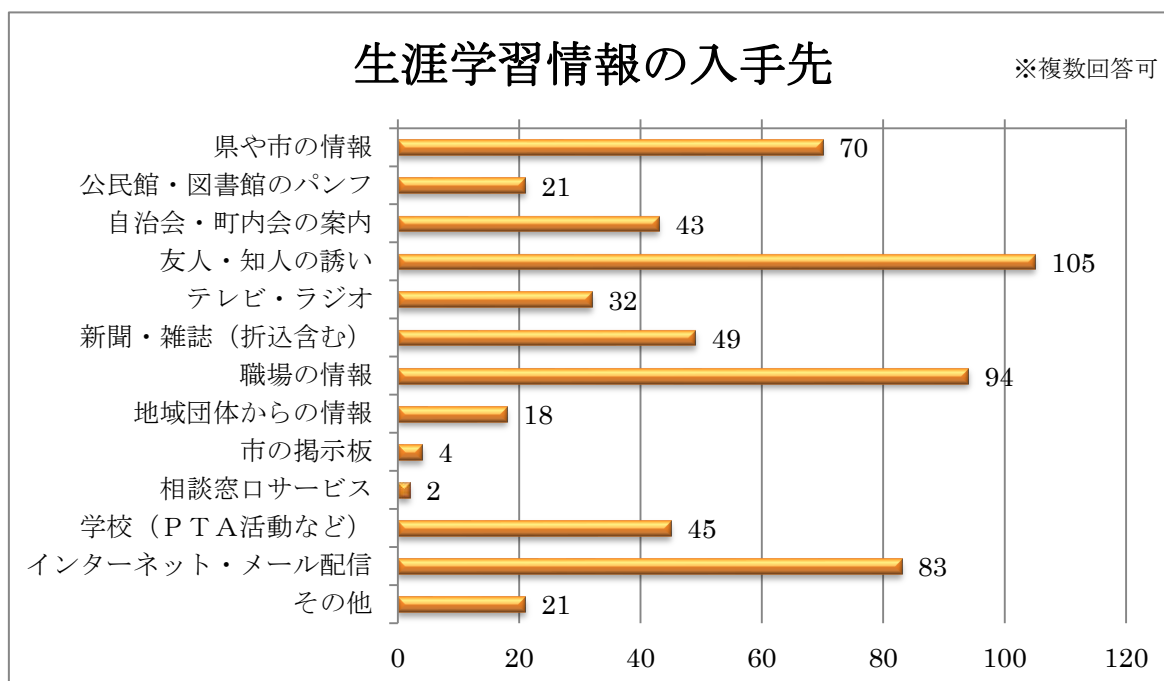
(3) 取り組んだ生涯学習活動の方法

⇒「基本方針1 学べる活かせる環境づくり」と「基本方針2 支えあう地域力の向上」、「基本方針3 伝統を受け継ぎ未来へ継承」の全てに反映 ※複数回答可



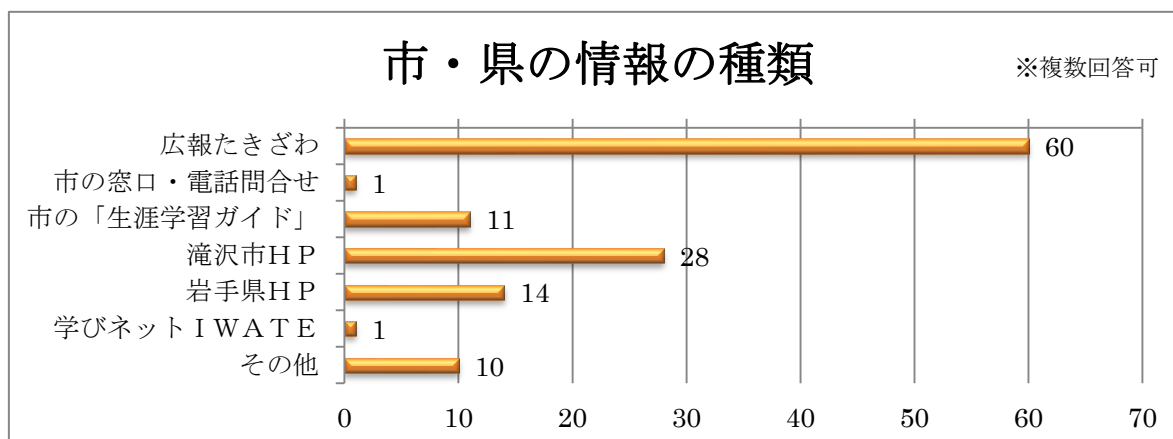
前回調査では、「グループ・サークル」や「自宅学習」、「公民館講座・教室」、「職場の研修会・講習会」が上位でしたが、今回は、「グループ・サークル」や「職場の研修会・講習会」、「自宅学習」が上位で、「インターネット・通信教育・放送大学」、「カルチャーセンターや公民館講座」が続いています。よって、地域や仲間との親睦交流やビジネススキルアップ、情報メディアを活用した生涯学習活動への関心が高いことと現代社会の変化や市民の生涯学習ニーズを反映した学びの機会の充実が求められていることがうかがえます。

(4) 生涯学習情報の入手先⇒「基本方針1 学べる活かせる環境づくり」に反映



前回調査では、「友人・知人の誘い」や「県や村(当時は滝沢村)の情報」、「新聞・雑誌」が上位でしたが、今回は、「友人・知人の誘い」や「職場の情報」、「インターネット・メール配信」が上位でした。仲間との親睦交流や情報メディアを活用した情報収集への関心が高く、広報やホームページなどによる積極的PRが浸透していることがうかがえます。

(5) 市・県の情報の種類⇒「基本方針1 学べる活かせる環境づくり」と「基本方針2 支えあう地域力の向上」に反映

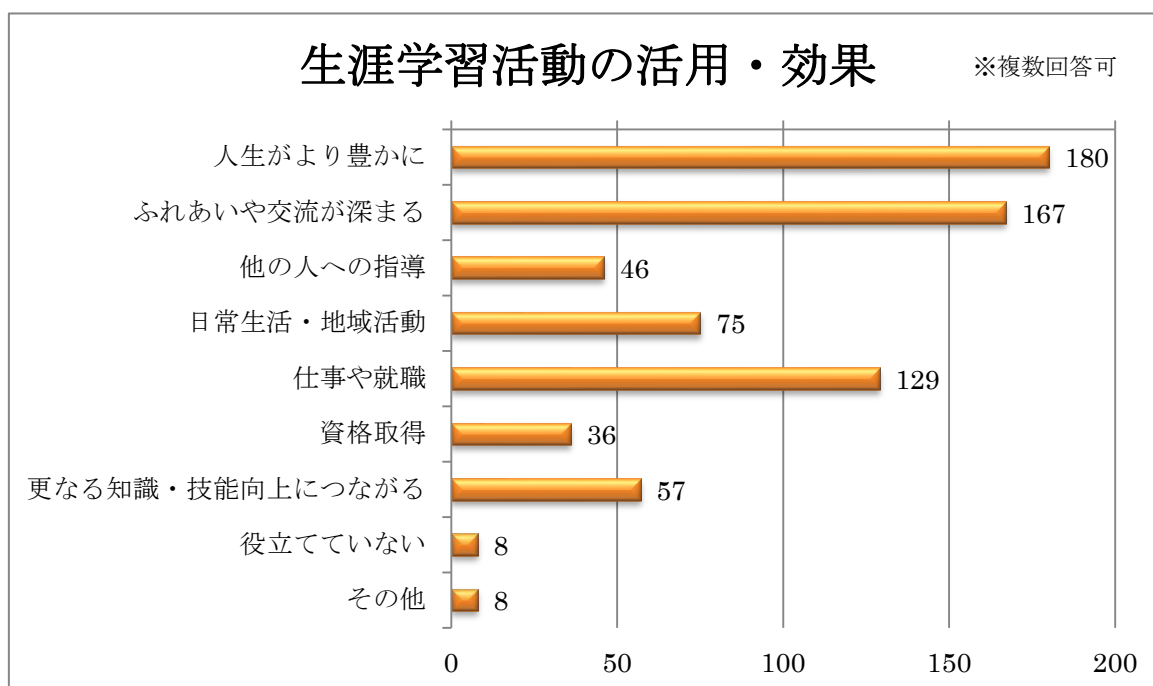


前回調査では、「広報たきざわ」や「村（当時は滝沢村）の生涯学習ガイド」、「村の窓口や電話」が上位でしたが、今回は、「広報たきざわ」や「滝沢市ホームページ」、「岩手県ホームページ」が上位でした。

よって、紙媒体による広報たきざわを通じた情報発信は引き続き定評を得ていることと情報メディアを活用したホームページによる情報収集が広く浸透したことがうかがえます。

一方で、市民ニーズを反映した親しみやすく全ての世代の生涯学習活動支援と情報提供を推進する生涯学習ガイド発行や市民と市行政との情報共有による総合計画と生涯学習推進計画の確実な推進が求められていることがうかがえます。

（6）生涯学習活動の活用・効果⇒「基本方針1 学べる活かせる環境づくり」と「基本方針2 支えあう地域力の向上」、「基本方針3 伝統を受け継ぎ未来へ継承」全てに反映

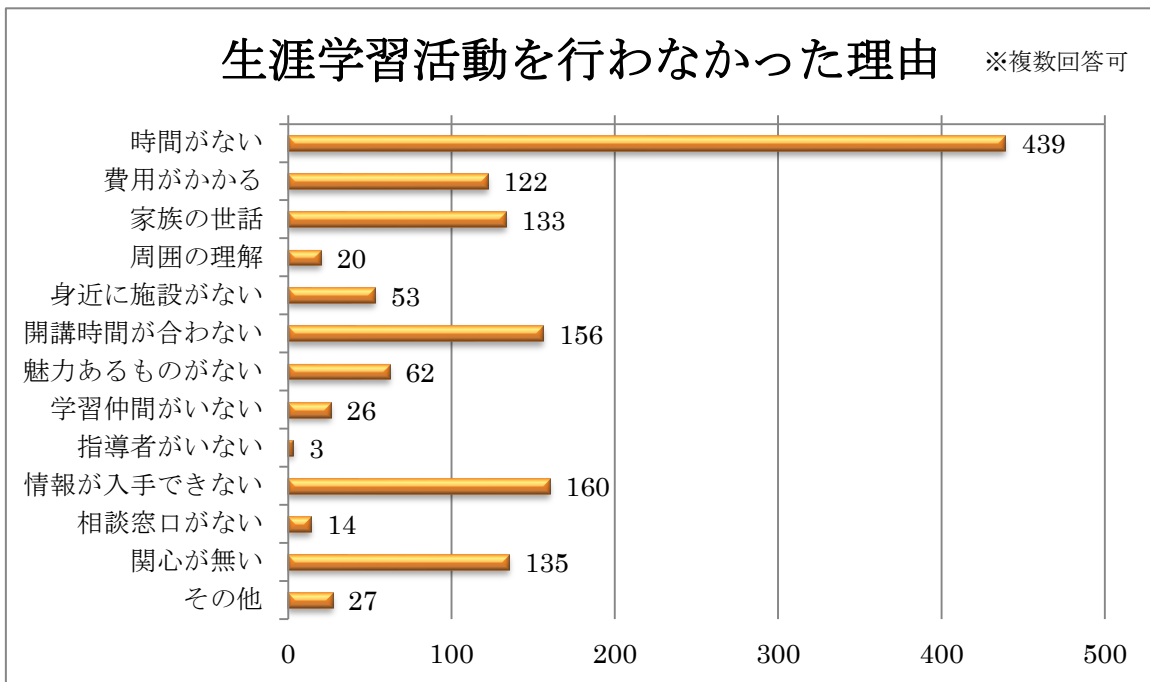


前回調査では、「人生がより豊かに」や「ふれあいや交流が深まる」、「日常生活・地域活動」が上位でしたが、今回は、「人生がより豊かに」や「ふれあいや交流が深まる」、「仕事や就職」が上位でした。

よって、心の豊かさやゆとりある生活と地域や仲間との親睦交流、ビジネススキルアップへの関心が高いことがうかがえます。

また、「日常での生活や地域での活動に役立っている」や「他の人々への学習やスポーツ、文化活動などの指導に役立っている」と回答する人や地域で生涯学習・社会教育指導者や地域づくりリーダーとして既に活躍している市民も多いことから、同指導者やリーダー育成や更なる資質向上、活躍の場の創出、学びによる感動とよろこび、幸福感が実感できる地域づくりが求められていることがうかがえます。

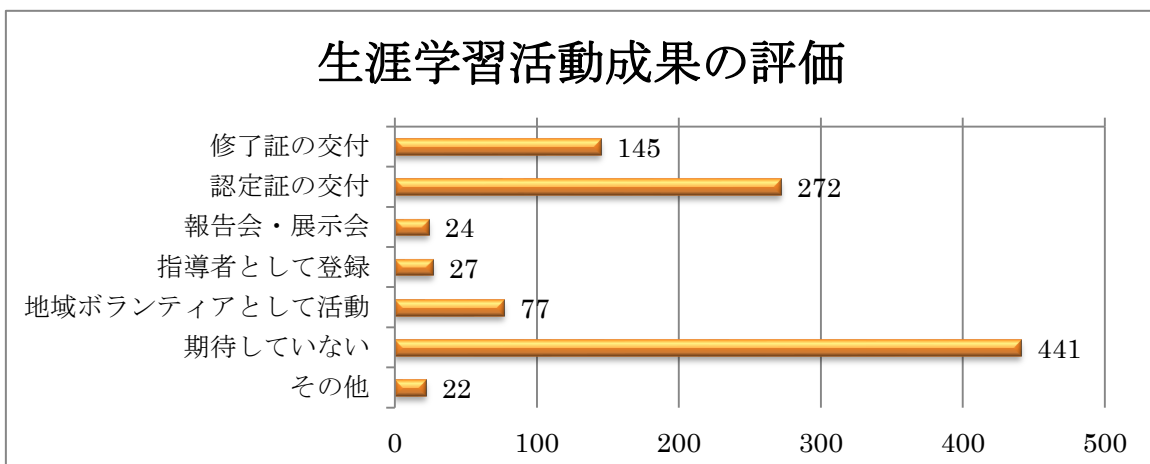
(7) 行わなかった理由⇒「基本方針1 学べる活かせる環境づくり」と「基本方針2 支えあう地域力の向上」、「基本方針3 伝統を受け継ぎ未来へ継承」の全てに反映



前回調査と今回調査も、いずれも同様に「時間がない」や「情報が入手できない」、「開講時間が合わない」が上位となっています。興味関心があっても、時間や情報を確保できないことから生涯学習活動に取り組めない傾向は依然として続いており、勤労者や子育て世代など多忙な成人期（自立・子育て）や壮年期（充実）の世代が参加しやすい時間帯や学習内容に対応した講座開設に取り組む必要があります。

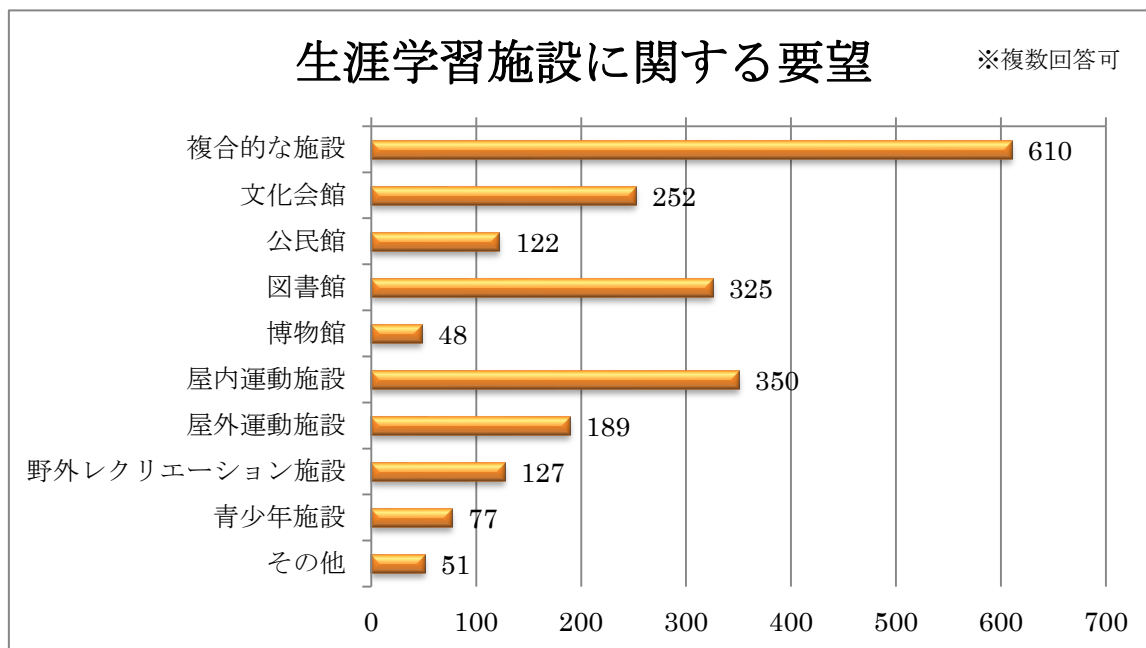
また、地域コミュニティや生涯学習関連団体、教育・公共機関、生涯学習関連施設、市行政の5つを結ぶ学びのネットワークづくりにより、学びの情報共有と生涯学習活動支援、生涯学習関連事業への参画交流を促進し、受け継がれてきた社会・地域の助け合いの取り組みを継承しながら、今まで生涯学習や地域づくり活動に取り組んでいない市民の新たな参画交流と地域づくりリーダーとしての活躍の促進が期待されています。

(8) 生涯学習活動成果の評価⇒「基本方針1 学べる活かせる環境づくり」と「基本方針2 支えあう地域力の向上」、「基本方針3 伝統を受け継ぎ未来へ継承」の全てに反映



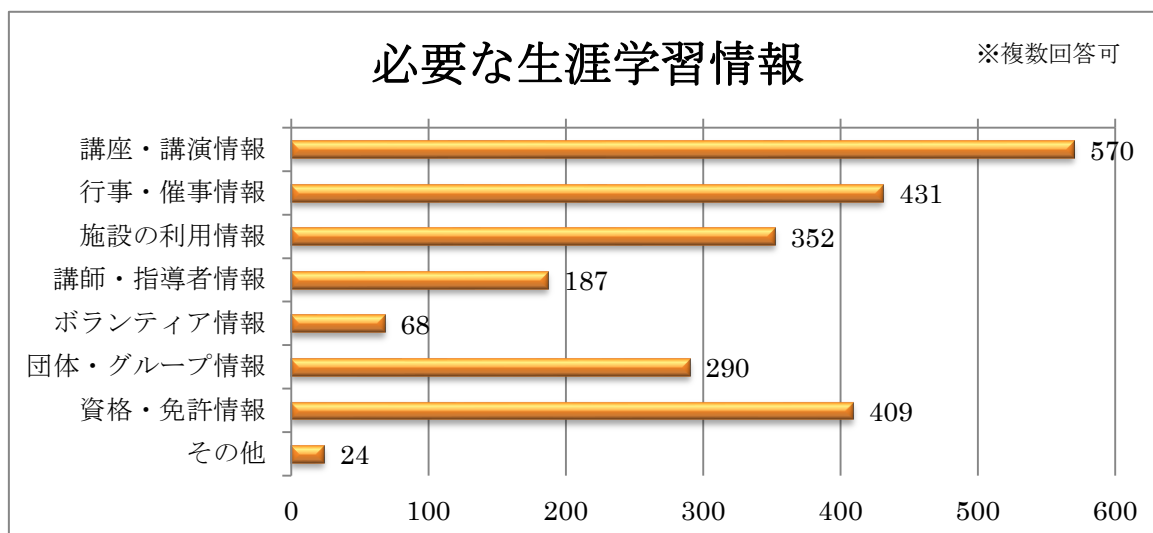
前回調査と今回調査も、いずれも「評価は期待していない」や「単位や資格などの認定書の交付」、「修了証の交付」が上位となっています。生涯学習活動を楽しむこと自体にいきがいを感じる人や認定書・修了証交付に喜びを感じる人、ボランティア活躍の機会を求める回答も多く、地域づくりリーダー育成・活躍支援の充実が期待されています。

(9) 生涯学習施設に関する要望⇒「基本方針1 学べる活かせる環境づくり」と「基本方針2 支えあう地域力の向上」、「基本方針3 伝統を受け継ぎ未来へ継承」全てに反映



前回調査では、「総合的な生涯学習施設」や「公民館」、「屋内運動施設」が上位でしたが、今回は、「生涯学習活動の拠点となる複合的な施設」や「屋内運動施設」、「図書館」が上位でした。交流拠点複合施設「ビッグルーフ滝沢」と同施設内に新設される図書館整備、総合公園体育施設の全面改修に取り組んでおり、市民ニーズに対応した生涯学習関連施設の整備充実を図り、地域づくりリーダー育成・活躍支援の充実が求められています。

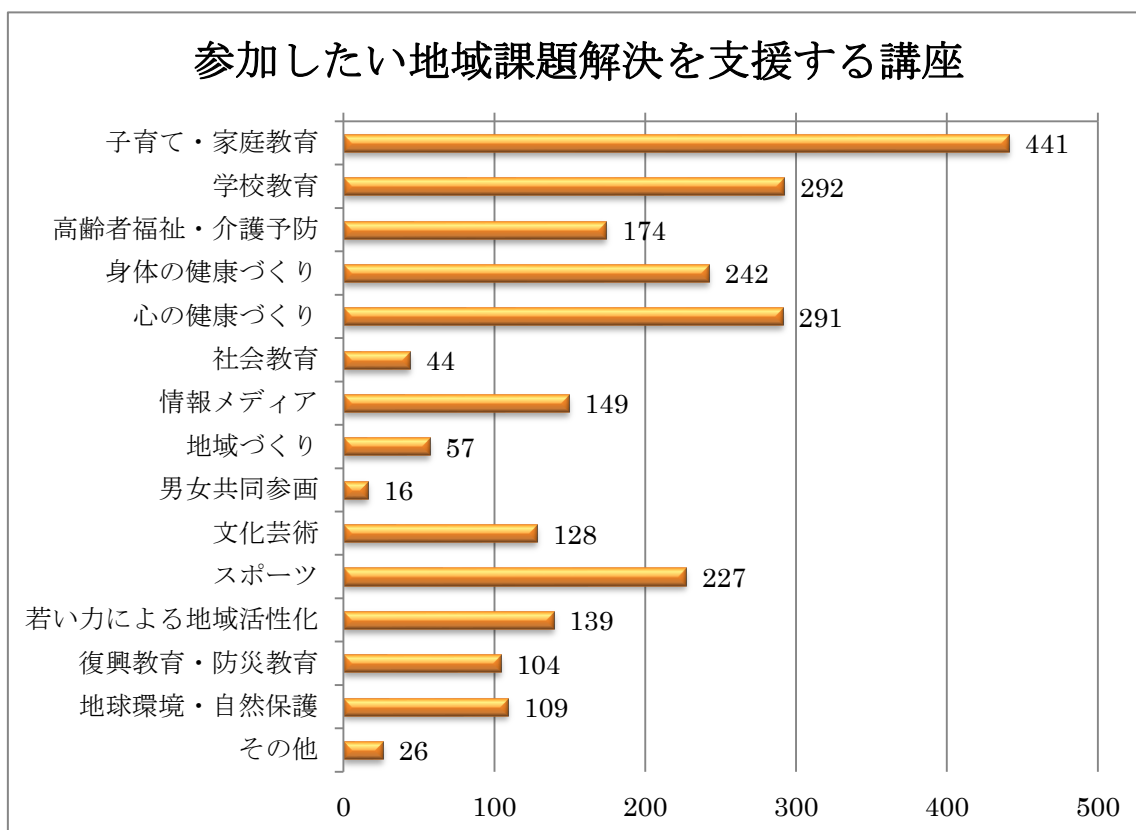
(10) 必要な生涯学習情報⇒「基本方針1 学べる活かせる環境づくり」に反映



前回調査では、「講座・講演情報」や「行事・催事情報」、「施設利用情報」が上位でしたが、今回は、「講座・講演情報」や「行事・催事情報」、「取得したい資格や免許の情報」が上位でした。学習情報やビジネススキルアップ、地域づくりリーダー活動における資質向上を目指し資格・免許の習得を目指す人が多いことがうかがえます。

(1 1) 参加したい地域課題解決を支援する講座⇒「基本方針2 支えあう地域力の向上」

※複数回答可



地域課題や教育課題を解決できる地域力基盤醸成を目指して、地域課題の解決を支援する講座の開催を目指し、ニーズ調査を行ったところ、上記グラフの結果となりました。

勤労者や子育て世代など多忙な成人期（自立・子育て）や壮年期（充実）の世代が抱える個人的課題（子育て・家庭教育や学校教育、心身の健康づくりなど）は、地域課題や教育課題と重複している場合もあり、同課題解決を支援する学びの機会の提供により、興味関心があっても多忙のため生涯学習活動に取り組むことが難しい世代の機会充実を図ることが期待できます。

また、全ての世代のいきがいつくりと親睦交流の場でもあるスポーツ文化芸術活動やICT（情報通信技術）の進展に伴う情報メディア対応、社会参画交流と産業振興、企業集積・産学官連携、持続可能な農業振興、ICT（情報通信技術）活用による若者活躍支援、高齢者支援・心身の健康づくり、地球にやさしい地域づくり、安全・安心な地域づくりなどに関する学習の機会の充実が求められていることがうかがえます。

学びによる感動とよろこび、幸福感が実感できる地域づくりや地域課題・教育課題の解決を支援する（仮称）たきざわ地域課題解決支援講座を開設し、子どもから高齢者まで全ての世代を対象とした地域づくりリーダー育成・活躍支援の充実を図ります。

第6章 計画の確実な展開

第1節 学びのネットワークづくりによる計画の確実な展開

第1次滝沢市生涯学習推進計画前期基本計画「学びプランたきざわ」の確実な展開を図るため、生涯学習活動に関わる全ての皆さんが、各々が担う役割と責任を自覚し、相互連携を図るべく、学びのネットワークづくりによる双方向コミュニケーションを目指します。

5つを結ぶ学びのネットワークづくり

- ・市民と地域、教育・公共機関、生涯学習関連施設、市行政の5つを結ぶ学びのネットワークづくりで、双方向コミュニケーションによる生涯学習活動支援や生涯学習関連施策などの情報共有を図ります。
- ・広報たきざわや市ホームページ、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス：フェイスブックやブログなど）など市行政と連動した積極的な情報発信・交流で、学びの情報共有を支援します。
- ・双方向コミュニケーションによる市総合計画や生涯学習推進計画「学びプランたきざわ」の確実な展開で、学びの市民参画交流の促進や子どもから高齢者まで全ての世代を対象とした地域づくりリーダー育成・活躍を支援し、市民が主役の生涯学習社会の構築と生涯学習による地域づくりを推進します。

第2節 成果と課題の検証

市行政（生涯学習推進会議・幹事会・担当者会議）や生涯学習推進協議会（関係団体・小中学校校長会・学識経験者で構成）にて毎年、成果と課題の検証を行います。

そして、学びのネットワークづくりで情報共有を図りながら、市民の生涯学習活動支援と生涯学習関連施策への反映を図ります。



△たきざわ学びフェスタで学びのネットワークづくりの推進

第7章 資料

○第1次滝沢市生涯学習推進計画策定関連会議実施状況（平成26～27年度）

| 関連会議名称 | 日時 | 主な協議内容 |
|------------------------|----------------|----------------------------|
| H26第1回生涯学習推進本部会議 | 平成26年 5月13日（火） | 生涯学習推進計画策定に伴う組織改正について |
| H26第1回生涯学習推進会議担当者会議 | 平成26年 7月28日（月） | 基本構想（案）について |
| H26第1回生涯学習推進会議 | 平成26年 8月26日（火） | 基本構想（案）について |
| H26第1回生涯学習推進協議会 | 平成26年 8月27日（水） | 基本構想（案）について |
| H26第1回幹事会・第2回担当者会議合同会議 | 平成26年 9月 5日（金） | 計画策定に伴う事業調査依頼について |
| H27第1回幹事会・第1回担当者会議合同会議 | 平成27年 7月 3日（金） | 基本構想（案）とアンケート調査について |
| H27第2回担当者会議 | 平成27年 7月31日（金） | 基本構想・前期基本計画（案）とアンケート調査について |
| H27第3回担当者会議 | 平成27年 8月28日（金） | 基本構想・前期基本計画（案）とアンケート調査について |
| H27第1回生涯学習推進会議 | 平成27年 9月15日（火） | 基本構想・前期基本計画（案）とアンケート調査について |
| H27第1回生涯学習推進協議会 | 平成27年10月23日（金） | 基本構想・前期基本計画（案）とアンケート調査について |
| H27第2回幹事会・第4回担当者会議合同会議 | 平成27年11月26日（木） | 基本構想・前期基本計画（案）とアンケート結果について |
| H27第9回滝沢市教育委員会協議会 | 平成27年12月22日（火） | 前期基本計画（案）について（中間報告） |
| H27第2回生涯学習推進会議 | 平成28年 1月 5日（火） | 前期基本計画（案）とアンケート結果について |
| H27第2回生涯学習推進協議会 | 平成28年 1月14日（木） | 前期基本計画（案）について |
| 平成28年1月19日開催 第38回庁議 | 平成28年 1月19日（火） | 前期基本計画（案）について |
| 滝沢市議会全員協議会 | 平成28年 1月28日（木） | 前期基本計画（案）中間報告 |
| パブリックコメント開始 | 平成28年 2月 1日（月） | 前期基本計画（案）について |
| パブリックコメント終了 | 平成28年 2月25日（木） | 前期基本計画（案）について |

| 関連会議名称 | 日時 | 主な協議内容 |
|-------------------|----------------|------------------------|
| H27第2回滝沢市社会教育委員会議 | 平成28年 2月25日(木) | 前期基本計画(案)について |
| H27第3回生涯学習推進会議 | 平成28年 3月 2日(水) | 前期基本計画策定に関する庁議審議について |
| H27第45回庁議 | 平成28年 3月 8日(火) | 前期基本計画策定について |
| 市長決裁・策定決定 | 平成28年 3月 8日(火) | 第1次滝沢市生涯学習推進計画前期基本計画策定 |



△滝沢市郷土芸能まつりで伝統文化の素晴らしさを再発見・再創造



△パソコン分解教室(会場: inove)で3R体験学習(再資源化・ごみの発生抑制・再使用)

○滝沢市生涯学習推進協議会設置要綱

平成26年5月14日

告示第89号

改正 平成27年3月30日告示第58号

(設置)

第1条 滝沢市生涯学習推進協議会(以下「推進協議会」という。)は生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律(平成2年6月29日法律第71号)第11条に基づき、生涯学習振興のため関係機関及び関係団体等との連携協力体制の整備を目的に設置する。

(協議事項)

第2条 推進協議会は、次に掲げる事項を協議するものとする。

- (1) 滝沢市生涯学習推進計画に係る各種事業の実施、連携等に関すること。
- (2) 関係団体等と市との連携協力に関すること。
- (3) 滝沢市生涯学習推進計画に関し提言及び意見具申を行うこと。
- (4) その他滝沢市生涯学習推進計画に係る各種事業に関すること。

(推進協議会の構成員)

第3条 推進協議会は、12人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者の中から市長が委嘱する。

- (1) 生涯学習に関する関係団体等から推薦を受けた者
- (2) 滝沢市小中学校長会から推薦を受けた者
- (3) 学識経験者等

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱から2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補充の委員の任期は、前任委員の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 推進協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、互選により選出する。ただし、再任を妨げない。

3 会長は、推進協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 推進協議会の会議は、必要に応じ市長が招集し、会長が議長となる。

2 推進協議会の会議には、必要に応じ市長及び副市長、教育長が出席することができる。

3 会長は、必要と認めるときは委員以外の者の出席を求めることができる。

4 推進協議会は、市長に対し、協議事項に関する提言、意見具申及び連携を行う。

(庶務)

第7条 推進協議会の庶務は、教育委員会事務局生涯学習文化課において処理する。

(平27告示58・一部改正)

(補則)

第8条 この告示に定めるもののほか、推進協議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成26年5月14日から施行する。

(第2次滝沢市生涯学習推進計画策定検討委員会設置要綱の廃止)

2 第2次滝沢市生涯学習推進計画策定検討委員会設置要綱(平成15年滝沢村告示第296号)は、平成26年5月14日を持って廃止する。

附 則(平成27年3月30日告示第58号)

この告示は、平成27年4月1日から施行する。



△滝沢市子ども会リーダー養成研修で地域づくりリーダーとしての基礎を学びます

○滝沢市生涯学習推進会議設置規程

平成26年5月14日

訓令第26号

改正 平成27年3月30日訓令第8号

(設置)

第1条 生涯にわたる生きがいもてる充実した学習環境の実現に向け、関係部局の連絡調整を図り、生涯学習を総合的かつ効果的に推進普及するため、滝沢市生涯学習推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 推進会議は、次に掲げる事項を協議するものとする。

- (1) 生涯学習に関する総合的施策の企画立案及び推進に関すること。
- (2) 滝沢市生涯学習推進計画の策定に関すること。
- (3) 生涯学習関連事業の部局間における連絡調整に関すること。
- (4) 生涯学習の普及奨励に関すること。
- (5) 生涯学習に係る市民意識調査研究等に関すること。
- (6) その他生涯学習の推進に必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 推進会議は、市長、副市長、教育長及び次に掲げる会議構成員をもって組織する。

- (1) 庁議運営規程（平成19年滝沢村訓令第4号）第4条第1項第3号に規定する部長等
- (2) 教育委員会事務局教育次長
- (3) 議会事務局長
- (4) 滝沢市上下水道部長

(平27訓令8・一部改正)

(会議)

第4条 市長は、推進会議を主宰し議長となる。

- 2 市長が不在の場合は、副市長が主宰し議長となる。また、市長及び副市長が不在の場合には、教育長が主宰し議長となる。
- 3 推進会議は、必要に応じて市長が招集する。
- 4 市長は、推進会議において必要と認めるときは、第3条に規定する者以外の者の出席を求めることができる。
- 5 市長は、滝沢市生涯学習推進協議会に対し、事業に関する連携協力や各種調整の依頼を行う。

(幹事会)

第5条 推進会議に幹事会を置く。

- 2 幹事会は、幹事長、副幹事長及び幹事により構成する。
- 3 幹事長は教育委員会事務局教育次長をもって充て、副幹事長は生涯学習文化課長をもって充てる。
- 4 幹事は、生涯学習関連事業等に関する各課長、室長、所長、館長等をもって充てる。
- 5 幹事会の会議は、必要に応じて幹事長が招集し、幹事長が議長となる。また、副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故あるとき又は幹事長が欠けたときはその職務を代理する。
- 6 幹事会の協議事項は、次のとおりとする。
 - (1) 生涯学習の推進に係る企画立案及び部局間における連絡調整に関すること。
 - (2) 生涯学習の普及奨励に関すること。
 - (3) 生涯学習に係る調査研究に関すること。
 - (4) その他生涯学習の推進に必要な事項に関すること。
- 7 幹事長は、必要と認めるときは、幹事以外の者の出席を求めることができる。

(平27訓令8・一部改正)

(担当者会議)

第6条 幹事会に、生涯学習に関する専門的な事項の企画立案又は調査並びに生涯学習の推進に必要な検討を行うため担当者会議を設置する。

- 2 担当者会議に議長を置き、議長は生涯学習文化課長をもって充てる。
- 3 担当者会議に参加する委員は生涯学習事業等に関する各課、室、所、館等の担当者をもって充てる。
- 4 担当者会議の協議事項は、次のとおりとする。
 - (1) 幹事会協議事項に関する協議・調整に関すること。
 - (2) 幹事会が決定した施策の推進に関する実務的な処理に関すること。
 - (3) その他生涯学習の推進に必要な事項に関すること。
- 5 議長は、必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求めることができる。

(平27訓令8・一部改正)

(庶務)

第7条 推進会議の庶務は、教育委員会事務局生涯学習文化課において処理する。

(平27訓令8・一部改正)

(補則)

第8条 この訓令に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この訓令は、平成26年5月14日から施行する。

(滝沢市生涯学習推進本部設置規程の廃止)

- 2 滝沢市生涯学習推進本部設置規程（平成8年滝沢村訓令第16号）は、平成26年5月14日を持って廃止する。

附 則（平成27年3月30日訓令第8号抄）

(施行期日)

- 1 この訓令は、平成27年4月1日から施行する。



△滝沢市青少年健全育成関係者懇談会で青少年に関する地域課題などを情報共有



△睦大学による高齢者のいきがい支援で生涯現役・全員活躍社会を目指します

滝沢市生涯学習推進協議会委員名簿（平成28年3月8日現在 敬称略）

| 役職 | 所属・役職 | 氏名 |
|-----|----------------------------------|-------|
| 会長 | 社会福祉法人 滝沢市社会福祉協議会 会長 | 佐藤 光保 |
| 副会長 | 滝沢市地域婦人協議会 会長 | 柳橋 好子 |
| 委員 | 滝沢市自治会連合会 副会長 | 小宮山晴夫 |
| 委員 | 公益財団法人 滝沢市体育協会 副会長 | 伊藤 隆雄 |
| 委員 | 滝沢市芸術文化協会 副会長 | 高橋 弘美 |
| 委員 | 社会福祉法人 滝沢市保育協会 事務局長 | 宝屋敷陽子 |
| 委員 | 滝沢市商工会青年部 部長 | 関 晃宏 |
| 委員 | 滝沢市小中学校長会 会長 (滝沢市立滝沢南中学校 学校長) | 田口 功 |
| 委員 | 岩手県立大学 総合政策学部 教授 | 倉原 宗孝 |
| 委員 | 盛岡大学 文学部 児童教育学科 准教授 | 竹之下典祥 |



△柳村市長が生涯学習推進協議会で「生涯学習による地域づくり」を提唱

滝沢市生涯学習推進会議構成員名簿（平成28年3月8日現在）

| 職名 | 氏名 |
|------------------|-------|
| 滝沢市長 | 柳村 典秀 |
| 滝沢市副市長 | 佐野峯 茂 |
| 滝沢市教育委員会 教育長 | 熊谷 雅英 |
| 滝沢市経済産業部長 | 福田 一宏 |
| 滝沢市健康福祉部長兼福祉事務所長 | 太田 晴輝 |
| 滝沢市都市整備部長 | 三上喜美義 |
| 滝沢市市民環境部長 | 畑村 政行 |
| 滝沢市企画総務部長 | 加賀谷 建 |
| 滝沢市議会事務局長 | 中道 俊之 |
| 滝沢市上下水道部長 | 湯澤 豊 |
| 滝沢市教育委員会事務局 教育次長 | 野中 泰則 |

滝沢市生涯学習推進会議幹事会名簿（平成28年3月8日現在）

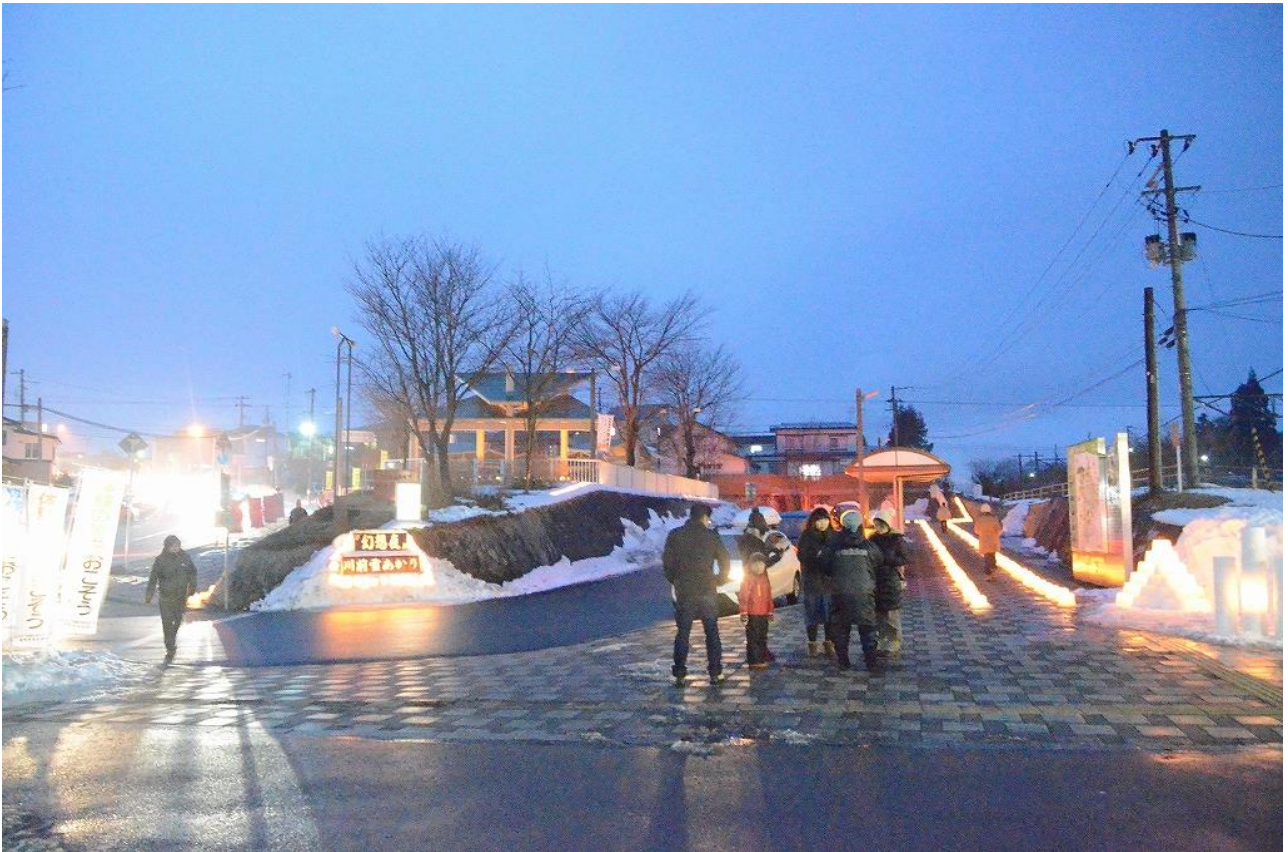
| 役職 | 所属 | 氏名 |
|------|-------------------|--------|
| 幹事長 | 教育委員会事務局 教育次長 | 野中 泰則 |
| 副幹事長 | 教育委員会事務局 生涯学習文化課長 | 角掛 実 |
| 幹事 | 教育委員会事務局 教育総務課長 | 小川 亨 |
| 幹事 | 教育委員会事務局 学校教育指導課長 | 泉澤 毅 |
| 幹事 | 教育委員会事務局 スポーツ推進課長 | 日向 由和 |
| 幹事 | 健康福祉部 児童福祉課長 | 佐々木由利子 |
| 幹事 | 健康福祉部 高齢者支援課長 | 熊谷多美子 |
| 幹事 | 市民環境部 地域づくり推進課長 | 岡田 洋一 |
| 幹事 | 健康推進課 健康推進課長 | 千葉 澄子 |
| 幹事 | 企画総務部 企画政策課長 | 熊谷 和久 |

滝沢市生涯学習推進会議担当者会議委員名簿（平成28年3月8日現在）

| 役職 | 所属 | 氏名 |
|----|---------------|-------|
| 議長 | 生涯学習文化課長 | 角掛 実 |
| 委員 | 学校教育指導課 指導主事 | 八重畑 亘 |
| 委員 | スポーツ推進課 主 査 | 熊谷 大輔 |
| 委員 | 児童福祉課 総括主査 | 佐藤 勝之 |
| 委員 | 高齢者支援課 主 査 | 植野 秀剛 |
| 委員 | 地域づくり推進課 総括主査 | 高橋 克周 |
| 委員 | 健康推進課 総括主査 | 猿舘 睦子 |
| 委員 | 企画政策課 主 査 | 福井 聡 |
| 委員 | 生涯学習文化課 総括主査 | 田沼 政司 |
| 委員 | 生涯学習文化課 主 査 | 細川 健一 |
| 委員 | 生涯学習文化課 主 査 | 瀬川 光 |
| 委員 | 生涯学習文化課 主 事 | 兼平 彩夏 |



△平成28年滝沢市新成人のつどい実行委員会の皆さんがあいさつ



△光の絆で結ばれた銀河ステーション～たきざわ夢灯り2016・川前雪灯り幻想夜



編集・発行 滝沢市役所

滝沢市教育委員会事務局 生涯学習文化課

〒020-0692

岩手県滝沢市中鵜飼55番地

TEL 019-684-2111 (代表)

URL <http://www.city.takizawa.iwate.jp/>